

誰一人取り残すことなく

公正に個別最適化された教育の実現

- 予測できない変化を前向きに受け止め、まだ知らぬ課題に主体的に向き合い、関わり合い、論理的に思索する
- 自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生を生きるために、協働して新たな価値観や行動を生み出す
- Society5.0 時代に生きる子供たちにとって、ICT 環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に不可欠
- 1人1台の端末を活用した授業は、富士見丘小の「スタンダード」

〔 目次 contents 〕



Chromebook の
使い方
Google の HP へ

第1章 P.5 社会的背景の変化と教育の情報化 Preface 001-005

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 1 社会的背景 | 2 学習指導要領の重点 | 3 教育の情報化とは |
| 4 ICT活用を目指す教育 | 5 ICT活用の実際 | |

第2章 P.11 Preface 006-009 情報活用能力の育成

- 1 学びの基盤となる情報活用能力
- 2 カリキュラム・マネジメント
- 3 情報活用能力指導計画
- 4 情報モラル教育

第4章 P.23 Operation 001-027 1人1台端末の基本操作 (クラウドアプリ)

- 1 はじめの一步
- 2 SKY MENU
- 3 G-Suite
- 4 くじらーニング

第3章 P.19 Preface 010-012 プログラミング教育の推進

- 1 プログラミング教育とは
- 2 プログラミング教育のポイント
- 3 プログラミング教育の実際

第5章 P.51 Class 001-012 教科等の指導におけるICT活用

- 1 学習場面における活用のポイント
- 2 1人1台端末による学びの変容
- 3 GIGA スクール学びの活用 実践事例

第6章 P.68 Affairs 001-012 学校における ICT環境

- 1 デジタル教材
- 2 デジタル教科書
- 3 オンライン授業
- 4 ICT環境整備
- 5 健康面への配慮

第7章 P.83 Affairs 013-014 教員に求められるICT活用指導力の向上

- | | |
|------------|---------|
| 1 ICT活用指導力 | 2 教員の研修 |
|------------|---------|

第8章 P.87 Affairs 015-018 校務の情報化

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 クラウド活用全体構想 | 3 校務支援システムの活用 |
| 2 情報の共有化 iPad の活用 | 4 教育情報管理・運用規定 |

教育情報セキュリティ・個人情報等の管理・運用規定

特別支援教育における教育の情報化

※各章において特別支援教育関係を記述

第9章 Affairs 019-020 学校及び設置者等における教育の情報化に関する推進体制 P.93 1 教育委員会及び学校の管理職の役割 2 ICT支援員をはじめとする外部資源の活用

第10章 P.99 Reference 001-020 資料集

今日の社会は、生活のあらゆる場面で ICT を活用することが当たり前となっています。さらに、人工知能（AI）やビッグデータ等の先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、人間の予測を超えて社会が進展し、社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」と言えるほど劇的に変わる「Society5.0」時代の到来が予測されています。

このような新たな時代において、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された教育を実現するとともに、子供たち一人一人の資質・能力を確実に育み、AI に代替えされない創造性を育成することが重要です。

そのためにも、次代を切り拓く子供たちには、これからの時代を生きていく上で基盤となる資質・能力を確実に育成していく必要があります。

今回改訂された学習指導要領においては、学習の基盤となる資質・能力として、従来の「言語能力」「課題発見・解決能力」と並び、「情報活用能力」が位置付けられ、その育成を図ることとされました。あわせて、その育成のために必要な ICT 環境を整え、それらを教科等横断的に適切に活用した学習活動の充実を図ることとしており、情報教育や教科等の指導における ICT 活用など、教育の情報化に関わる内容の一層の充実が求められています。

これからの学びにとっては、ICT はマストアイテムであり、ICT 環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠なものとなっていることを強く認識し、その整備を推進していくとともに、学校における「教育の情報化」を推進していくことが極めて重要です。

「教育の情報化」とは、ICT の特長を生かして、教育の質の向上を目指すものであり、具体的には次の 3 つの側面から構成され、これらを通して教育の質の向上を図るものです。

① 情報活用能力の育成

子供たちの情報用能力（プログラミング的思考、情報モラルを含む）を養い、他者と協働しながら新たな課題を探究し、新たな価値を創造する資質・能力を身に付ける。

② 教科指導における ICT 活用

教員が、ICT を効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等、新しい「学び」のスタイルを形成する。

③ 校務の情報化

これらの教育の情報化を支える基盤として、「教師の ICT 活用指導力等の向上」「学校の ICT 環境の整備」「教育情報セキュリティの確保」を実現する。

本ガイドラインは、上記の理念に基づき、「教育の情報化」が一層進展するよう、教育を取り巻く社会的背景等、教員のための指導資料、具体的な年間指導計画、児童・保護者向けの参考資料、学校の教育情報セキュリティ等の管理・運用規定に至るまで、多面的・多角的に参考となる手引きとして、本校の現時点でのすべてを一冊にまとめたものです。

とりわけ、同じ条件（環境）下の市内小中学校においても参考としていただけるよう、実際の具体的な指導場面や指導資料を多く掲載しており、各校の実態に合わせて転用していただけるように心掛けて作成しました。

本ガイドラインが、具体的な取組みの中で活用され、教育の質の向上に寄与する「教育の情報化」を推進する上での参考となれば幸いです。

富士見丘小学校

F . G . S . t 構想

昭島市の「GIGA スクール構想」により、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが整備され、ICT 環境が劇的に変化しました。本校では、これを **ふじみ GIGA スクール スマート ツール** と名付け、令和2年度から整備を進めてきた大型TV、実物投影機、デジタル教科書、教員用 iPad などとともに、有効活用を図っています。

ふじみ
Fujimigaoka
Elementary
School

F

S スマート
Smart City **
Smart Learning

G I G A
スクール

Global and
Innovation
Gateway for All

G



t ツール

構想

tool vision
(Teaching tools for teachers)
(Stationery for children)

各教科等の「見方・考え方を深めるツール」として

S スマート
Smart City
Smart Learning

Smart とは、スマートシ
ィーのイメージですが、直訳
すると、「賢い」「機敏」「小気
味よい」「小粋」などなど
の意味があります。



t ツール
tool vision

tool とは、「道具」という
意味です。ICT 機器は、魔法
の箱ではありません。何かを
成し遂げるために使う**便利な
「道具」**です。

【Smart tool の使い方】

先生は、
“**賢い教具**”として、
指導に活用します。
子供たちは、
“**賢い文房具**”として、
学習に役立てます。

道具は、「**どう使うか**」「**どう使えるか**」がすべてです。例えば料理人は、自分で納得のいく包丁を選び、自分で研ぎ、腕を磨き続けて、最高の料理に挑みます。それが Smart tool 構想のイメージです。

本校では、目標の達成に向けたロードマップ、具体的な活用方法、様々な留意点等を一冊にまとめた「**教育の情報化ガイドブック**」を作成し、本校のビジョンを明確に示しました。

このガイドブックは、日々の教育実践を通して、様々な課題を解決していきながら随時更新(最終稿は1年の予定)していきます。現在進行中の実践事例等も多数掲載しています。

21 世紀にふさわしい学びのイノベーションの実現

次ページに、現在、そして近い未来の姿をまとめました。Smart tool を最大限に生かし、学校と家庭が一体となって、シームレスに学びや生活がつながります。「一斉指導による学び」「一人一人応じた学び」「教え合い学び合う協働的な学び」を推進し、子供たちが主体的に学習する「新たな学び」を創造してまいります。



1年生デジタル教科書 R3.5.21



「教育の情報化」が果たす役割

21世紀を生きる子供たちに求められる力を育む教育を行うためには、子供たちの学習や生活の主要な場である学校において、教育の情報化を推進することが必要です。

- 教育の情報化の推進
- 子供たちの情報活用能力の育成
- ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現
- 校務の情報化の推進

教育の情報化による「学びのイノベーション」

情報化が進展する中で、学校においては、デジタル教科書・教材、情報端末、ネットワーク環境等が整備され、ICTの特長を最大限に生かし、「一斉指導による学び（一斉学習）」に加え、「子どもたち一人一人の能力や特性にに応じた学び（個別学習）」「子どもたちが教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」を推進することが重要です。

※ ICTとは Information and Communication Technology の略で、コンピュータやインターネット等の情報通信技術のこと

21世紀にふさわしい学びの環境とそれに基づく学びの姿（例）

ICTを活用した授業においては、「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」それぞれの学習場面が相互に組み合わされた学びの場が形成されます。



インターネット等を活用して、地域の人々や国内外の学校の子どもたち、さらには、社会教育施設、研究機関等の専門家等との交流を図り、多角的な思考力等を育む授業を行います。



個別学習
(基礎・基本の習得)



個別学習
(思考を深める学習)

子供たちが情報端末を用いて繰り返し学習を行ったり、コンピュータにより子どもたちの回答の診断とその個に応じた補充・発展が行われることにより、知識の定着や技能の習熟を図り、基礎基本の習得につながる活動を行います。

図形等の拡大・縮小・回転等の操作を容易に行い試行錯誤を可能とし、課題を明確にすることなど、思考力・判断力・表現力を深める活動を行います。



一斉学習
(デジタル教科書・教材から知識の獲得)



教員による活用
(教材作成・学習履歴の活用・教員間の情報共有・教材共有)

文字や画像等の拡大機能、アニメーションや立体画像を示す機能等により、子供たち一人一人の学習ニーズに柔軟に対応するとともに、教員のデジタル教科書との連動により、知識の獲得を可能とします。

教員の教材作成・学習履歴の活用・教員間の情報共有等、校務の情報化における活用が有効です。

- (注1) 各部の名称は仮称である。例えば、基本エンジンは、プラットフォームということも考えられる。
- (注2) 基本性能としては、編集・移動・追加・削除・採点などが考えられる。
- (注3) 「学習者用表現・協働学習ツール」として、デジタルノート、メール等が考えられるが、学習者用デジタル教科書・教材の範疇に含めることも考えられる。
- (注4) 「指導者用ツール」として子どもたちの情報端末の画面をモニター及び制御すること等が考えられるが、デジタル教科書・教材の範疇に含めることも考えられる。
- (注5) 授業風景については、あくまでもイメージであり、特定の情報端末等を想定しているものではない。

このような「学び」は、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度等の育成に有効です。

第 1 章

社会的背景の変化 と教育の情報化

Preface 001-005

- 1 社会的背景
- 2 学習指導要領の重点
- 3 教育の情報化とは
- 4 ICT活用が目指す教育
- 5 ICT活用の実際

Preface 001

社会的背景 Society5.0



ねらい：新たな社会 Society5.0（5番目の社会）の到来

Society 5.0
内閣府

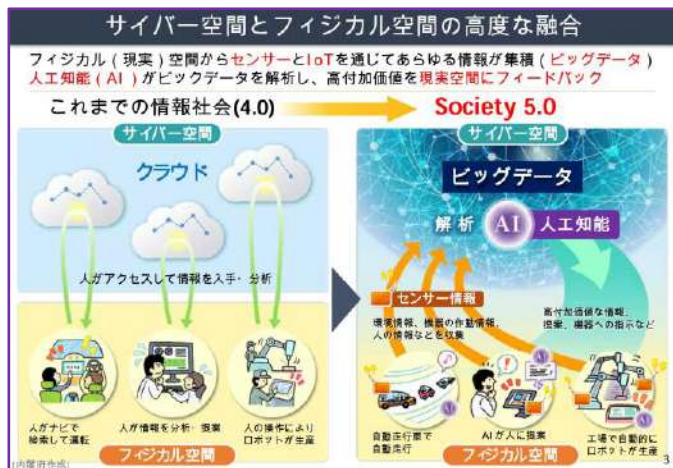
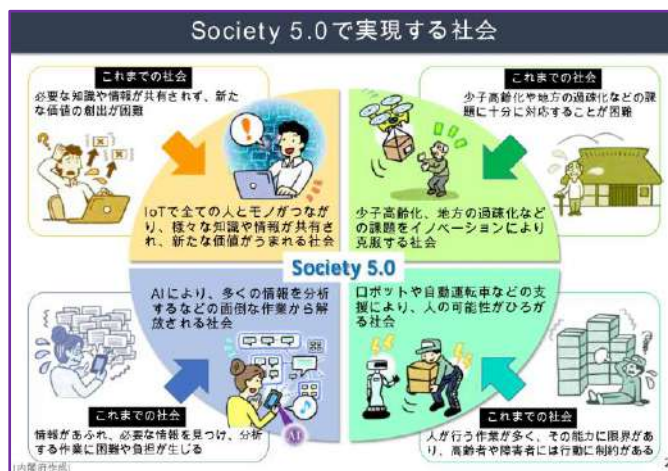
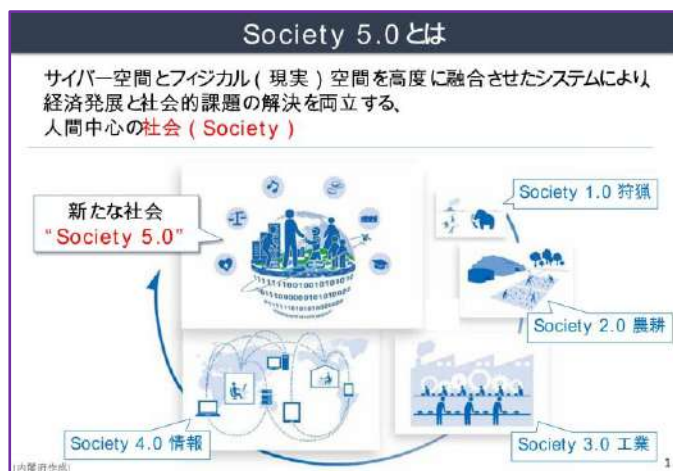
社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」と言えるほど劇的に変わる時代

→サイバー（仮想）空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

→狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱

オンライン
「えいごであそぼ」

臨時休校期間から継続 R2.5.17～



「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標 SDGs



Preface 002

新学習指導要領（令和2年度～）の重点



ねらい：情報活用能力は、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」である

新学習指導要領
のポイント

「生きる力」を育むために

子供たちの学びはどう進化するの？

主体的・対話的で深い学び

（アクティブ・ラーニング）

の視点から「何を学ぶか」だけでなく
「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、
「わかった!」「おもしろい!」
と思える授業に
見通しをもって、粘り強く
取り組む力が身に付く授業に



周りの人々と共に考え、学び、
新しい発見や豊かな発想が
生まれる授業に
自分の学びを振り返り、次の学びや
生活に生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメント

を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に
検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の
連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、
よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性など



実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能
未知の状況にも
対応できる
思考力、判断力、
表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。

学習の基盤となる資質・能力

言語能力

情報活用
能力

問題発見・
解決能力



プログラミング R2.9.9



- 1 Society5.0 という新たな時代を担う人材の育成
- 2 多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された教育の実現
- 3 子供たち一人一人の資質・能力を確実に育み、AIに代替えされない創造性を育成

新学習指導要領のポイント（情報活用能力の育成・ICT活用）

- 令和2年度以降順次実施される「新学習指導要領」においては、
・**情報活用能力**を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け、**育成を図る**とともに、
・**学校のICT環境整備**と**ICTを活用した学習活動の充実**を明記。

小・中・高等学校共通のポイント（総則）

- **情報活用能力**を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け

総則において、児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとするを明記。【総則】

- **学校のICT環境整備**と**ICTを活用した学習活動の充実**に配慮

総則において、情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることに配慮することを明記。【総則】

小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

- 小学校においては、文字入力など基本的な操作を習得、**プログラミング教育を必修化**

各教科等の特質に応じて、児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動や、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施することを明記。【総則】

Preface 003

教育の情報化が目指す3つの側面

ねらい：3つの側面を通して、新たな「学び」と「学びの場」を形成する。



教育の情報化が目指すもの



教育の情報化 現状と課題

ICTを効果的に活用して「次世代の学校・地域」を創生し、未来社会を見据えて育成すべき資質・能力を育むための新たな「学び」や、それを実現していくための「学びの場」を形成する。

【教育の情報化の3つの側面】

教科指導における
ICT活用ICTを効果的に活用
した分かりやすく深
まる授業の実現

R2.12.19

情報活用能力
の育成情報活用能力の育成
(情報モラル、プロ
グラミングを含む)

R2.9.14

校務の情報化

ICTを活用した情報
共有により、きめ細
やかな指導や校務の
負担軽減等を実現

R2.10.26

3つの側面を通じた
教育の質の向上

教育の情報化を支える基盤

教員の情報教育・
ICT活用指導力の向上学校でのICT環境整備
校務支援教育情報セキュリティ
の確保

【目指す方向】

- 教員は、ICTを効果的に活用し、新しい「学び」のスタイルを形成する。
- 子供たちは、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、何が重要かを主体的に考え、他者と協働しながら新たな課題を発見・解決し、新たな価値を創造する資質・能力を身に付ける。
- 行政は、これからの学びにとって、ICTはマストアイテムであり、鉛筆やノート等の文房具と同様に不可欠なものであると捉え、日常的にICTを円滑に活用できる「学びの場」を整備する。

教育の
情報化学習指導の
情報化特別支援教育
の情報化授業以外
の情報化

授業でのICT活用

情報活用能力の育成

プログラミング教育

個のニーズに応じた支援

授業準備の情報化

校務の情報化

学校の情報公開

情報活用の実践力

情報機器の操作
情報の収集・整理・発信

情報の科学的な理解

教育手段の特性や仕組み
理論や方法の理解

情報社会に参画する態度

教育モラルと責任
情報技術の役割や影響

【富士見丘小学校のICT環境】

令和2年度末現在

Student LAN (Local Area Network)

Wi-Fi等

GIGA School Lan



教職員校務PC

全教員分



PC室端末

1学級分

大型TV &
実物投影機

全教室分



先生用iPad

全教員分



1人1台端末

全員分

富士見丘小学校

Preface 004

ICT活用が目指す教育の在り方

相模原市
教育の情報化

ねらい：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のために

ICT活用が目指す教育



情報を主体的に活用

情報教育の充実

ICTを活用して
論理的に思考し、
新しい価値を
創造する力を養う

ICTは学校教育に何をもたらすか！

感性を豊かに働かせながら、
豊かな未来を創造していくこれまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

＝

誰一人取り残すことのない

個別最適化された学び

社会とつながる協働的・探究的な学び

ICTが授業を変える！ 新しい学びのスタイルを形成

○ 個別最適化された学び、
協働的・探究的な学びの実現

R3. 4. 13

ICTが授業を変える！
新しい学びのスタイルを形成する

ICTはそのための道具（手立て）である

情報活用能力は、言語能力と同様に、
学習の基盤となる資質・能力である。

「確かな学力を向上させる授業」

- ① 発問や説明の言葉の吟味 子供に伝わり易い言葉、教師の意図が明確な言葉の工夫
- ② 構造的な板書の工夫 学習課題やまとめを明確にした学習経過や思考の流れの整理
- ③ 授業展開の改善 授業テンポ、説明・思考・習熟のバランス、効果的な場面で活用
- ④ ノート指導の徹底 板書の工夫と合わせた授業改善によるノート指導の工夫・改善

ICTを用いた授業でも、指導のポイントは変わりません。教員が道具に振り回されないことが大切です。

各教科等の指導におけるICT活用の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、
子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、
教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要。

【留意点】

- 資質・能力の育成により効果的な場合に、ICTを活用する。
- 限られた学習時間を効率的に運用する観点からも、ICTを活用する。



R2. 11. 5

富士見丘小学校

Preface 005

ICT活用の実際

昭島市
ICT利用
ガイドライン
(運用規則)

ねらい：これまでの活用 × 1人1台端末 = 学習の一層の深まり

授業づくりの視点		
A 一斉 指導	【A-1】 教員による教材の提示	教員が画像や動画、音声等の教材・資料を拡大表示し、課題を共有したり、わかりやすく説明したりすることで、児童生徒の興味・関心を高める。
	【A-2】 学びの過程の見える化	学習内容の板書やノート・作品・活動などを記録することで、児童生徒が学習過程をつかみ、達成感を味わえるようにする。
B 個別 学習	【B-1】 個に応じた習熟度学習・ 繰り返し学習	一人ひとりの習熟等に応じたドリル学習やアプリの特性を活用した学習。
	【B-2】 情報収集・調べ学習	インターネットやデジタル辞書等を用いた情報収集や調べ学習。
	【B-3】 観察・記録活動	タブレットに付属するカメラ・ビデオ機能を活用し、学習課題に応じた対象を記録する。
	【B-4】 思考を深めるための 学習	シミュレーションやビデオクリップ等のデジタル教材を使用し、思考や理解を深める。
	【B-5】 表現・制作活動	タブレットのマルチメディア機能(文字・音声・動画・静止画等のさまざまな種類・形式の情報を組み合わせた機能)を用いた資料・作品の制作活動。
	【B-6】 一人ひとりの能力や 個性に応じた特別支援	特別な支援を要する児童生徒一人ひとりに応じた学習ならびに生活支援。
	【B-7】 家庭学習	タブレット端末の持ち帰りによる学習。
C 協働 学習	【C-1】 発表や話し合い	グループや学級全体での発表・話し合いにおいて、それぞれの思考過程や意見を明確にするために、タブレットのマルチメディア機能を活用する。
	【C-2】 協働での 意見整理・まとめ	複数の意見・考えを比較・議論し、整理する。または整理の過程を記録する。
	【C-3】 協働による表現・制作	グループ内での分担・協働による表現・制作活動。
	【C-4】 フィールドワーク	タブレットのマルチメディア機能を用いて、聞き取りやアンケート、資料の取集等を効果的に行う活動。
	【C-5】 クラス・学校・地域を 越えた学習	遠隔地(学校外、市外、県外、海外等)の学校や専門家・学識者等との交流授業。

第2章

情報活用能力の育成 と情報モラル

Preface 006-009

- 1 学びの基盤となる
情報活用能力
- 2 カリキュラム
・マネジメント
- 3 情報活用能力指導計画
- 4 情報モラル教育

Preface 006

学びの基盤となる情報活用能力

ねらい：育てたい資質・能力と情報活用能力の「4つの柱」

教育の情報化
に関する手引

育てたい資質・能力

A. 知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技術（プログラミング的思考を含む）	① 情報技術に関する技能 ② 情報と情報技術の特性の理解 ③ 記号の組合せ方の理解
	2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解	① 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ② 情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解
	3 情報モラル・情報セキュリティについての理解	① 情報技術の役割・影響の理解 ② 情報モラル・情報セキュリティの理解
B. 思考力、判断力、表現力	1 問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ② 新たな意味や価値を創造する力 ③ 受け手の状況を踏まえて発信する力 ④ 自らの情報活用を評価・改善する力
	2 情報モラル・情報セキュリティについての態度	① 必要に応じて適切に情報を扱おうとする態度 ② 情報社会に参画しようとする態度

情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な力

情報活用能力の「4つの柱」

1) 情報機器の基本的操作

C1

○情報機器の基本的な操作

2) 情報活用の実践力

C2

○情報手段の特性等を理解し、課題や目的に応じた適切な活用、受け手の状況を踏まえた発信・伝達

○必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造

3) 情報の科学的な理解

C3

例：プログラミング的思考

○情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解

○問題解決の手順・順序を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現し、簡単なプログラムができる。

4) 情報社会に参画する態度

C4

例：情報社会における道徳、情報モラル

○自他の情報を大切にし、情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする考え方と態度

○望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

資質・能力の視点からの整理



学習内容の視点からの整理

Preface 007

カリキュラム・マネジメント

ねらい：情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメントの流れ



カリキュラム・マネジメントの三つの側面

カリキュラム・マネジメントと
授業デザイン

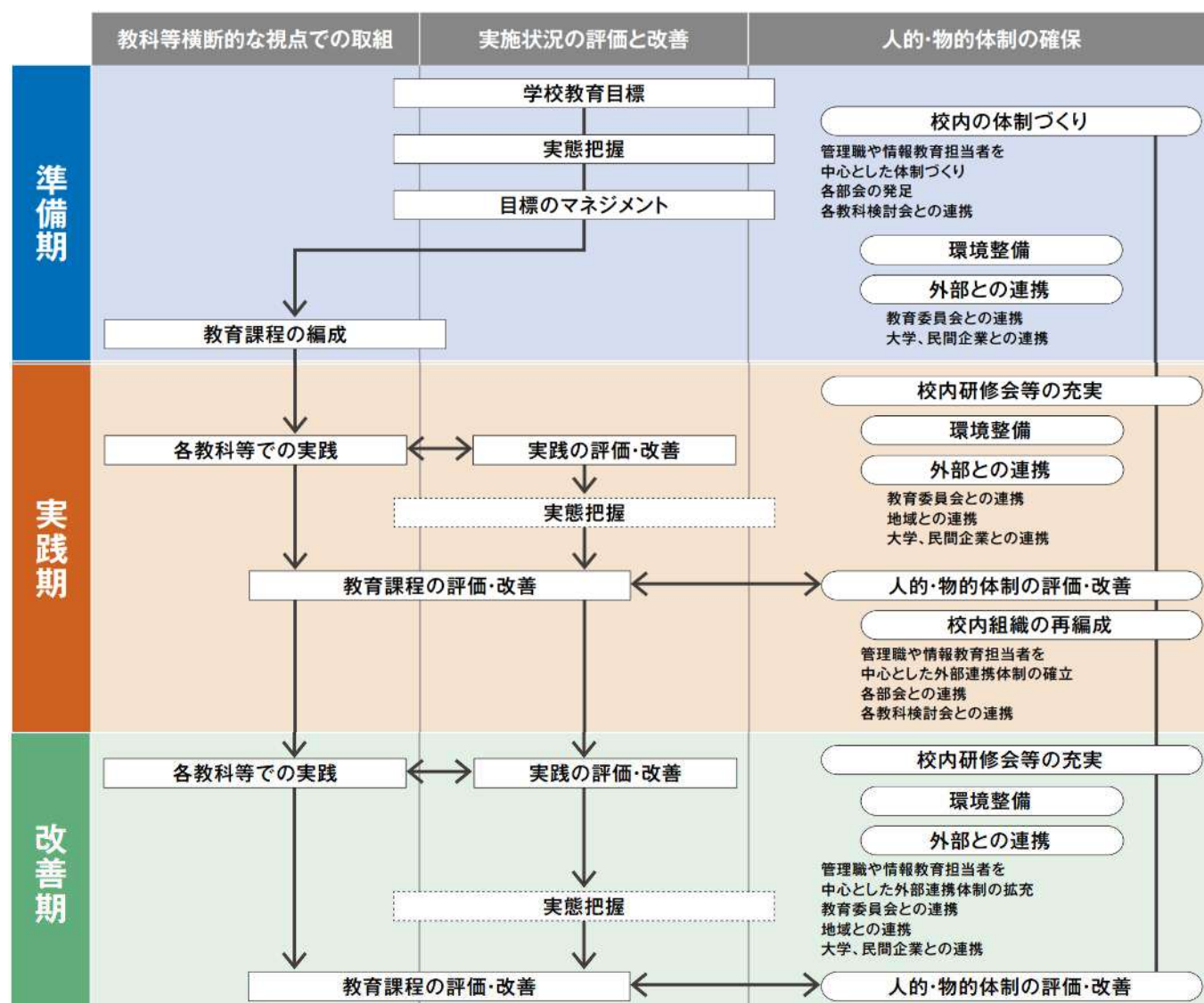
- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

(中央教育審議会答申より)

情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメントモデル

長期的な視点でカリキュラム・マネジメントを捉えるため、「準備期」「実践期」「改善期」の三つの期で整理しています。基本的には、各期を年度単位で想定していますが、「実践期」が複数年度続く場合もあれば、「改善期」に相当する年度が現在進行形で継続し続ける場合もあります。

カリキュラム・マネジメントの実際



Preface 008-1

9年間の情報活用能力指導計画①

観点	分類	指導内容	小学校						中学校		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
情報活用の実践力	課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	情報手段の基礎的な操作習得	タブレットの保管庫から出し入れ、ACアダプタの抜き差し。	○	○						
			キーボード、タッチパネル、利用スタイル、カメラなどの名称と機能。	○	○						
			起動、終了、ログイン、ログアウト、ID・パスワードの理解と操作。	○	○						
			キーボードの簡単な入力、タッチパネルやマウスの簡単な操作。(1, 2)	○	○						
			タッチパネルやペン、マウスを使って、簡単な絵や文字を描く。(1, 2)	○	○						
			キーボードを使って、簡単な日本語を書く。(3, 4)		○	○	○				
			ファイルやフォルダ、クラウドの概念を知る。(3, 4)	○	○	○	○				
			データの読み込みや保存、クラウドで提出や回収をする。(3, 4)	○	○	○	○				
			作成したデータを、印刷する。(3, 4)		○	○	○				
			コンピュータの基本的な構成と機能を知り、基本的な操作ができる。(技)					○	○	○	○
			ファイルやフォルダの作成や階層構造の操作ができる。(技)					○	○	○	○
		情報手段の適切な活用	情報収集の手段として、デジタルカメラやビデオカメラを利用する。(3, 4)	○	○	○	○				
			ネット上の情報の特性を知り、他の情報収集方法と併用して活用する。(5, 6)			○	○	○	○		
			課題や目的を意識し、どの情報手段が適しているかを選択する。(5, 6)			○	○	○	○		
			課題や目的に応じたコンピュータの利用形態を理解する。(技)					○	○	○	○
			様々なソフトウェアを選択して、基本的な情報の処理ができる。(技)			○	○	○	○	○	○
	必要な情報の主体的な収集判断、表現、処理、創造	情報の収集判断	タッチパネルで、インターネットを閲覧する。(3, 4)	○	○	○	○				
			検索機能を用いて、インターネットで調べる。(5, 6)			○	○	○	○		
			書籍やインターネット等の様々な情報手段を通して資料を収集する。(国)			○	○	○	○	○	○
			コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用する。(社)			○	○	○	○	○	○
		情報の表現、処理、創造	文書作成ソフトを活用して、写真や図、表などを入れた文章を作成する。(5, 6)			○	○	○	○		
			表計算ソフトにより表やグラフを作成して、分かりやすく表現する。(5, 6)			○	○	○	○		
			図や色、文字の大きさや配置などを工夫して、ポスターやチラシを作成する。(5, 6)			○	○	○	○		
			ビデオの動画を、伝えたい内容にあわせて、簡単な編集をする。			○	○	○	○	○	○
			観察や実験を行うに当たり、コンピュータ機器を活用し、表現力を養う。(理)			○	○	○	○	○	○
			作曲ソフトなどを用いて、生徒の個性的な創作や自己表現を活発にする。(音)					○	○	○	○
			コンピュータ等映像メディアで、美しく豊かに表現し、発表したりする。(美)					○	○	○	○
			コンピュータを活用して衣服の組み合わせを工夫したりする。(家)					○	○	○	○
			情報を収集、判断、処理し、発信ができる。(技)					○	○	○	○
			ソフトウェアを選択して、表現や発信ができる。(技)					○	○	○	○
			データベースソフトを活用して、様々な情報を整理し、データベース化する。					○	○	○	○
			画像処理ソフトを活用して、静止画の編集をする。					○	○	○	○
		受け手の状況などを踏まえた発信・伝達	プレゼンテーションソフトでスライドを作成し、発表する。(5, 6)			○	○	○	○		
			伝わりやすいようにスライドの構成、提示順序等を工夫しプレゼンテーションする。(5, 6)			○	○	○	○		
			受け手を意識したホームページを作成して、分かりやすく情報を発信する。					○	○	○	○
			受け手の気持ちに配慮しながら情報を発信し、正しく伝達できる。(技)			○	○	○	○	○	○

Preface 008-2

9年間の情報活用能力指導計画②

		電子メールにより、特定の相手と情報のやりとりをする。								○	○	○
		英語による電子メールで海外の学校と意見交換する。(英)								○	○	○
		チャットや掲示板を活用して、不特定の相手と情報のやりとりをする。								○	○	○
情報の科学的な理解	情報活用 の基礎と なる情報 手段の特 性の理解	データには大きさがあり、ファイルサイズや転送速度に影響があることを知る。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		コンピュータには、繰り返し処理や自動化するなどの特性があることを知る。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		ソフトウェアのインストール等の作業を通して、ソフトウェアの機能や役割を理解する。(技)							○	○	○	○
		情報伝達方法の特徴と利用方法を知り、適切な利用手段が選択できる。(技)					○	○	○	○	○	○
		動画や音声等、多様な素材をデジタルデータとして扱い、活用できる。(技)			○	○	○	○	○	○	○	○
		多様なソフトウェアから目的に合ったものを選択し、表現や発信ができる。(技)					○	○	○	○	○	○
	情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善したりするための基礎的な理論や方法の理解	自らの情報活用について記録、評価、改善をする。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		疑似体験、視覚的な把握、性質の発見等にコンピュータ機器を活用する。(5, 6) (数)			○	○	○	○	○	○	○	○
		簡単なロボットの製作や活用を通して、コンピュータによる制御を理解する。(5, 6) (技)					○	○	○	○	○	○
		プログラムの機能を知り、簡単なプログラムの作成ができる。(5, 6) (技)			○	○	○	○	○	○	○	○
		コンピュータを用いて、簡単な計測・制御ができる。(技)					○	○	○	○	○	○
情報社会に参画する態度	社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解	コンピュータの長時間使用などは、健康面へ悪い影響を与えることを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		情報化は、生活への影響や産業発展への役割を果たしていることを知る。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		インターネットの普及により自分の生活がどのように変わったかを考える。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		コンピュータ機器等の使用と健康との関連性について理解する。(5, 6) (体)			○	○	○	○	○	○	○	○
		情報手段の特徴やコンピュータとの関わりについて理解する。(5, 6) (技)			○	○	○	○	○	○	○	○
	情報モラルの必要性や情報に対する責任	IDやパスワードの大切さを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		人の写真を撮るときや、著作物の使用には許可が必要なことを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		自分や他人の個人情報をむやみに教えるはならないことを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		インターネット上の情報には、間違いや危険があることを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		文字だけのやりとりには誤解が生じやすいことを知る。(3, 4)	○	○	○	○						
		ネットワークの先には人がいることを意識し、相手の立場に立つ大切さを知る。(5, 6)			○	○	○	○				
		悪意がある情報や不適切・不正なサイトへの対処方法を知る。(5, 6)			○	○	○	○				
		著作権や知的財産権を理解し、これらの権利を守ることを知る。(5, 6)			○	○	○	○				
		インターネットの影響力の強さを知り、不確かな情報を発信しないようにする。(5, 6)			○	○	○	○				
		発信した情報に対して責任をもつことの大切さを知る。(5, 6)			○	○	○	○				
		表現の指導に当たり、著作権や知的所有権について理解する。(5, 6) (美)					○	○	○	○	○	○
		情報化が社会や生活に及ぼす影響を知り、情報モラルの必要性を理解する。(5, 6) (技)					○	○	○	○	○	○
		インターネットの匿名性について理解する。(5, 6)					○	○	○	○	○	○
	望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度	パソコンの使い方になれ、友だちと仲良くパソコンを使う。(1, 2)	○	○								
		受け取る人の気持ちを考えて手紙(メール)をかく。(3, 4)	○	○	○	○						
		メディアだけで情報のすべてを表現することは難しいことを知る。(5, 6)			○	○	○	○				
		情報には発信者の意図と背景があることを理解し自分で判断する必要がある。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○
		望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を養う。(5, 6)			○	○	○	○	○	○	○	○

Preface 009-1

情報モラル教育 ①

ねらい：情報社会で、適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

情報モラル教育の内容



背景

☆インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が発生している現状。

☆情報社会に積極的に参画する態度を育てることは今後ますます重要。

目標

☆情報手段をいかに上手に賢く使っていくか、そのための判断力や心構えを身に付ける。

☆情報社会の特性の一側面である影の部分を理解。

情報モラル：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。

すべての児童生徒に
情報モラルを身に付け
る指導が必要。情報モラルの指導は
すべての教員が行う。

内容及び指導上の留意点

☆具体的には下図にある2領域5分野の内容をもれなく扱う。

☆各教科等の目標と情報モラル教育の目標との関係を明確にする。

☆学校の教育活動全体を通して適切に情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付ける。

情報社会の倫理

★情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動を取る態度。

小学校：人の作ったものを大切にし、他人や社会への影響を考えて行動することの大切さを学ぶ。

中学・高等学校：他者の権利や知的財産権を尊重し、情報社会への参画において責任ある態度で臨み義務を果たさなければならないことを学ぶ。

法の理解と遵守

★情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度。

小学校：情報をやりとりする際のルールやマナーを理解し、それらを守る態度を学ぶ。

中学・高等学校：情報に関する法律や契約について理解し適切に行動する態度を学ぶ。

心を磨く領域

公共的なネットワーク社会の構築

★情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動を取る態度。

小学校：協力してネットワークを使い、データやリソースを共有することの大切さを学ぶ。

中学・高等学校：ネットワークの公共性を意識し、ネットワークをよりよいものにするために主体的に行動する態度を学ぶ。

知恵を磨く領域

★情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度。

小学校：危険なものには近づかない、もし不適切な情報に出会ったら大人に相談するなど適切に対応できる態度を学ぶ。

中学・高等学校：情報社会の特質を意識しながら安全に行動する態度や、自他の安全や健康に配慮した情報メディアとのかかわり方を学ぶ。

安全への知恵

★生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識。

小学校：IDやパスワードの保護や不正使用・不正アクセスの防止などを学ぶ。

中学・高等学校：情報セキュリティの基本的な知識を身につけ、セキュリティ対策の立て方を学ぶ。

情報セキュリティ

Preface 009-2

情報モラル教育 ②

ネット社会の歩き方



ねらい：情報社会で適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

いつ、どこで、どのように 6年間で着実に

分類	L1：小学校1～2年	L2：小学校3～4年	L3：小学校5～6年
1. 情報社会の倫理	a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	a	a1-1：約束や決まりを守る	a2-1：相手への影響を考えて行動する
			a3-1：他人や社会への影響を考えて行動する
	b1～3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
b	b1-1：人の作ったものを大切に する心をもつ	b2-1：自分の情報や他人の情報を大切に する	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する
2. 法の理解と遵守	c2～3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる		
	c	c2-1：情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る	c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない
			c3-2：「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する
			c3-3：契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない
3. 安全への知恵	d1～3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		
	d	d1-1：大人と一緒に使い、危険に近づかない	d2-1：危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する
		d1-2：不適切な情報に出合わない環境で利用する	d2-2：不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する
			d3-1：予測される危険の内容がわかり、避ける
			d3-2：不適切な情報であるものを認識し、対応できる
	e1～3：情報を正しく安全に利用することに努める		
	e	e2-1：情報には誤ったものもあることに気づく	e3-1：情報の正確さを判断する方法を知る
		e1-2：知らない人に、連絡先を教えない	e2-2：個人の情報は、他人にももらさない
			e3-2：自他の個人情報を、第三者にももらさない
	f1～3：安全や健康を害するような行動を抑制できる		
	f	f1-1：決められた利用の時間や約束を守る	f2-1：健康のために利用時間を決め守る
			f3-1：健康を害するような行動を自制する
			f3-2：人の安全を脅かす行為を行わない
4. 情報セキュリティ	g2～3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る		
	g	g2-1：認証の重要性を理解し、正しく利用できる	g3-1：不正使用や不正アクセスされないように利用できる
	h3：情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる		
	h		h3-1：情報の破壊や流出を守る方法を知る
5. 公共的なネットワーク社会の構築	i2～3：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		
	i	i2-1：協力し合ってネットワークを使う	i3-1：ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う

この夏休みにかけてタブレットを持ち帰り、**ご家庭でも有効に活用できることとなりました**。これまで本校では**F G S t 構想**に基づき、各教科等の授業での活用とともに、子供たちの情報活用能力を育成してきました。夏休みこそ、タブレットをスマート・ツール（賢いツール）として活用を深める絶好の機会と考えます。

Preface 009-3

情報モラル教育の実際

ふじみ小の情報モラル教育の“今”

情報社会において適正で安全な活動を行うための基になる考え方や態度の育成

タブレットの正しい使い方とともに、**情報モラル教育**に力を入れて取り組んでいます。

Step 1

▶ 情報社会の倫理 R3. 7. 14

発信する情報や自他の権利を尊重する 1 年生

先生が「今日は、タブレットを上手に使うためのルールをみんなで考えます」と言うと、いっせいに子供たちが「もう使えるよ」「上手だよ」と言って自信満々。でも、本校の「タブレットの約束」を確認しながら、みんなで意見交換していくと理解の甘さに気付きます。最後にテストを実施しました。

発信する情報や情報社会での行動に責任をもつ第一歩として
「約束やきまりを守ること」
「相手への影響を考えること」
 などを学びました。



▶ 法の理解と遵守 R3. 7. 13

情報社会でのルールやマナーを遵守する 2 年生

生活科「町が大好き たんけんたい」の学習を振り返りながら、人や地域との関わり方について学んでいました。

SNS 東京ノートを活用して、自分が言われて「あまりうれしくない言葉」や「うれしい言葉」は、人によって違う ということに気付きました。

図工の作品をマネしていいか？ の質問に、子供たちは迷いに迷って、ちゃんとお友達に言って「いいよと言われたら、参考にしても OK」という結論を導き出しました。



Step 2

▶ 安全への知恵 R3. 7. 15

情報社会の危険から身を守る 3 年生

1 組では、タブレットの上手な使い方について話し合っていました。タブレットを家に持ち帰るようになった時、活用範囲が広がります。どんなことに注意して、どのように有効活用できるのか、みんなで知恵を出し合っています。

2 組では、はじめに Form を使って、一人一人にアンケートを取りました。家庭での平均使用時間は、30分以内から数時間まで千差万別。すでに**ネット依存**ようになって制止が効かない子もいます。



▶ 安全への知恵 R3. 7. 15

情報を正しく安全に利用する 4 年生

「ゲームに熱すぎると」「むやみにタップしてはダメ」「送った写真のゆくえは・・・」という動画を、一つ一つ視聴して、その都度、**約束を守る、時間を守る、自分の安全や健康を守ろうとする**など、意見を交流しました。

子供たちに問題点を問うと、すごい勢いで次々と課題を指摘していました。他人事ではなく、子供たちにとって、まさに身近な問題であり、ネットの楽しさと恐怖が常に背中合わせだということがよくわかりました。



Step 3

▶ 情報セキュリティー R3. 7. 14

情報セキュリティーの基本を知る 5 年生

5年生の道徳の授業です。「おさむさんが、ゆずるさんの個人情報を使ってゲームのキャラクターを作り、ネットに流していました」…、その考え方や危険性について活発に議論し自律的で責任のある行動について考えを深めていました。

子供たち自身が様々な経験を繰り返しており、いつも危険と隣り合わせを実感していました。

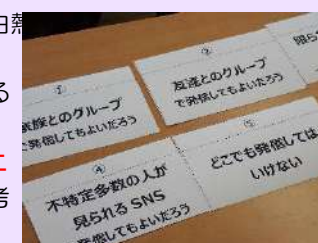
認証の重要性を理解し、不正使用や不正アクセスされないよう利用するなど、**情報の破壊や流出を守る方法**を学びました。



▶ 公共的なネットワーク社会の構築 R3. 7. 15

情報社会の一員としての意識を持つ 6 年生

6年生の情報モラル授業。動画「思ったままに SNS に送っただけなのに」では、ケーキを食べて「期待していたのにショック #最近の残念なお店」というコメントとともに、お店の店名の入ったチラシとケーキを SNS で発信していました。子供たちの議論は白熱。純には判断できないようです。それを見て不快に思う人がいる情報は、発信しない方がいい、自分の考えではなく、**相手のことを思うことが重要**、という考えに至りました。



第3章

プログラミング 教育の推進

Preface 010-012

- 1 プログラミング教育とは
- 2 プログラミング教育の
ポイント
- 3 プログラミング教育の
実際

Preface 010

プログラミング教育とは

ねらい：プログラミング教育とプログラミング的思考

プログラミング的思考を育成します



プログラミング教育の必要性の背景

- ・近年、飛躍的に進化した人工知能は、所与の目的の中で処理を行う一方、人間は、みずみずしい感性を働かせながら、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかなどの目的を考え出すことができ、その目的に応じた創造的な問題解決を行うことができるなどの強みを持っている。こうした人間の強みを伸ばしていくことは、学校教育が長年目指してきたことでもあり、社会や産業の構造が変化し成熟社会に向かう中で、社会が求める人材像とも合致するものとなっている。
- ・自動販売機やロボット掃除機など、身近な生活の中でもコンピュータとプログラミングの働きの恩恵を受けており、これらの便利な機械が「魔法の箱」ではなく、プログラミングを通じて人間の意図した処理を行わせることができるものであることを理解できるようにすることは、時代の要請として受け止めていく必要がある。
- ・小学校段階におけるプログラミング教育については、コーディング（プログラミング言語を用いた記述方法）を覚えることがプログラミング教育の目的であるとの誤解が広がりつつあるのではないかと指摘もある。

プログラミング教育の手引き

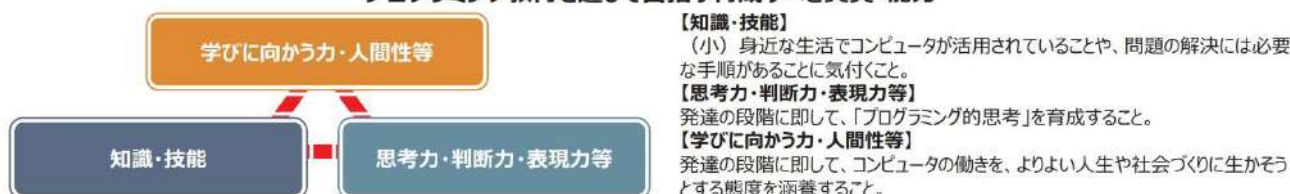
プログラミング教育とは

子供たちに、コンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育成するもの

プログラミング的思考とは

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力

プログラミング教育を通じて目指す育成すべき資質・能力



こうした資質・能力を育成するプログラミング教育を行う単元について、各学校が適切に位置付け、実施していくことが求められる。また、プログラミング教育を実施する前提として、言語能力の育成や各教科等における思考力の育成など、全ての教育の基盤として長年重視されてきている資質・能力の育成もしっかりと図っていくことが重要である。

プログラミング教育が始まりました

情報活用能力の育成

目指す資質・能力例

プログラミング教育

系統的な指導例

資質・能力
の三つの柱

低

中

高

低学年

中学年

高学年

情報活用の実践力

知識・技能

何を知っているか
何ができるか
～できる

PCの基本的な操作ができる。
起動/シャットダウン/マウス/文字入力
物事には順序があること。

アプリを必要に応じて活用。
ブラウザ/ローマ字入力/ファイル操作/印刷/順序・分岐の理由や必要性を明らかにする。

必要な情報を収集、活用し、問題解決方法や手順を思考。
文書/プレゼン/画像データ処理
順序や制御・演算・分岐を意図して設定できる。

障害者を支援するツールをつくろう！

フィジカル
プログラミング

R2. 12. 9

情報の科学的な理解

思考力
判断力
表現力

知っていること
できることを
どう使うか
～する

事実と感想や意見を区別する。
自分の言葉で表現する。
くじらーニング
東京ペーシック
順序に従って行動する。

複数の情報から顕著な変化を見付ける。
言語・図表など、相手に応じて適切に表現する。
一連の活動の順序や分岐を整理する。

自他の権利を尊重した表現する。
複数の情報を統合させる。
考えを効果的に表現する。
結果を予測し、順序を考えながら命令や条件を組み立てる。



R2. 10. 14

ビジュアル
プログラミング

命令を積み上げて画面の魚を動かそう！

情報社会に参画する態度

学びに
向かう力
人間性

どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか
～しようとする

情報から相違点や適切か否かを見付ける。
プログラミングされた道具等を活用しようとする。

調べ方が最適であるか。
個人情報・著作権・肖像権。
プログラミングされた道具等を目的に応じて活用しようとする。

複数の情報を基に多面的に考え、評価・改善につなげる。
コンピュータの働きを、よりよい生き方や社会づくりに生かそうとする。



R2. 9. 29

アンブラグド
プログラミング

音符を組み合わせてリズムをつくろう！

Preface 011

プログラミング教育のポイント



ねらい：小学校におけるプログラミング教育の留意点

相模原市のプログラミング

相模原プログラミング2020



プログラミング教育は、プログラミングの言語や技能を習得することが目的ではありません。子供にとっては、表現や創作手段のひとつです。ゆえに、クレヨンや粘土と同じように、プログラミングを通して、論理的な思考や問題を解決する力、他者と協働し新しい価値を創造する力が育まれると考えます。

ここがポイント

プログラミング思考とは

順序立てて考え、試行錯誤し、物事を解決する力

① 自分が意図する一連の動作を実現するために、自らの意図を明確にする

② 必要な動きを分けて考える

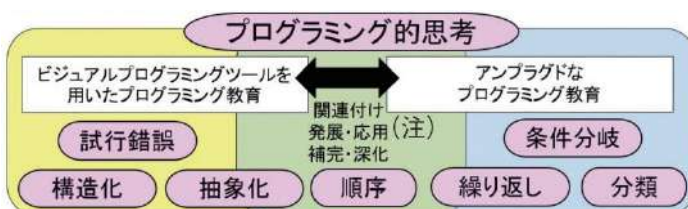
③ 動きに対応した命令(記号)に置き換える

④ 命令(記号)を組み合わせる

⑤ 意図した動作に近づくように試行錯誤しながら、継続的に改善する

課題発見

課題解決



指導のポイント

- 教科等のねらいの達成、理解の深化を図る活動であるか
- 児童にとって必要性のある活動であるか
- 育成したいプログラミング的思考を意識した活動内容、指導・支援方法であるか
- 単元計画の中に位置付けられており、応用性・発展性のある学びになっているか

これからの時代に求められる資質・能力

1 情報を読み解く力

2 情報技術を手段として使いこなしながら、論理的・創造的に思考して課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力



子供たちが、情報技術を効果的に活用しながら、論理的・創造的に思考し課題を発見・解決していくためには、コンピュータの働きを理解しながら、それが自らの問題解決にどのように活用できるかをイメージし、**意図する処理がどのようにすればコンピュータに伝えられるか**、さらに、**コンピュータを介してどのように現実世界に働きかけることができるのか**を考えることが重要になる。

3 感性を働かせながら、よりよい社会や人生の在り方について考え、学んだことを生かそうとする力

プログラミング言語や技能の習得がねらいではない

各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、**教科等での学びをより確実なものとする**

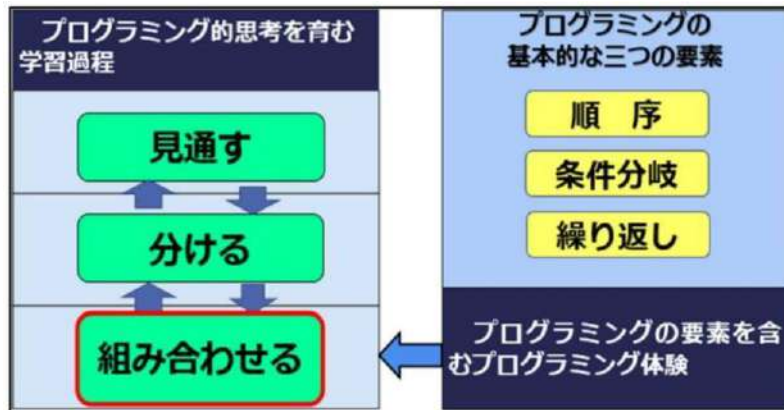
※プログラミングに取り組むことを通じて、児童がおのずとプログラミング言語を覚えたり、プログラミングの技能を習得したりするといったことは考えられるが、それ自体をねらいとしているのではない

Preface 012

プログラミング教育の実際



ねらい：小学校段階におけるプログラミング教育の在り方



プログラミングポータル



A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの

算数：[第5学年]
B 図形(1)正多角形

理科：[第6学年]
A 物質・エネルギー(4)電気の利用

総合的な学習の時間
情報に関する探究的な学習

B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの

C 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの

D クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの

E 学校を会場とするが、教育課程外のもの

F 学校外でのプログラミングの学習機会

④編成 小学3～6年・中学・高校
Eテレ
(月)午前10:05～10:15 [4月～12月]

小学校プログラミング教育

みらプロ
2020

企業と連携した総合的な学習の時間

生活 1年生
日常生活の段取り

効率的な朝の時間をプログラム



音楽 2年生
リズムで音楽づくり

繰り返しのつかってリズムをつくらう



図工 3年生
動く魚をプログラム

色や形を組み合わせさせて動かそう



体育 4年生
既習運動の組み合わせ

効率的なタイミングを展開



算数 5年生
正多角形をかく場面

筋道を立てて考える力の育成



理科 6年生
電気の性質や働き

考えの視点や表現する力の育成



第4章

1人1台端末の 基本操作 (クラウドアプリ)

Operation
001-027

- 1 はじめの一步
- 2 SKY MENU
- 3 G-Suite
- 4 くじらーニング

Operation 001

4月上旬

はじめの一步

ねらい：大事なことは「なんとなく出来そうだな」という子供の期待感。

毎年4月、新1年生が入学してきます。教科書やノートなどの文房具があるのと同じように、1人1台のタブレット端末がそこにあります。もはや当たり前の教室の風景です。

しかし、新1年生にとっては、小学校生活と同様にすべてが初めての体験です。無理せず、タブレットに親しんでいくことが大切です。次ページ以降を参考に、ステップ1から3までを、4月中には、体験するようにしましょう。

「はじめの一步」が始まらなと、二歩目に進めません！ 始めれば、子供たちは柔軟です。これからの社会を担う子供たちに必要不可欠な資質・能力を育成していきましょう。

第1日目（ステップ1）

- (1) 大切さを学ぶ
- (2) ルールを守って楽しく使おう
- (3) 保管庫から出し入れしよう
- (4) アカウントのログイン・ログアウト
- (5) タブレットのオン・シャットダウン
- (6) Chromebook の利用スタイル
- (7) タブレットの名称を覚えよう



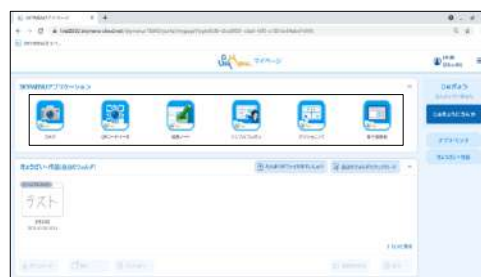
第2日目（ステップ2）

- (8) タッチパネル操作を覚えよう
- (9) キーボードのキーの機能を覚えよう
- (10) コグトレをしてタッチパネルに慣れよう
手書きで、丸で囲む、文字を書く
元に戻す、消しゴムで消す など
- (11) G Suite を開いてアプリを使ってみよう
- (12) 富士見丘小学校のホームページを閲覧しよう
富士見 Diary などを見る
- (13) 個人情報の扱いなど情報セキュリティを学ぼう



第3日目（ステップ3）

- (14) SKYMENU Cloud を使ってみよう
- (15) 写真機能を使い、撮影してみよう
- (16) 写真をマイドライブに保存しよう
- (17) 個人フォルダと共有フォルダを知ろう
- (18) マイドライブから先生に送ろう



〔そのほか、これまでに本校が発行してきた児童向け・保護者向け資料を確認しましょう〕 巻末に掲載

【児童向け資料】

- タブレットの約束
- 家庭利用の約束
- オンライン授業の約束

【保護者向け簡易マニュアル】

- ログイン・アウト
- ミートの接続
- ズームの接続
- オンライン授業
- クラスルーム
- スカイメニュー
- くじらーニング
- 電子書籍サービス

【保護者向け通知文】

- 通知文（市教委）
- タブレット活用ルール（市教委）
- Wi-Fi 環境の整備（市教委）
- オンライン授業アンケート結果 等

Operation 002

端末の起動とログイン

4月上旬


[Google Classroom 簡易資料](#)

ねらい：端末を正しく扱い、保管庫から出し入れ、ログイン・ログアウトができる。

1 タブレットの約束（7ルール） ～ ルールを守って楽しく使おう ～

- (1) タブレットは、学習するために使います。正しい使い方を学びましょう。
- (2) タブレットは、昭島市が貸し出す大切なものです。優しく、丁寧に扱きましょう。
- (3) タブレットは、決められた場所に保管し、先生の許可なしに持ち帰ることはできません。
- (4) パスワードは、他の人が見えるところにメモしたり、教えたりしてはいけません。
- (5) パスワードは、変えてはいけません。「設定」も、変更してはいけません。
- (6) タブレットを使用するときは、正しい姿勢で使い、顔を画面に近づけすぎないようにします。
- (7) 目や体が疲れたり、タブレットが壊れたりしたら、すぐに先生に伝えましょう。

2 固有の情報（端末番号・ID・パスワード等） ～ 端末の確認 ～

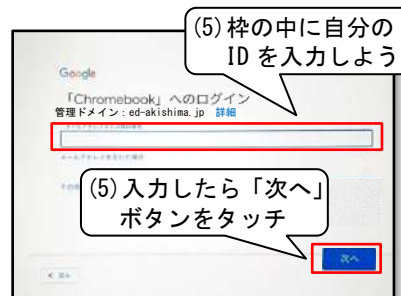
学年	組	番号	姓	名	保管庫 配置教室	タブレット端末 管理番号 (AssetID)	アカウント名 ※ドメイン名は @ed-akishima.jp	パスワード
1	1	1	いながき	たつや	1 1	AK1234Y56	S1234567	12345678

3 ログイン ～ 大切な情報を入力する ～

- (1) 端末番号を確認して、先生の指示に従い、保管庫の近くに並ぶ。
- (2) 保管庫からタブレットを出し入れする。
→ 端子は、コードを引っ張らないで、丁寧に抜き差しする。
- (3) 両手で持ち運び、机の上に置く。
→ 粗雑に扱わない、指示があるまで開かない。
- (4) タブレットを開く。
→ ネットに接続されるまで待つ。
あちこち押したり、触ったりしない。

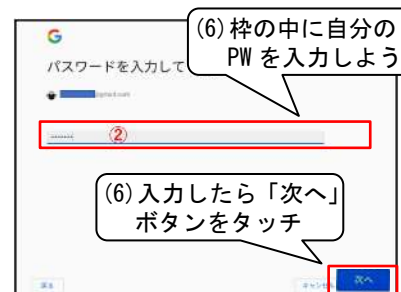
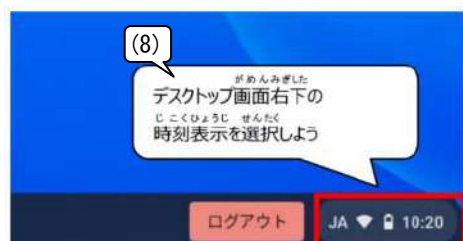


- (5) (初回のみ)
アカウント名（ID）を入力する。
→ 画面表示「s 0 0 0 0 0 0」
入力したら「次へ」を押す。
- (6) パスワードを入力する。
→ 画面表示「*****」
- (7) 確認画面「新しいアカウントへようこそ」
が出てきたら「同意する」ボタンをタッチして、起動完了。



4 ログアウト・シャットダウン ～ 必ず電源を切る ～

- (8) メニュー表示からシャットダウンする。
画面が暗くなる。タブレットを閉じる。
- (9) 時間があれば、もう一度、ログイン、ログアウトの練習をする。
- (10) タブレットを両手で運んで、先生の指示に従い、保管庫の近くに並ぶ。
- (11) 番号順に保管庫に収納し、端子を丁寧に差し込む。



Operation 003

端末の基本操作を覚えよう

4月中旬



ねらい：端末の主な名称とタッチパネルやキーボードの簡単な操作をする。

1 タブレットの利用スタイル ～ 目的に応じたスタイルで使う ～

学習用タブレット
利用ハンドブック〔ノート PC スタイル〕
文書作成等〔テントスタイル〕
教材視聴等〔タブレットスタイル〕
記録や発表等〔スタンドスタイル〕
動画の視聴等

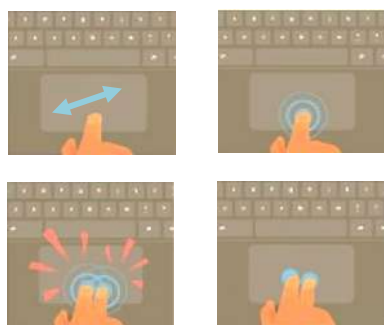
2 タブレットの名称 ～ 主な名前と機能 ～



3 タッチパネルの操作 ～ 画面タッチ ～



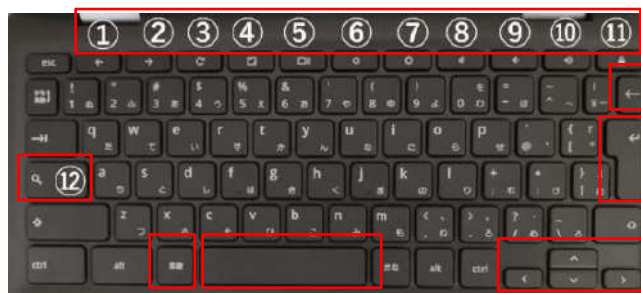
4 タッチパッドの操作 ～ マウスと同様の操作ができます ～



ポインタを動かす	タッチパッド上で指先を動かします。
クリック	タッチパッドの下半分を押すかタップします。
ダブルクリック	タッチパッドの下半分を2回素早く押すかタップします。
右クリック	タッチパッドを2本の指で押すかタップします。または、Altキーを押した後、1本の指でタッチパッドをタップします。
スクロール	タッチパッドに2本の指を置き、指を縦横に動かし、スクロールします。
新しいタブでリンクを開く	目的のリンクにカーソルを合わせてから、タッチパッドを3本の指でタップまたはクリックします。
ドラッグ&ドロップ	移動するアイテムを1本の指でクリックしたまま、希望の位置までドラッグした後、指を放します。

5 キーボードの操作 ～ キーの名前と機能 ～

- ① 前ページに戻る
- ② 次ページに移動
- ③ 再読み込み
- ④ 全画面表示
- ⑤ 開いているアプリの一覧表示
- ⑥ 画面を暗く
- ⑦ 画面を明るく
- ⑧ サイレント
- ⑨ 音を下げる
- ⑩ 音を上げる
- ⑪ ロック (長押し)
- ⑫ ドロワー表示

5. 文字変換キー
日本語入力と英数字入力の切り替え3. BackSpaceキー
カーソル (文字入力位置を示すマーク)
の左側の文字を消す1. Enterキー
文字入力の確定、文字の改行4. 矢印キー
カーソル (文字入力位置を示すマーク)
を前後左右に動かす2. Spaceキー
文字入力の変換、空白文字の挿入

Operation 004

4月中旬

学校ホームページを閲覧しよう



ねらい：Google から学校HPにアクセスして、簡単な操作に慣れよう。

1 Google から検索しよう ～ キーボードから文字入力 ～

- (1) 起動後、Google 検索画面が表示されます。
- (2) **ローマ字入力**や、**手書きモード**で学校名。
「akishimashiritsufujimigaokasyougakkou」
- (3) 入力は、① キーボード
② タッチパネル いずれでも可能
- (4) 検索リストから、富士見丘小学校を選択する。

タブレット運用
ガイドブック

2 ホームページを閲覧して、簡単な操作に慣れよう ～ キーボード、タッチパネル、タッチパッド ～

タブをタップして選択したり、URL を直接入力したりします。

新しい Web ページを開く

Web ページをタスクバーに格納

Web ページを小さくする

Web ページを元の大きさに戻す

Web ページを閉じる

スクロールバーをスライドさせて画面をスクロール

前のページに戻ります。

プルダウンメニューを開きます。

Twitter のページが開きます。

富士見丘 Diary は毎日見よう

タッチするとリンク先が開きます

新着情報の一覧が表示

3 タブレット利用にかかわる情報モラル

- タブレットを、家に持ち帰ったとき、他人に貸したり、使わせたりしません。
- パスワードを、他人には教えません。（自宅で使用する場合、保護者には教えます。）
- 自分や他人の個人情報（氏名・住所・電話番号など）はインターネット上に、絶対に公開しません。
- カメラや動画で人や持ち物などを撮影したい時は、必ず撮影する相手や場所の許可をもらいます。
- 先生の許可なく、アプリをダウンロードしたり、機能を追加したり、設定を変更しません。
- 自宅のパソコンや USB メモリなどの記録媒体をタブレットとつなぎません。
- あやしいサイトにつながってしまったなど危険を感じたら、タブレットの使用を止め、身近な大人に相談しましょう。

Operation 005

SKYMENU Cloud 概要

4月下旬

ねらい: SKYMENU Cloud の概要を理解しよう。

SKYMENU
Cloud

1 SKYMENU Cloud でできること

多彩なアプリを選択

Web上の動画を設定

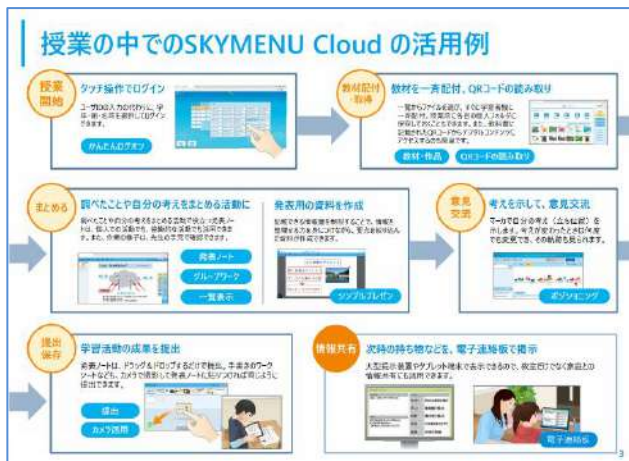
教材や課題を配布

クラスを選択して授業開始

画面ロック、一斉提示等

データの配布、回収、返却

2 授業の中での活用方法



3 オンライン授業のイメージ



4 授業での活用例



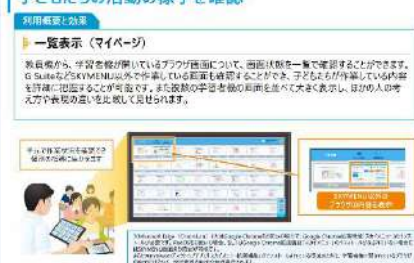
教材や資料を一斉に配付・提出



先生の画面を子どもたちに提示



子どもたちの活動の様子を確認



Operation 006

4月下旬

G-Suiteの概要

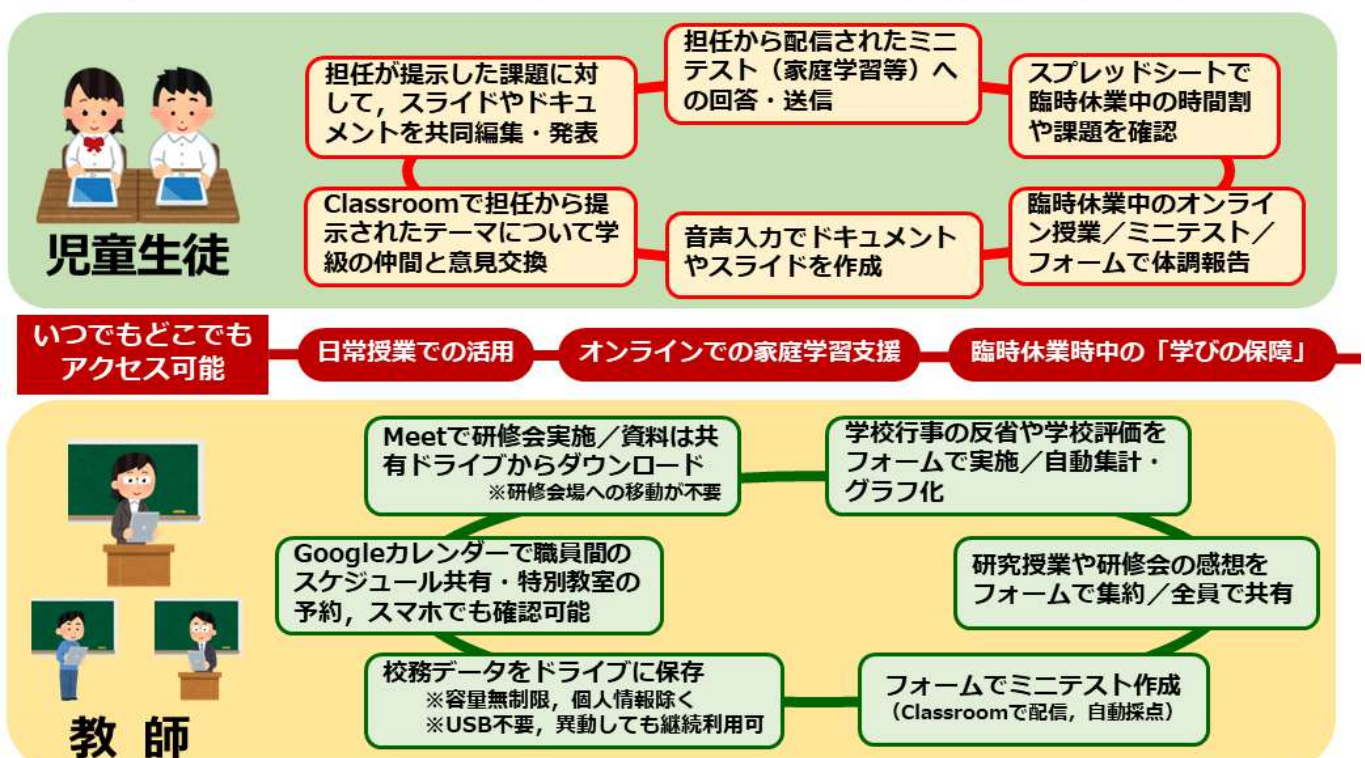
ねらい：G-Suite の概要を理解しよう。

[G-Suite for Education](#)

G Suite for Education でできること



G Suite for Education 活用イメージ



Operation 007

4月下旬

くじらーニングを使ってみよう

ねらい：くじらーニングの概要を理解しよう。

[ラインズ](#)
[eライブラリ](#)


先生メニュー

コミュニケーション

- ・児童生徒のふりかえりを確認し、個人にメッセージを返信する入口です。クラス単位で全員へ一斉に連絡を送信することもできます。
- ・トップページでは、児童生徒からメッセージを受けると、お知らせが表示されます。

児童生徒への学習指示（ドリル教材）

- ・児童生徒へ教材を指定して出題する入口です。先生が学年・教科・単元から教材を選び出題できるほか、個人の学習状況に応じてシステムがおすすめする教材を出題することもできます。

成績管理（学習履歴確認）

- ・児童生徒個人やクラス全体の学習結果を確認する入口です。
- ・トップページでは、学習状況に応じてお知らせが表示されます。

ライブラリ（その他の教材）

- ・アニメーション教材やフラッシュカード帳など、目的に応じてご利用いただける多様な教材を収録しています。

教材検索

- ・教科書の単元名やページ数から教材を検索する入口です。

eライブラリの設定

- ・教科書の設定や児童生徒のID・パスワードの管理などを行う入口です。

児童生徒メニュー

学習のふりかえり

- ・これまでの学習状況や傾向を確認し、先生へメッセージを送信する入口です。
- ・トップページでは、学習状況に応じてイラストの変化を楽しめます。また、先生からメッセージを受けると、お知らせが表示されます。

先生からの指示（ドリル教材）

- ・先生から出題された確認テストや課題に取り組む入口です。

自由学習（ドリル教材）

- ・自分で教材を選び、自由に学習する入口です。学年・教科・単元から教材を選べるほか、個人の苦手や得意を伸ばす教材に取り組むことができます。
- ・トップページでは、個人の学習状況に応じてシステムがおすすめする教材への入口が表示されます。

ライブラリ（その他の教材）

- ・手書き学習教材や暗記カード帳など、目的に応じてご利用いただける多様な教材を収録しています。

Operation 008

SKYMENU Cloud 「発表ノート」

5月上旬



ねらい：「発表ノート」を使って、SKYMENU の簡単な操作に慣れよう。

SKYMENU 詳細機能

1 SKYMENU Cloud とは ～ 特に「教室での学習」に有効!! ～

一斉学習や協働学習、個別学習など、多様な学習活動のなかで活用できる機能をクラウドサービスとして利用できるものです。

協働学習や伝える活動に取り組ませたり、子供の思考の変容を可視化したり、具体的な学習活動に踏み込んで、様々な場面で活用できます。

また、家庭と学校をつなぐ、家庭学習支援もでき、活用場面が広がります。



2 発表ノートで「お絵描き」

【手順】

- (1) 画面左上の「お気に入り」をタップ。
- (2) 「SKYMENU 富士見丘小学校」をタップ
- (3) 「発表ノート」  をタップ
- (4) 「ノートを作成」  をタップ
- (5) 「ペン」  をタップ
- (6) 「色」「太さ」などを選んで手書きする

【その他の機能】

- (7) 「文字」「画像」「消しゴム」
- (8) 「元に戻る」「やり直し」
など学年に応じて…

(8) 「元に戻る」「やり直し」



2年生の国語。これまで文章の構成（順序など）を学んだことを生かして、おもちゃの作り方を説明する文章を書きます。タブレットの発表ノートを活用して、自分で撮影した画像を貼り付けて、作る手順通りに文章を書く練習をしていました。



2年生 R3. 4. 17



2年生 R4. 11. 30

Operation 009

SKYMENU Cloud 先生機を使う

5月上旬

ねらい：「先生機」を使って、SKYMENU の使い方に慣れよう。

SKYMENU
画面一覧

1 教材や資料を一斉に配布・提出

プリントを配るイメージで、マイページの教材・作品を、一斉配布、個別配布ができます。

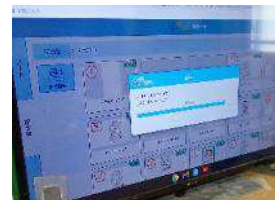
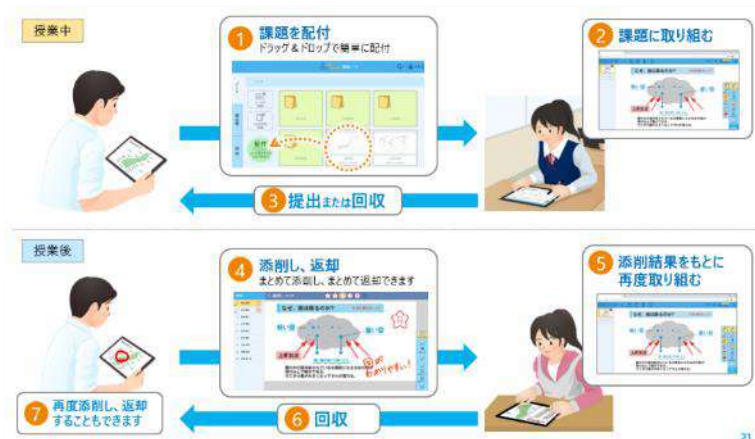
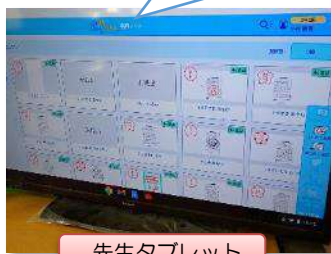


2 児童の活動の様子を確認

教員機から、児童の画面状態を一覧で確認。複数の画面を並べて表示することもできます。



3 課題配布 ～ 提出 ～ 確認・添削 ～ 返却 までの流れ

児童が提出したノート一覧を提示
一斉添削等、様々な操作ができます

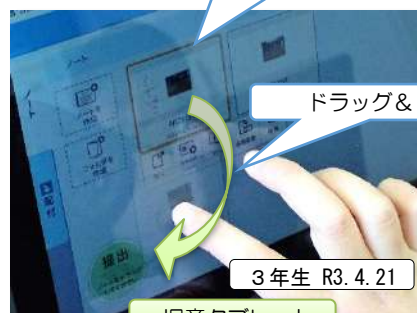
先生タブレット

ノート提出

ノート返却

ノートをタップ

ドラッグ&ドロップ



3年生 R3.4.21

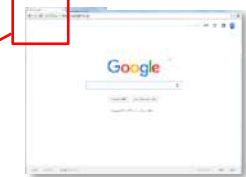
児童タブレット

Operation 010

SKYMENU Cloud 「カメラ」「QRコード」

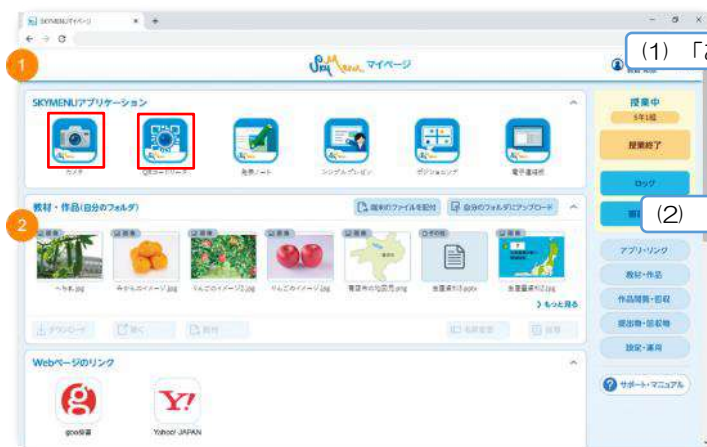
5月上旬

ねらい: 「カメラ」を使って、SKYMENUの簡単な操作に慣れよう。

SKYMENU
カメラ

起動後の Google 画面

1 SKYMENU Cloud の いろいろな機能を使う



(1) 「お気に入り」

(2) 「SKYMENU」

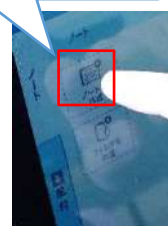
(3) 「QRコード」リーダー

(3) 「カメラ」

2 発表ノートでQRコード・撮影

- (7) 画面左上の「お気に入り」をタップ。
- (8) 「SKYMENU 富士見丘小学校」をタップ
目的に応じて SKYMENU アプリから選択する
「教材・作品」自分の読み込むこともできる
- (9) ① 「QRコード」  をタップ
- (3) ② 「カメラ」  をタップ

(4) 「ノート作成」



(5) 撮影



- (4) 「カメラ」アイコン  をタップ
- (5) 「カメラ」アイコン  で撮影

英語の教科書の「QRコード」を読み取って



タブレットがデジタル教科書



4年生 R3.4.13

「カメラ」機能で撮影

自画像の写真・植物の観察写真・温度の記録写真



富士見丘小学校

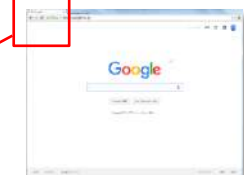
Operation 011

5月中旬

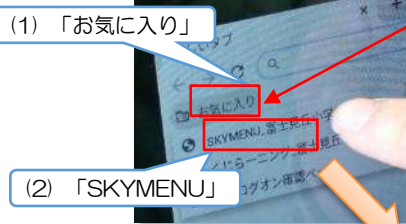
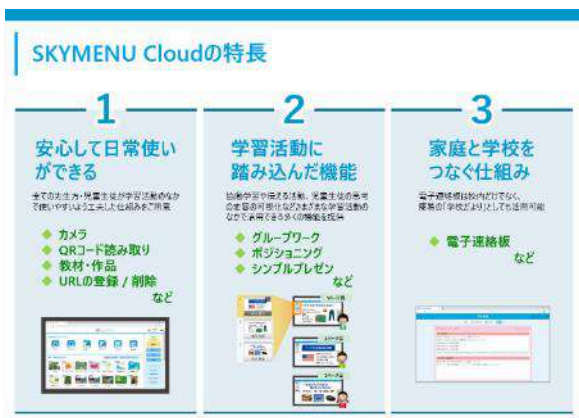
SKYMENU Cloud 「提出・返却」

ねらい:「発表ノート」を使って、クラウドの操作に慣れよう。

1 SKYMENU Cloud で「発表ノートを提出・返却」

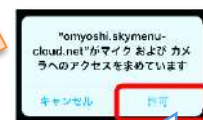
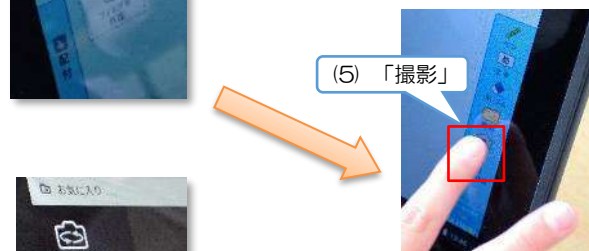
SKYMENU
ノート

起動後の Google 画面



2 発表ノートで撮影する

- (1) 画面左上の「お気に入り」をタップ。
- (2) 「SKYMENU 富士見丘小学校」をタップ
- (3) 「発表ノート」  をタップ
- (4) 「ノートを作成」  をタップ
- (5) 「撮影」  をタップ
- (6) 「カメラ」アイコン  で撮影する



許可をタップ

3 発表ノートに手書きする

- (7) 「ペン」アイコン  をタップ
- (8) 線の太さや色を選んで、描く

4 発表ノートを提出する

- (9) 作成した発表ノートをタップして選択
- (10)  まで、ドラッグ&ドロップ
- (11) 児童が提出したノートを添削、返却

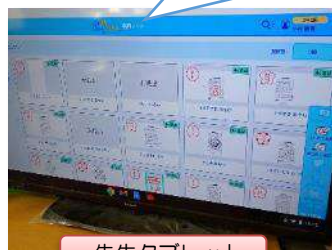


2年生 R3.4.20



(8) 色・太さなど

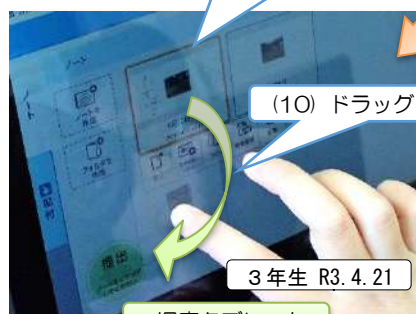
- (11) 児童が提出したノート一覧を提示
一斉添削等、様々な操作ができます



先生タブレット

ノート提出

ノート返却



3年生 R3.4.21

児童タブレット



富士見丘小学校

Operation 012

SKYMENU Cloud で「プレゼン」

5月中旬

SKYMENU
プレゼン

ねらい:「プレゼン」を使って、情報をシンプルにまとめよう。

1 SKYMENU Cloud で「プレゼン」

タブレットで撮影した写真や文字を使って、「**シンプルに伝える力**」を育みます。

画像や文章を配置して、発表資料となるスライドが作成できます。使用できるスライド数や、スライドで使用する文章や画像の個数が限られているため、情報の取捨選択が必要となります。自分の発表内容の中でどの情報が最も重要なのかを、試行錯誤しながら情報を端的にまとめる活動ができます。

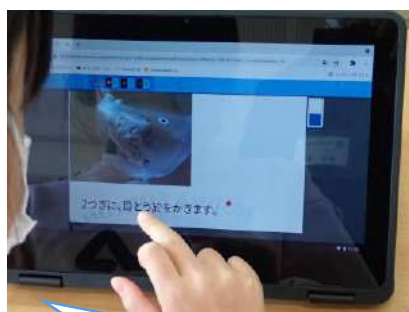
レベルを上げるにつれて記載できる情報量が少なくなるため、情報の取捨選択が必要になります。自分が発表する内容の中で、どの情報が最も重要なのかを考えながら、発表資料作成に取り組みます。

段階▶	①初級	②中級	③上級
スライド数	8枚まで	7枚まで	6枚まで
スライド1枚あたりの写真枚数	4枚まで	2枚まで	2枚まで
テキストボックス数	5つまで	4つまで	3つまで
文字数	20文字まで	15文字まで	10文字まで

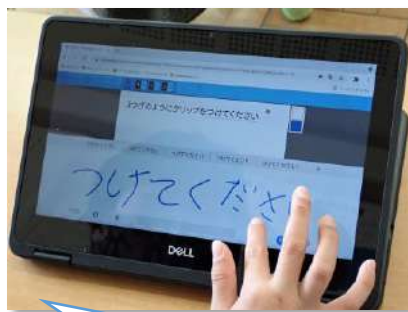


2 シンプルプレゼンで、「動くオモチャの作り方」を1年生に紹介しよう。

2年生の生活科の授業です。一人一人が工夫して製作した「おもちゃ」の作り方を、1年生に分かりやすく発表するプレゼンを作っていました。スライドの枚数や文字数を制限して、必要な情報、大切な情報を絞って、言葉も選んでいました。



スライドに、自分が撮影したオモチャの写真を貼り付けます。



指で画面上に文字を書くと、自動で変換、入力されます。



完成したスライドをクラスで発表、共有していました。

2年生 R4.2.8

シンプルプレゼン機能は、多くのことを「Easy(簡単)」に実現するための機能ではなく、情報をいかに「Simple(端的)」にまとめられるかという観点で作られた機能です。言葉や写真、スライド数を制限することで「何をメッセージとして伝えたいのか」「どんな全体構成にすればよいか」を考えながら「全体」と「部分」を何度も行き来して Simple にまとめることに集中できる発表ツールです。

放送大学教授 中川 一史 氏

Operation 013

SKYMENU Cloud で「ポジショニング」

5月下旬



ねらい：「ポジショニング」を使って、思考の変化を共有しよう。

1 SKYMENU Cloud 「ポジショニング」

SKYMENU ポジショニング

ポジショニング
事例動画

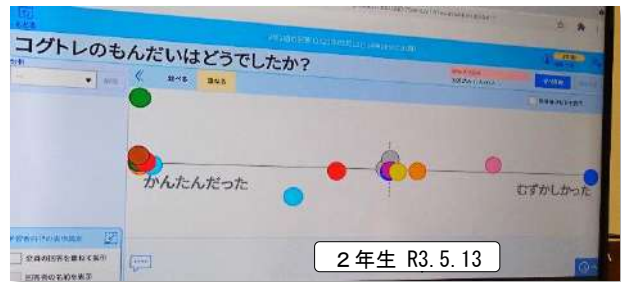
子供たち一人一人の「考えの揺れ動き」を可視化して、**学びの振り返りに活用**できます。

子供たち一人一人が、自分の考え（ポジショニング）を、マーカを配置して、リアルタイムに示すことができます。

学びの過程で、自分の考えの変化に応じて何度でもマーカを再配置でき、その変容が自動的に記録されます。

考えの「ゆらぎ」を可視化して振り返ることができます。

子供たち全員の回答を表示することで、考えを共有できます。名前を表示したり、グループに分けたり、考えの軌跡を図化したり…、様々な活用できます。



2 マーカを自由に配置して自分の考えを示す



今の自分の気持ちをリアルタイムに回答

自分の考えの変化を、何度でも回答することができます



大型TVに一人一人の気持ちを表示

3 1人ひとりの考えの変化を共有し、「考え議論する道徳」を深める



ポジショニングのタイプと回答例



目的を持って論点を明確にし、話し合いを深めていくさまを「からみ」と呼び、その「からみ」を通じて自分の考えが揺さぶられることを「ゆらぎ」といいます。

このような個々の状況を可視化し、全体で共有しながら問題解決に生かしていくことが、これからの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、とても重要です。

放送大学教授 中川 一史 氏

5月下旬



ねらい：「Web 会議」を使って、オンライン学習を体験しよう。

SKYMENU Cloud で「授業」を開始しているときに「オンライン学習開始」ボタンを押すだけで Web 会議システムが起動し、参加している子供たち全員を対象にしたオンライン学習（Web 会議）が開始できます。



北2F

理科室 準備室 WC 多目的

北1F

放課後子供教室 西昇降口

さくら学級 R3.5.11

タブレットを校舎内の様々な場所に持ち出して、TV会議を行いました。社会科で6大陸と3海洋の学習をした後、校舎内を地球に見立てて、離れた場所でもリアルタイムにコミュニケーションが取れるということを実体験していました。映像も音声もクリアでした。

給食室

プレイルーム 生活科 図工室

音楽室 教育相談室 放送室 会議室 事務室 保健室



タブレットを校舎内の様々な場所に持ち出して、TV 会議を行いました。社会科で6大陸と3海洋の学習をした後、校舎内を地球に見立てて、離れた場所でもリアルタイムにコミュニケーションが取れるということを実体験していました。映像も音声もクリアでした。

遊具

1	2
3	4
5	6

学級農園

丸 池

鐵 棒

體育館

Operation 015

G Suite を使ってみよう

6月上旬

ねらい：G Suite For Education を使って、クラウドアプリに慣れよう。

1 G Suite とは ～ 特に「オンライン授業」で有効!! ～

G Suite
ドライブ

Google が開発した OS である「Chrome」を、教育を目的に構成したもの（つまり**教育用の Google**）です。文書や表計算、プレゼンテーション等を作成することができます。

特に、**Classroom** を活用することで、オンライン上で、課題の配布・回収、双方向のコミュニケーションを図ることができます。環境があれば、どこからでも利用することができます。

G Suite for Education でできること



2 G Suite を使ってみよう ～ 主な名前と機能 ～

- (1) 起動後、画面下の マークをタップ
- (2) 画面右上の マークをタップ
- (3) 使用するアイコンをタップ
- (4) 今回は、 マークをタップ
Google ドライブを起動する。



3 Google ドライブ を使ってみよう ～ ファイルのダウンロードと、コグトレ ～

- (1) 「マイドライブ」と3種類の「共有ドライブ」を確認する。
- (2) 「富士見丘小学校児童共有」ドライブを開く。
- (3) 「やさしいコグトレ」のフォルダを開く。
- (4) 「数字」のフォルダを開く。
- (5) 「コグトレシート」をダウンロードする。
- (6) 画面を拡大したり、タブレットのスタイルを変えたりする。
- (7) 文字・線を描く。
- (8) 「マイフォルダ」に保存する。



やさしいコグトレ

数える

写す

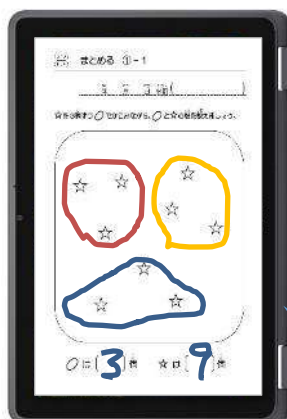
見つける

想像する

まとめる

記号さがし

あいう算



使用するシートを選択

マイドライブにダウンロード

書き込めるようになる

Operation 016

6月上旬

G Suite を使ってみよう



ねらい：Google Classroom で クラス作成～生徒招待～課題配信

Classroom
概要

Google Classroom

1 クラスを作成

ポイント：クラス作成時のポイントは、入力項目一番上の『クラス名（必須）』の命名規則を事前に学校全体で決めて運用すること。

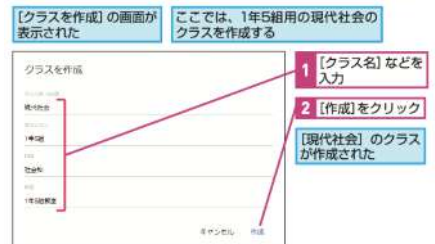
1 Classroom を開始する



2 [クラスを作成] の画面を表示する



3 クラスの詳細を指定して作成する



2 作成したクラス画面の全体像



3 クラスに生徒を招待

招待する方法は2パターン

- 1 生徒にクラスコードを入力して参加してもらう
- 2 事前に生徒を招待して参加してもらう
対象生徒全員のアドレス一覧表を Google スプレッドシート で作成しておくことで、コピー＆ペーストで一気に入力を行うことができ便利です。

→ 事前に ICT 支援員に登録してもらう

4 生徒に課題を配信する

1 [課題] の画面を表示する



2 タイトルと課題の詳細を入力する

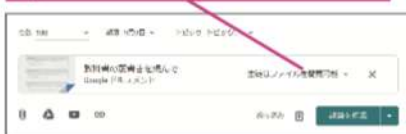


4 ファイルのコピーを配布する

レッスン④を参考に、生徒が記入するドキュメントを追加しておく

ここでは、各生徒にドキュメントのコピーを配布する

1 [生徒はファイルを閲覧可能] をクリック



2 [各生徒にコピーを作成] をクリック



3 [課題を作成] をクリック

3 課題の提出期限を設定する



Operation 017

6月上旬

G Suite を使ってみよう

ねらい : Google Classroom でテスト付き課題配信～採点～成績管理

Classroom
ヘルプ

1 テスト付き課題を配信する



Google Classroom

G Suite
カレンダーとの連携

1 【課題】の画面を表示する

テスト付きの課題を作成して配布する

1

【+作成】をクリック

2

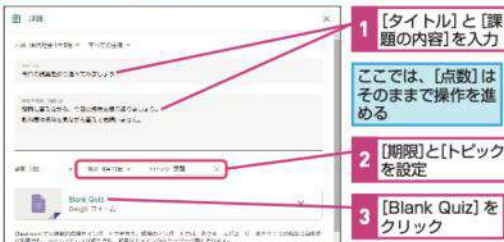
【テスト付きの課題】をクリック



2 タイトルと課題の詳細を入力する

【課題】の画面が表示された

あらかじめフォームのファイルが添付されている



1

【タイトル】と【課題の内容】を入力

ここでは、【点数】はそのまま操作を進める

2

【期限】と【トピック】を設定

3

【Blank Quiz】をクリック

4 フォームを作成する

レッスンを参考に、テストを作成して保存する

1

【「現代社会1年5組」の授業】タブをクリック



5 【成績のインポート】を確認する

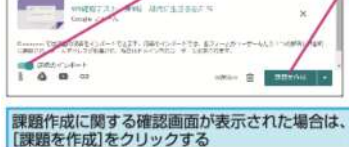
手順4で作成したフォーム名が表示された

1

【成績のインポート】がオンになっていることを確認

2

【課題を作成】をクリック



課題作成に関する確認画面が表示された場合は、【課題を作成】をクリックする

6 課題が作成できた

テスト付きの課題が作成され、生徒への割り当て数が表示された



2 課題を採点し返却する

1 【生徒の提出物】の画面を表示する

レッスンを参考に、Classroomの授業の画面を表示しておく

1

採点する課題をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック



2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

2

【課題を表示】をクリック

Operation 018

6月中旬

G Suite で Meet を使ってみよう



ねらい : G Suite For Education を使って、端末の簡単な操作に慣れる

1 G Suite

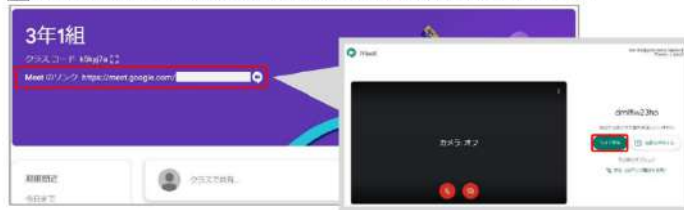
ビデオ対話

離れた場所にいる先生・生徒同士をつなぐシンプルで高品質なビデオ通話アプリ

Classroom では、

ワンクリックで開始できます。
クラスに入室した後、
画面の Meet のリンク URL
をクリックするだけ！

4 先生のストリーム画面に Meet のリンクが表示されます。[今すぐ参加]をクリックして会議に参加します。



(1) 一般の google からは、

- ① 会議開催者より受け取った
右下「許可」をクリックする
会議参加用 URL を入力する。



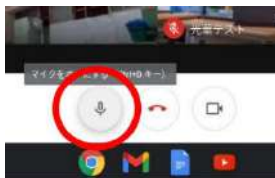
- ② 「マイクを使用する」と
「カメラを使用する」
を許可する。



- ③ 参加の準備は整いましたか
「今すぐ参加」
をクリックする。



- ④ マイクやカメラ を
オン・オフする。



- ⑤ 画面右下「
」をクリック
⇒「レイアウト
を変更」を
クリック



2 オンラインの実際

令和2年度2学期より、多様な試行開始

一方向



オンライン全校朝会 R2. 9. 23



オンライン 授業公開や行事公開 R2. 11. 5 等



オンライン児童集会 R3. 4. 28

双方向



オンライン不審者対応訓練 R4. 9. 28



オンライン離任式 R3. 4. 28



オンライン保護者会 R3. 5. 14

Operation 019

6月中旬

G Suite で Docs を使ってみよう

ねらい：ドキュメントを使って、新聞を共同で編集しよう。



Google Docs

4年生の国語の授業です。新聞づくりの記事として、Google Forms でアンケートを作成し、両クラスで実施、その結果を考察していました。Google Docs を使って、効果的な紙面構成や見出しの出し方などを検討し、相手に伝わる新聞を作成します。

1 Google Forms で学年アンケートを実施し、その結果を考察していました。



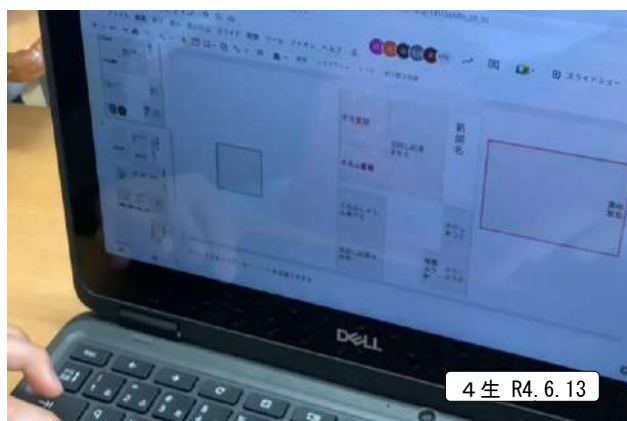
4生 R4.6.9



2 Google Docs を使って、共同編集しながら、新聞の構成を検討しました。

ドキュメントは文書の作成ができるクラウドアプリです。

- 1つのドキュメントを児童同士で共有し、共同編集することができます。
- Classroom を使用して、児童に課題を配布することで、「新聞作成」や「委員会通信」等、役割分担して作り上げていくことも可能です。



4生 R4.6.13



4生 R4.6.20



Operation 020

G Suite を Sheets 使ってみよう

6月下旬



ねらい：スプレッドシートを使って、実験結果を比較検討しよう。

1 スプレッドシートで理科の実験結果を入力

スプレッドシートは表計算機能としてグラフなどが作成できます。

- AI 機能がデータの中から分析して自動でグラフを作成し、簡単に資料を作成することができます。
- Classroom を使用して児童に課題を配布し、理科の実験結果等、グループごとに記入シートを分けることで、他のグループと結果を簡単に比較できます。



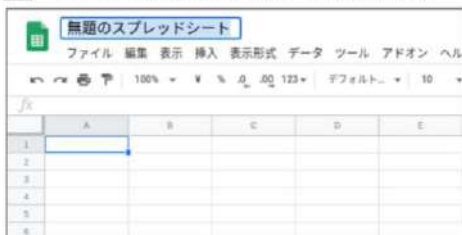
Google Sheets

5年生の理科の実験です。「ふりこの1往復する時間は、何によって変わるのだろうか？」と、今日は重りの重さと振れ幅を一定にして、長さだけを変化させて時間を測定しました。表計算ソフトに毎回の測定結果を班ごとに入力し、瞬時にグラフ化していました。また、表計算ソフトは全班で共有しているので、全ての班の結果を閲覧しながら考察していました。

- 1 スプレッドシートを開きます。ページ上部の[無題のスプレッドシート]をクリックし、新しいタイトルを入力後、[Enter]キーを押します。



- 2 セルをクリックし、テキストまたはデータを入力します。



5生 R4.3.1

2 スプレッドシートで理科の実験結果を入力

5年生の「振り子の実験」3回目です。「振り子の長さ」「おもりの重さ」「振れ幅」の3つの要素を変化させる実験を、表計算ソフトの共有機能を活用して、分析していました。

1班3回×3種類×3要素の実証実験でも、8班を集約することで216回分の結果が得られるので、精度の高い検証ができました。



5生 R4.3.3

Excel と同じ感覚の表計算ですが、スプレッドシートはクラウドアプリですので、ネットを通して、複数の端末で、複数人による同時編集できることが大きな利点です。オンラインでも、対面と同じように授業を進めることが可能です。

Operation 021

G Suite を Slides 使ってみよう

6月下旬

ねらい：Google スライドを使って、簡単なプレゼンをしよう。



スライドはプレゼンテーションの資料などを作成できるクラウドアプリです。

- AI が自動でスライドデザインを提案し見やすいスライド資料を簡単に作成できます。
- Classroom を使用して児童に課題を配布し、スライドごとに割り当てて共同編集することでお互いの進捗状況を確認したり、児童同士の発見を促したりします。



Google Slides

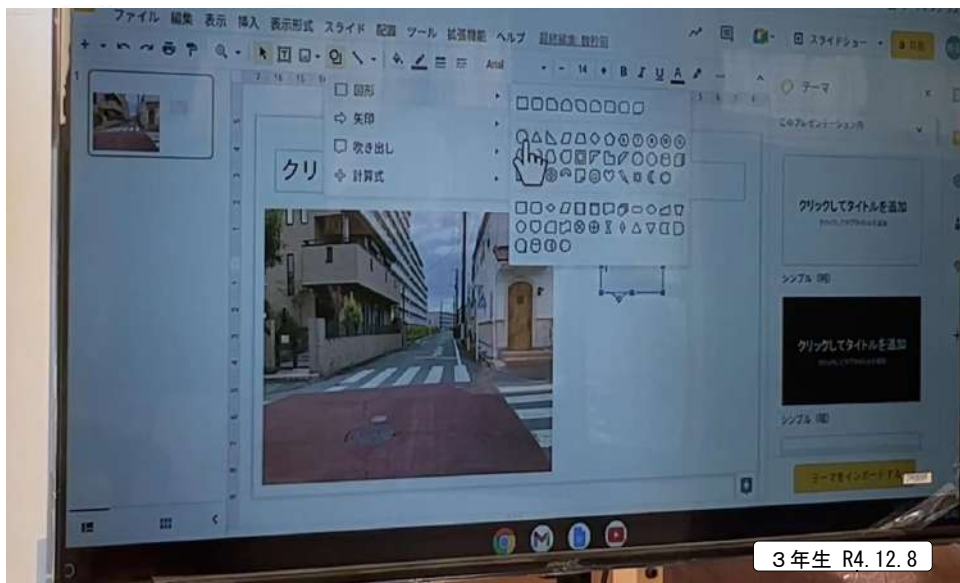
1 Google スライドで植物の生長記録を綴ります。

さくら学級で栽培している植物の生長記録です。土づくり、種まきから始まって、花が咲いたり、実がでたりする生長過程を撮影しながらまとめていました。写真撮影をして、画像を残すことができるので、生長記録には最適です。クラスでの共有もスムーズです。



さくら R4. 7. 13

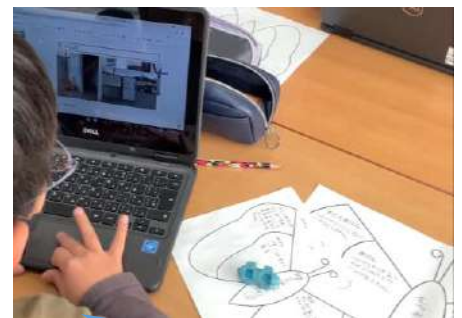
2 Google スライドで、地域の安全マップを作成します。



3年生が、フィールドワークで撮影した写真等をもとに、「危険な場所」はどんな場所かを押さえながら、Google スライドにまとめていました。〈左〉スライドの役割分担を決め、どうして危険なのかなどを話し合いながら作り上げていきます。〈右〉共同編集機能を活用して、一枚のスライドをグループで編集しています。



どうして危険なのか、安全なのかを話し合いながら編集



一枚のスライドをグループで共同編集

Operation 022

G Suite を Forms を使ってみよう

7月上旬



Google Forms

ねらい：Forms を使って、アンケートで情報収集し、分析しよう。

1 Forms で授業中にアンケートを集計しよう

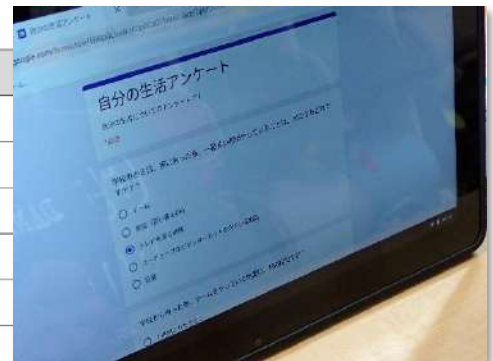
Forms はアンケートやテストを簡単に作成できるアプリケーションです。

- ・テストは事前に点数と正答を設定しておけば自動採点が可能です。
- ・回答結果は自動で集計され、グラフで表示されます。

瞬時に児童の意見が可視化されるので授業に役立てることができます。

〈回答の種類〉

回答の種類	内容
記述式	短文回答
段落	長文回答
ラジオボタン	1つの回答のみ選択可能（単一回答）
チェックボックス	複数の回答を選択可能（複数回答）
日付/時刻	日付や時間の選択

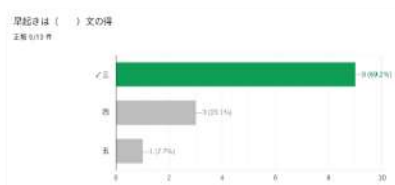
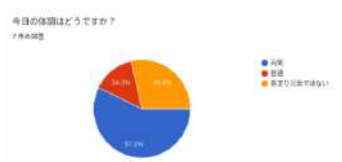


- 授業の導入で Google Forms のアンケート機能を活用して、自分の生活を振り返るアンケートをとりました。瞬時に、結果がグラフで表示され自分と友達の共通点や相違を感じ取りました。
- その上で、よりよい学校生活、集団生活の充実の資料を読み、楽しいクラスづくりを妨げる「いじめは許されない」ということに気付かされる授業となりました。



2 Forms のアンケートで情報を収集、整理、分析しよう

4年生の国語で「伝えたい相手や目的を明確にして、分かりやすく伝えよう！」と新聞を作っています。この時間は、Google Forms を使って、新聞の記事の一つにするアンケートを作成していました。目的に沿って、アンケート項目や形式を考え、班で協力して作成しました。



富士見丘小学校

Operation 023

7月上旬

G Suite で Jamboard を使ってみよう



ねらい：Jamboard を使って、班で共同して情報を整理しよう。

普通のホワイトボードや紙のワークシートと同様に、参加者全員が同じ画面を共有しながらリアルタイムで書き込めるため、オンラインでも対面と同等の環境で共同作業ができます。



1 付せんの感覚で Jamboard を使いこなそう

ボード上にメモ用紙を簡単に挿入することができます。



付せんには、6色あります。

付せんの大きさ、形、色、文字の大きさ、色など、自由に操作することができます。

文字や線、図形なども自由に挿入できます。

思考ツールを使って、分類しているところです。



さくら R3.10.27

2 Jamboard を使って、班で1枚のボードを共有して共同編集しよう

同じ画面を複数人で共同編集することができます。

ホワイトボードに付せんを貼って整理する方法。対面では、大きなボードで共有しやすく、意見が出しやすいようです。

メンバーの色を決めておけば、誰の意見かわかりやすくなります。賛成か反対か、意見が質問かなど、色分けするのでもいいかもしれません。

Jamboard を使って、1つの画面を共有し、共同で操作しながら、意見を交わしています。付せんの色や大きさの変更が容易で、効率的な様子でした。

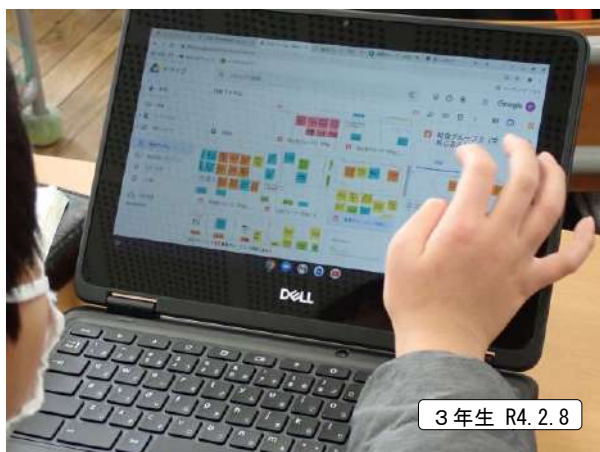


3年生 R3.10.28



3年生 R3.10.28

3年生は、紙の付せんに自分の意見を書き出し、ホワイトボードに貼って整理していく方法が身に付いてきた時期です。対面の状況でも、Jamboard を使うことで、多様な整理ができるため、使いこなしていくことで、多くの機能を有効に活用しながら議論が深まりそうです。



3年生 R4.2.8



特に、オンラインでは、圧倒的に便利です。ホワイトボード形式でアイデアを描画でき、どこからでもチームメンバーと共同作業しながら、画像を配置し、メモを追加し、ウェブから直接素材を取り込むことができます。

Operation 024

7月中旬

くじらーニングを使ってみよう

ねらい：くじらーニングを使って、自分のペースで復習しよう。

1 くじらーニングの画面



児童生徒メニュー

学習のふりかえり

- これまでの学習状況や傾向を確認し、先生へメッセージを送信する入口です。
- トップページでは、学習状況に応じてイラストの変化を楽しめます。また、先生からメッセージを受けると、お知らせが表示されます。

先生からの指示（ドリル教材）

- 先生から出題された確認テストや課題に取り組む入口です。

ライブラリ（その他の教材）

- 手書き学習教材や暗記カード帳など、目的に応じてご利用いただける多様な教材を収録しています。

自由学習（ドリル教材）

- 自分で教材を選び、自由に学習する入口です。学年・教科・単元から教材を選ぶほか、個人の苦手や得意を伸ばす教材に取り組むことができます。
- トップページでは、個人の学習状況に応じてシステムがおすすめる教材への入口が表示されます。



R3. 5. 20



R3. 5. 21

2 授業で、くじらーニングを使ってみよう

問題を解く 基本操作

- ① ドリル問題は選択式です。選択肢から解答を選び、【答え合わせ】を選択すると、正誤判定されます。【次の問題】を選択すると、次の問題が表示されます。
※取り組むたびに問題はランダムに出題され、選択肢は配置が変わります。

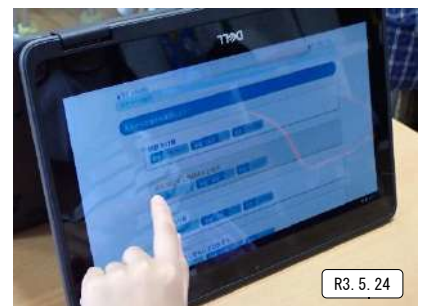


R3. 5. 24

- ② 全問解答終了後、【採点】を選択します。
※【採点】を選択しないと学習結果が残らないので、ご注意ください。



間違えた問題があれば、【リトライ】でやり直しができます。



R3. 5. 24

- ③ 学習結果が表示されます。【もどる】を選択すると、問題を始める前の画面にもどることができます。



または



R3. 5. 24

Operation 025

7月中旬

くじらーニングを使ってみよう

ねらい：くじらーニングの様々な機能を活用してみよう。

ゴー！ゴー！サンセットタウン（児童生徒）

メニュー	児童生徒メニュー
収録場所	ライブラリ
概要	英語の視聴覚教材です。タウンの住民の話聞き、新聞記事にまとめます。 「類推しながら聞く力」を高め、コミュニケーション能力の素地を養います。



- ① 児童生徒メニューを起動し、ログインを行います。
- ② 【ライブラリ】→【ゴー！ゴー！サンセットタウン】を選択します。
- ③ 話を聞く住民 → 話を聞くタイトルを選択します。



いろいろカード帳

メニュー	児童生徒メニュー／先生メニュー
収録場所	ライブラリ
概要	フラッシュカード型の教材です。小・中・教科別に、190タイトル以上のカード帳を収録。英単語には音声がついています。



- ① 児童生徒メニュー／先生メニューを起動し、ログインを行います。
- ② 【ライブラリ】→【いろいろカード帳】→ 小学生用／中学生用 → 教科 → タイトルを選択します。



- ③ 学習方法を選択したら、カードが表示されます。下部のボタンを選択すると答えを確認できます。



💡 児童生徒メニューから利用するとカードにしるしをつけておくことができます。次に利用する時に「○を付けてないカードを見る」から学習できます。



Operation 026

7月中旬

くじらーニングを使ってみよう

ねらい：くじらーニングの様々な機能を活用してみよう。

アニメーション教材

メニュー 児童生徒メニュー／先生メニュー

収録場所 ライブラリ

概要

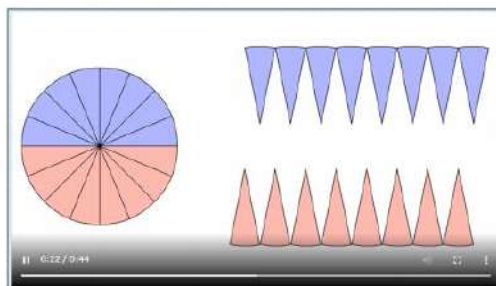
「月の動きと満ち欠け」や「円の面積の考え方」などを、アニメーションで確認できる教材です。

- ① 児童生徒メニュー／先生メニューを起動し、ログインを行います。
- ② 【ライブラリ】→【アニメーション教材】→ 学習する教材を選択します。

アニメーション教材 円の面積の考え方

円を4等分、8等分、16等分した図形を組み合わせて、すでに学習した図形の面積の考え方をい用いることで、円の面積を求めることができることを理解する。

- 4等分の場合
- 8等分の場合
- 16等分の場合
- まとめ



【||】一時停止 【<>】拡大表示 【<>】縮小表示

スマホ・ケータイ ファミリーガイド

メニュー 児童生徒メニュー／先生メニュー

収録場所 ライブラリ

概要

スマートフォンやSNSに焦点をあてた情報モラル教材です。インターネットの正しい使い方を学習できます。

- ① 児童生徒メニュー／先生メニューを起動し、ログインを行います。
- ② 【ライブラリ】→【スマホ・ケータイ ファミリーガイド】を選択します。

クイズ型のネットスキル診断を実施することができます。

子どもに起こりがちなトラブルがテーマのアニメーションを見ることができます。



Operation 027

くじらーニングを使ってみよう

7月下旬

ねらい1：夏休みに、くじらーニングを家庭でも使おう。

家庭学習サービスのご案内

- ラインズeライブラリアドバンスをご導入いただいている学校に通う児童生徒とその保護者、勤務される先生は、**無償**でご利用いただけるサービスです。

※ご利用には設定が必要です。「かんたん運用ガイド」をご覧ください。

児童生徒

- インターネットを通じて、**ご家庭や公共施設のパソコン**などから、学校と同じように、小学1年～中学3年の9学年各教科のドリル学習などをいつでも行うことができます。（実技教科のドリル学習は中学校のみ）インストール作業の必要はありません。
- **自学習の習慣づけ**にはもちろん、**不登校対策**としてもお役立ていただけます。



【家庭学習ページの開き方】

インターネットを起動し、以下を開きます。

【 <https://ela.kodomo.ne.jp/students> 】

家庭学習用学校コードとログインID、パスワードを入力して、ログインします。

※学校と家庭の学習履歴は統合(同期)しています。

※家庭学習サービスで利用できるコンテンツは、学校で利用できるコンテンツとは異なります。

ねらい2：くじらーニングを利用した先生との連絡方法

※ 先生が指示をした期間のみ使うことができます。

1

2

3

4

第5章

教科等の指導における I C T 活用の実際

Class 001-012

- 1 学習場面における
活用のポイント
- 2 1人1台端末による
学びの変容
- 3 GIGA スクール
学びの活用 **実践事例**

Class 001

学習場面におけるICT活用のポイント



ねらい：活用場面に応じて、どのように使うと効果的か

学びのイノベーション事業

一斉学習

個別学習

協働学習

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1 教員による教材の提示



R2. 10. 1

画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B3 思考を深める学習



R2. 12. 3

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1 個に応じる学習



R3. 1. 18

一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



R2. 9. 8

インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

B4 表現・制作



R2. 9. 14

マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5 家庭学習



R2. 5. 17

情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1 発表や話し合い



R2. 9. 23

グループや学級全体での発表・話し合い

C2 協働での意見整理



R2. 12. 7

複数の意見・考えを議論して整理

C3 協働制作



R2. 9. 23

グループでの分担、協働による作品の制作

C4 学校の壁を越えた学習



R2. 9. 23

遠隔地や海外の学校等との交流授業

特別支援教育

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1 教員による教材の提示



R3. 1. 18

画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B3 思考を深める学習



R2. 9. 11

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1 個に応じる学習



R2. 11. 29

一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



R4. 7. 13

インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

B4 表現・制作



R3. 1. 20

マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5 家庭学習



R3. 10. 27

情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1 発表や話し合い



R3. 2. 15

グループや学級全体での発表・話し合い

C2 協働での意見整理



R4. 2. 18

複数の意見・考えを議論して整理

C3 協働制作



R3. 2. 15

グループでの分担、協働による作品の制作

C4 学校の壁を越えた学習



R4. 1. 16

遠隔地や海外の学校等との交流授業

Class 002

1人1台端末による学びの変容

ねらい：これまでのICT活用から、これからのICT活用は、どう変わるのか

「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

これまでの教育実践
蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



R2. 10. 1

学びの
深化

個別学習

- ・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に
応じた学びは困難）



学びの
転換

協働学習

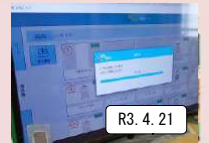
- ・グループ発表ならば可能だが、
自分独自の意見は発信しにくい
（積極的な子はいつも発表するが、
控えめな子は「お客さん」に）



「1人1台端末」の環境

- ・教師は授業中でも一人ひとりの反応を
把握できる

- 子供たち一人ひとりの反応を踏まえた、
双方向型の一斉授業が可能に



R3. 4. 21

- ・各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・各人の学習履歴が自動的に記録される

- 一人ひとりの教育的ニーズや、
学習状況に応じた個別学習が可能に



R3. 4. 20

- ・一人ひとりが記事や動画等を集め、
独自の視点で情報を編集できる
- ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる

- 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、
多様な意見にも即時に触れられる



R3. 4. 20

令和2年度の実績から



令和3年度の実践へ

情報通信技術(ICT)が実現する新たな学び

学習への関心・意欲を高める学び



R2. 5. 21

画像を拡大したり書きこみながら分
かりやすく説明し、学習意欲を高める



R2. 11. 30

学習内容のイメージを深める動画等
を視聴し、授業への関心を高める



R3. 2. 9

画面上で図形を拡大・回転しながら、
各自で思考を深める



R3. 4. 13

デジタル教材を使った英語の発音
練習により個々に学習を進める



R3. 4. 20

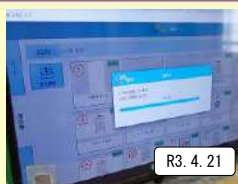
取材内容を写真と文章でまとめ、
情報収集力と表現力を高める

子供たちが教え合う学び
(協働学習)



R3. 2. 16

図形を画面上で拡大・回転させながら
話し合い、互いに考えを深め合う



R3. 4. 21

各自の考えを電子黒板に転送し、
多様な考えを一瞬で共有できる



R2. 10. 1

各自の考えを発表し、話し合うこと
で学習内容への理解を深める

つながり、
広がる学び



R3. 4. 28

遠隔地の企業との交流授業により、
学習内容への理解とコミュニケーション能力を高める

特別な支援を要する
子供の可能性を高める学び



R2. 10. 1

個々の障害の状態に応じた学習
(タブレットPCを用いた文字のな
ぞり書き)

Class 003

GIGAスクール 学びの活用へ Step 1～3



ねらい：効果的な活用を三段階で深めていこう

GIGAスクール
構想

Step 1

令和二年度までの実践

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

検索サイトを活用した調べ学習

- 一人一人が情報を検索し、収集・整理
- 子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



R2. 9. 8

文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



R3. 1. 22

一斉学習の場面での活用

- 誰もがイメージしやすい教材提示
- 一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



R3. 2. 16

一人一人の学習状況に応じた個別学習

- デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



R3. 1. 20

Step 2

令和三年度からの実践

“1人1台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

国語

書く過程を記録し、
よりよい文章作成に役立てる

- 文書作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言しあう
- 文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



R3. 1. 1

社会

国内外のデータを加工して可視化したり、
地図情報に統合したりして、深く分析する

- 各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- 分析した情報を、プレゼンソフトで、わかりやすく加工して発表



R2. 10. 22

算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、
繰り返し試行錯誤する

- 画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- 正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う



R3. 1. 18

理科

観察、実験を行い、
動画等を使ってより深く分析・考察する

- 観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- 観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



R3. 4. 19

外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、発信力を高める

- 一人一人が海外の子供とつながり、英語で交流・議論を行う
- ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、アウトプットの質と量を大幅に高める



R2. 12. 7

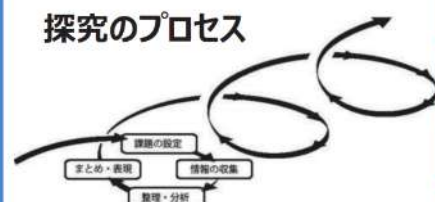
“1人1台”を活用して、教科の学びをつなぐ。社会課題の解決に生かす。

ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等での学びをつなぎ探究するSTEAM教育 ※

※Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用することができる

探究のプロセス



課題の設定

実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科等、横断的な課題などを設定

情報の収集

文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験、フィールドワーク等

整理・分析

統計による分析、思考ツール、テキストマイニング等で分析

まとめ・表現

論文作成、プレゼンテーション、ポスターセッション、提言等で発信

その先の学びへ

Class 004

A 一斉学習

A1 「教員による教材の提示」

画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの視覚的で分かりやすい教材を活用して、学習課題を提示・説明する

ICT活用のポイント

- 1 電子黒板や子供たちの情報端末に、画像、音声、動画などを拡大したり、書き込んだりしながら提示することにより、提示内容を視覚的に分かりやすく伝えることが可能となる。
- 2 情報端末や電子黒板を用いて、作業方法や実演の映像を提示することにより、学習活動を焦点化し、子供たちの学習課題への理解を深めることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ スペシャルべんとう

R3. 5. 13 第2学年

図工

- 牛乳パックを使ったお弁当箱作り。実物投影機を使って、作り方を分かりやすく説明することで興味関心を高め、個性あふれる作品が完成。

(下の写真は1年生R2.6.10)

- 子供たちの視線を集め焦点化・イメージ化させたい時に、実物投影機で資料を提示し、部分拡大や説明の書き込みをする等、子供の子どもの視線が上がり集中します。



▶ きいて しらせよう

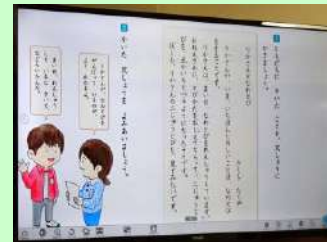
R2. 12. 16 第1学年

国語

- デジタル教科書や模造紙を用いて、内容のまとまりごとに色分けすることで、文のまとまりを意識して考えやすいように書くことができます。



- 一番楽しいこと、詳しい内容、聞き手が感じたことの順を確認しながら「友達が楽しいと思っていることを、まとまりごとに文にして書こう」と熱心に取り組みました。



Step2

▶ コグトレ「点つなぎ」

R3. 5. 13 第2学年

特活

- 「SKYMENU Cloud」で配布したコグトレ「点つなぎ」の課題に各自挑戦。自由に拡大縮小したり、ドラッグしたりしながら、ペンを選択してていねいに描く。
- ポジショニング機能を活用することで、本時の振り返りを可視化。全体で個人の状況を共有。クラウドを通して、自分の本音を躊躇することなく表明でき、友達の気持ちも受け止めやすかった。



▶ 製作過程の動画を視聴

R3. 5. 26 第5学年

家庭科

- 以前は、製作手順やポイント等の図や動画を、大型TVに提示することで、視覚的に分かりやすく指導していました。
- 今は、1人1台のタブレットにより、それぞれの進度に合わせて、課題別に動画を用意したりするなど、個別最適化した活用をしています。効果的に技能を習得したり向上させたりすることができるようになりました。



Class 005

B 個別学習

B1 「個に応じる学習」

情報端末を用いて、一人一人の習熟の程度に応じた学習や、知識・技能の習得に取り組むなど、個に応じた学習を行う

ICT活用のポイント

- 1 習熟の程度や誤答傾向に応じた情報端末向けのドリルソフトを用いることにより、各自のペースで理解しながら学習を進めて知識・技能を習得することが可能となる。
- 2 発音・朗読、書写、運動、演奏などの活動の様子を記録・再生して自己評価に基づく練習を行うことにより、技能を習得したり向上させたりすることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ 語彙力を高めよう

R3. 1. 28 きこえとことば

難 言

- 読みの力を高めるとともに、語彙を増やす指導をしました。まずは、教科書の先読み学習です。在籍校の授業の進度に合わせて、ルーラー（画面右側の青色のフィルター）を用いて、読んでいくところを目と手で追っていました。
- 次に、パワーポイントを活用して、難しい言葉の意味を理解していきましました。



▶ 動画で技術の向上

R2. 9. 19 第4学年

書 写

- 4年生の教室では、静寂の中、書写の学習をしていました。動画で書き方のポイントを視聴したり、書画カメラで先生の手元を映したりして、すべての子供たちに分かりやすい工夫がなされています。
- 筆づかひも正確で、4年生の毛筆もかなり上達しました。指導の賜物です。



Step2

▶ くじらーニング

R3. 5. 20 さくら学級

算 数

- 算数の授業では、全学年で、学習履歴型ドリルコンテンツ「くじらーニング」を日常的に活用しています。
- 通常級では、主に授業の復習や放課後補習教室「ふじみ寺小屋」で、さくら学級では個別学習の授業で活用します。学習履歴を分析しながら、個に応じた課題を配布したり、プリントに取りくんだりすることで効果的な学習ができています。



▶ 自分のバトンパス見る

R3. 5. 24 第4学年

体 育

- バトンパスの練習をタブレットで撮影してみました。タブレットは、実技を伴う学習において、自分の動きを客観的に振り返ることができる強力なツールです。しかも保存でき、上達の過程を確認することができます。
- しかし、外では、画面が暗すぎたり、反射してしまったりで、撮影時も再生時も、ほとんど見えませんでした。設定調整が必要のようでした。



Class 006

B 個別学習

B2 「調査活動」

インターネットやデジタル教材を用いた情報収集、観察における写真や動画等による記録など、学習課題に関する調査を行う

ICT活用のポイント

- 1 情報端末等を用いて写真・動画等の詳細な観察情報を収集・記録・保存することにより、細かな観察情報による新たな気付きにつなげることが可能となる。
- 2 インターネットやデジタル教材等を用いて、効率のよい調査活動と確かな情報収集を行うことにより、情報を主体的に収集・判断する力を身に付けることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ 読書記録

R2. 10. 27 図書委員会

委員会

- 年3回の読書旬間では図書委員が大活躍です。読書記録を取りながら、多様な分野で読書の幅を広げるように工夫しています。
- 取り組みの一つに、読書ビンゴがあります。低学年の児童を中心に夢中になって挑戦していました。本を読んで、クイズに答え、縦横斜めのいずれか、2列がそろそろビンゴです。



▶ コロナと共に生きる

R3. 3. 18 第3～6学年

総合

- コロナ禍に生活する中で、課題に思うことや疑問に感じていることなどを、なぜ、どうして、と探究し、解決に向けて多面的に学んできました。様々な資料を元に思考の過程を発表し合い、学び合うことで、思考が広がります。
- 年度末には、総合的な学習の時間で取り組んだ探究学習の成果を廊下に掲示しました。



Step2

▶ 自然観察

R3. 5. 18 第3学年

理科

- 学校菜園のキャベツ畑に出かけ、モンシロチョウの幼虫を探して、写真を撮りました。教室に戻り、1人1人タブレットでじっくり観察しながらプリントに詳細にスケッチをします。
- また、気付いたことをタブレットの画像や発表ノートに書き込んだりしました。提出された発表ノートを全員で共有し、意見交換をしています。



▶ バーチャル社会科見学

R3. 5. 20 第4学年

社会科

- 市のホームページ、昭島の水道「ネットDE見学」から、自分が調べたい場所を選択し、各自で見学して回りました。見学途中、市のホームページには、読み上げやフリガナ機能があることを児童が発見しました。
- 各所を調べたことや気付いたことを、1枚1枚の付箋のメモにまとめて全体を整理することで、互いの着眼点を共有して学びを深めました。



Class 007

B 個別学習

B3 「思考を深める学習」

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた実験や試行により、考えを深める学習を行う

ICT活用のポイント

- 1 デジタル教材を用いて、学習課題の試行を容易に繰り返すことにより、学習課題への関心が高まり、理解を深めることが可能となる。
- 2 デジタル教材のシミュレーション機能や動画コンテンツ等を用いることにより、通常では難しい実験・試行を行うことが可能となる。

具体的な学習場面

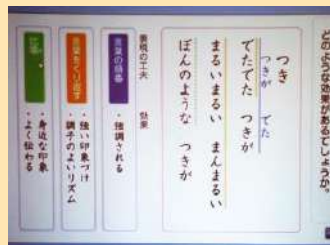
Step1

▶ 人を引きつける表現

R2. 12. 1 第6学年

国 語

- 比喩や反復、倒置など人を引きつける表現技法について学びました。デジタル教科書で、童謡の「つき」の歌詩の表現の工夫と効果を考えました。



- 絵本「スイミー」の表現技法についてグループで学び合いました。自分のワークを共有し、書き込みながら説明することで、相手を意識した思考が深まります。



▶ リミックス

R2. 12. 3 第4学年

音 楽

- プログラムソフト「スクラッチ」を使って、「さくら さくら」の旋律の音色を変えたり、伴奏を付けたりしました。ここではリズムや楽器の種類を限定して、音色の組み合わせ方と順序に特化しました。
- プログラミングにより既存の曲に変化を加えて新たな価値を創造するリミックスの手法にもつながります。



Step2

▶ 児童用デジタル教科書

R3. 5. 21 第1学年

生 活 科

- 文科省実証事業重点校として、全学年の生活・社会科のデジタル教科書を導入しました。1年生は、今日が初日。「こんな感じだよ」と触れてみただけですが、自分でログインし、教科書が出てくると、一斉に歓声を上げていました。
- ページをめくったり、拡大したりしながら、今学習しているアサガオのページなどを興味深そうに閲覧していました。



▶ オンライン授業

R4. 2. 17 第5学年

音 楽 科

- 感染症防止のため、校内では歌唱やリコーダーができませんので、週1回、ご家庭で集中して取り組んでいます。
- この日も、卒業式に向け、入退場「威風堂々」のアルトリコーダーの演奏、「地球星歌」～笑顔のために～の二部合唱の練習です。オンラインで思いっきり歌って演奏できる喜びと相まって、本当にうれしそうに生き生きと取り組んでいます。



Class 008

B 個別学習

B4 「表現・制作」

写真、音声、動画等のマルチメディアを用いて多様な表現を取り入れた資料・作品を制作する

ICT活用のポイント

- 1 写真・音声・動画等のマルチメディアを用いて、多様な表現を取り入れることにより、作品の表現技法の向上につなげることが可能となる。
- 2 個別に制作した作品等を自在に保存・共有することにより、制作過程を容易に振り返り、作品を通した活発な意見交流を行うことが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ 旋律の特徴を生かして表現

R2. 9. 24 第6学年

音楽

- 作曲ソフトを使って、旋律の学習をしました。児童によっては、様々な入力方法を試したり、和音を重ねたり、いくつかの音源（楽器）を使って作曲に挑戦していました。



- 歌や演奏に苦手意識がある児童も、ICTを活用することで、ストレスなく音楽の世界に浸ることができます。



▶ アニメーション

R3. 3. 8 第6学年

図工

- アニメーションのキャラクターを描いたり、コピーしたりして、その動きをプログラミングしていました。動きを繰り返したり、ボールを飛び出せたり、ゲーム的な要素も加えながら、本格的なプログラミングです。
- SkyMenu を活用して他の児童のプログラムを紹介したり、共有したりして表現方法の向上につなげています。



Step2

▶ Fujimi Art Gallery Web

R3. 6～ 全学年

図工

- 自分の作品を、自分の好きな角度から撮影し、お気に入りクラウドに保存します。画像是拡大もでき、友達の作品を見合いながら、鑑賞教材として、互いの学び合いにもつながっています。



- Google Photos を使っているため、学校ホームページのパスワード付きリンクを通して、個人情報保護に留意しながら、ご家庭でも閲覧できます。



▶ SONG MAKER で作曲

R4. 2. 15 さくら高学年

音楽科

- Chrome Music Lab 発の Web アプリを使って、1マス1マスが音に対応して、クリックするとマスに色がつき、音が出ます。楽譜に見立てたマス目をなぞると、短い曲として再生されます。
- 様々な作曲の条件をクリアしながら、絵を描くようにして作曲し、発表し合います。聴き合うことで、自分の振り返りにもなっています。



Class 009

B 個別学習

B5 「家庭学習」

情報端末を家庭に持ち帰り、授業に関連したデジタル教材に取り組んだり、インターネットを通じて意見交流に参加したりする

ICT活用のポイント

- 1 情報端末を持ち帰り、動画やデジタル教材などを用いて授業の予習・復習を行うことにより、各自のペースで継続的に学習に取り組むことが可能となる。
- 2 情報端末を使ってインターネットを通じた意見交流に参加することにより、学校内だけでは得ることができない様々な意見に触れることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ えいごであそぼ

R2. 5. 17- 第3学年

外国語

- 臨時休校中から、3年生の希望者を対象とした「えいごであそぼう」が始まりました。毎週日曜日、本校の卒業生が、ボランティアで行う、オンライン授業の試行です。
- PTA との共催で実行し、学校の取組ではありませんが、新しい学びの形につながるかも知れません。ZOOM を使って円滑にコミュニケーションをとっています。



▶ 道徳授業地区公開講座

R2. 11. 5-6 全学年

道徳

- 感染症拡大防止のため少人数予約制の学校公開にあわせて、オンラインで実施しました。ご家庭や職場など、場所を選ばずに参加することができます。
- 通信環境の低さから、基本的には一方通行で、必要に応じて、保護者も授業に参加できる方法を取りました。



Step2

▶ オンラインきこえとことば

きこえとことばの教室

通級

- 新型コロナウイルス感染症を契機として、その防止策を検討する中で、チャットによるコミュニケーション、口元の動画撮影と確認、TV 会議によるグループ活動など、様々な手立てを工夫しています。
- また、教員が各校を巡回していた在籍校訪問、児童が移動して通級指導の一部をオンラインで始めています。デジタルを活用する新たな可能性を模索しています。



▶ 日光からこんにちは

R3. 4. 22 6年生

特活

- 日光移動教室の実地踏査に出掛けている6年生の担任から、ZOOMが届きました。昼休みの教室では、待っていた子供たちが大喜びです。緊急事態宣言がとても気がかかりますが、日光への期待が膨らみます。
- 緊急事態宣言延長に伴い、移動教室も延期となりましたが、実施当日は1年生や5年生と現地から交流する予定です。



Class 010

C 協働学習

C1 「発表や話し合い」

学習課題に対する自分の考えを、電子黒板等を用いてグループや学級全体に分かりやすく提示して、発表・話し合いを行う

ICT活用のポイント

- 1 情報端末や電子黒板等を用いて、個人の考えを整理して伝え合うことにより、思考力や表現力を培ったり、多角的な見方・考え方に触れたりすることが可能となる。
- 2 情報端末を使ってテキストや動画で表現や考えを記録・共有し、何度も見直しながらかし合うことにより、新たな表現や考えへの気づきを得ることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ ことばでみちあんない

R2. 9. 23 第2学年

国語

- 公園の地図を見ながら言葉で道案内をする学習をしました。知らせたい内容を、相手に伝わるように、話す順序を組み立てながら分かりやすい道案内の仕方を考えます。



- 実物投影機にワークシートを投影し、自分の考えた道案内を全体に発表しました。一人一人の考えを共有することで、自分の考えが一層深まりました。



▶ 1年生に知らせたいな

R3. 3. 18 第3学年

国語

- 「伝えたいことを分かりやすい言葉で伝える」の単元です。本来なら教室に向いて直接伝えたいところですが、感染防止のため、グループごとに「1年生に知らせたいな」を動画に撮影し、1年生が視聴する方法にしました。
- 動画を撮影することで何度も見直しながらかし合い、新たな気づきを得ることができました。



Step2

▶ よりよい学校生活

R3. 5. 20 第3学年

道徳

- 授業の導入で Google Forms のアンケート機能を活用して、自分の生活を振り返るアンケートをとりました。瞬時に、結果がフラフで表示され自分と友達の共通点や相違を感じ取りました。
- その上で、よりよい学校生活、集団生活の充実の資料を読み、楽しいクラスづくりを妨げる「いじめは許されない」ということに気付かされる授業となりました。



▶ お家の人に新聞で伝えよう

R4. 6. 21 第4学年

国語科

- 「伝えたい相手や目的を明確にして、分かりやすく伝えよう！」と新聞を作っています。ドキュメントを使って、紙面構成を共同編集しています。1シートを複数人が同時に操作できるので、話し合いも深まります。
- また、Forms を使って作成したアンケート結果を考察しながら、記事の内容や表題、分量などを話し合い、役割を分担していました。



Class 011

C 協働学習

C2 「協働での意見整理」

情報端末等を用いてグループ内で複数の意見・考えを共有し、話し合いを通じて思考を深めながら協働で意見整理を行う

ICT活用のポイント

- 1 情報端末を用いて、学習課題に対する互いの進捗状況を把握しながら作業することにより、意見交流が活発になり、学習内容への思考を深めることが可能となる。
- 2 情報端末等を用いて、互いの考えを視覚的に共有することにより、グループ内の議論を深め、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ This is my favorite place.

R3.2.2 第4学年

外国語

- 4th grade class. Foreign Language Activities. Let's go to my favorite place. Turn left. Go straight. Turn right. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I like school lunch. I'm hungry.



- デジタル教科書の教材を活用して、互いの考えを共有することで、意欲的な学びにつながっていました。



▶ 日本文化を発信しよう

R2.9.23 第6学年

国語

- パンフレット作りを通して、筋道の通った文章となるように、全体の構成や展開を考えることで、書く力を培いました。



- タブレットで情報収集して、ホワイトボードで班の情報を整理し、ワークシートに構成をまとめていきました。情報を整理し、結果を共有することにより考察が深まりました。



Step2

▶ おいしい 楽しい 調理の力

R3.5.18 第5学年

家庭科

- コロナ禍で調理実習ができないため、お弁当の日に「1人1品は自分で野菜を茹でておかずを作る」を宿題とした。給食の時間に、各自のお弁当を撮影し、午後の授業で生きた教材として活用。



- 各自のお弁当画像を一斉配信しながら、それぞれの野菜を水から茹でるか、お湯から茹でるか、**ポジショニング**で回答し全体の回答傾向を全員で共有し、学びを深める。



▶ 同じ部分をもつ漢字

R3.6.1 第2学年

国語

- クイズ形式で、漢字の構成に興味を抱くよう「同じ部分」に着目しました。タブレットの発表ノートの**グループワーク**機能を活用し、同じ部分をもつ漢字をたくさん書き出して班で共有。



- 一枚の発表ノートに、それぞれのタブレットから書き込めるので、思い浮かばない子も、あっという間にたくさんの漢字が集まり、学び合いにつながりました。



Class 012

C 協働学習

C3 「協働制作」

情報端末を活用して、写真・動画等を用いた資料・作品を、グループで分担したり、協働で作業しながら制作する

ICT活用のポイント

- 1 グループ内で役割分担し、情報端末を用いて同時並行で作業することにより、他者の進み具合や全体像を意識して作業することが可能となる。
- 2 写真・動画等を用いて作品を構成する際、表現技法を話し合いながら制作することにより、子供たちが豊かな表現力を身に付けることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ ストップモーション動画

R2. 12. 9 パソコンクラブ

クラブ

- 実際に放映されている幼児向けアニメーションのようなストップモーション動画の作成に挑戦しました。



- 素材は、イラスト、写真など何でもOKです。想像力を働かせながら楽しんでいきます机上の文具を連続写真撮影→黒板に絵を描きながら1枚1枚撮影した画像を編集しました。



▶ アニメーション

R2. 12. 14 第5学年

図工

- Viscuit を使ったプログラミングです。自分が描いた絵を指やマウスで操作して動かせるので、プログラミングがはじめてでも、わかりやすく習得できます。



- プログラミングそのものが目的ではなく、アニメーション通して、図画に対する感性や豊かな発想を伸ばしていこうとするものです。



Step2

▶ ふりこのきまり

R4. 3. 1 第5学年

理科

- 「ふりこの1往復する時間は、何によって変わるのだろうか?」と、今回は、重りの重さと振幅を一定にして、長さだけを変化させて時間を測定しました。



- Google スプレッドシートに毎回の測定結果を班毎に入力し、児童でグラフ化。全班で共有しているので、全ての班の結果を閲覧しながら考察して、精度の高い検証ができました。



▶ 移動教室のまとめ

R4. 6. 14 第5学年

総合

- ハケ岳移動教室を終えて、さっそくまとめの学習をしていました。あっという間に書き込んでいく様子から、学びの豊かさを感じました。



- Google スライドは、AIが自動でスライドデザインを提案し見やすいスライドを簡単に作成できます。スライド毎に割り当てて共同編集することでお互いの進捗状況を確認したり、児童同士の発見を促したりします。



Class 013

C 協働学習

C4 「学校の壁を越えた学習」

インターネットを活用し、遠隔地や海外の学校、学校外の専門家等との意見交換や情報発信などを行う

ICT活用のポイント

- 1 インターネットを用いて他校の子供たちや地域の人々と交流し、異なる考えや文化にリアルタイムに触れることにより、多様なものの見方を身に付けることが可能となる。
- 2 テレビ会議等により学校外の専門家と交流して、通常では体験できない専門的な内容を聞くことにより、子供たちの学習内容への関心を高めることが可能となる。

具体的な学習場面

Step1

▶ オンライン朝会

R2. 9. 28- 全学年

特 活

- 2学期以降、タブレットと教室の大型TVを活用して、オンラインで全校朝会を行っています。リアルタイムに映像や音声が発信できます。パワーポイントやネット上の動画を共有するなど、様々な工夫をしています。
- また、授業参観や校外学習などの学校行事をご家庭向けにオンラインで発信することも試行しています。多くのご家庭が視聴しました。



▶ 応援のお手紙を書こう

R2. 5. 8 & 12. 24 全学年

総合他

- 学校再開後、総合的な学習の時間に、コロナと共に生きる、を学んでいます。新しい時代の新しい生き方について課題を発見し、探求しました。
- 休校中と冬休み前、コロナ禍で頑張っている人たちに休校中の取組の一つとして感謝と応援の気持ちを伝えるお手紙を書きました。学校ホームページで発信するとともに夏休み中に子供たちが直接届けました。



Step2

▶ オンライン離任式・授業参観

R3. 4. 28・R3. 5. 13-14 全学年

各 教室

- GIGAスクール構想に伴い、**高速回線**になったおかげで、離任された先生方から心に沁みるお話を伺うとともに、双方向で感謝の気持ちをお伝えすることができました。
- オンライン授業参観では、子供たちは見られていることを意識しながらも、生き生きと授業に集中している様子が伝わったかと思います。個人情報保護の観点から、URLやパスワードで制限配信。



▶ オンライン社会科見学

R3. 11. 12 5年生

社会科

- 日産自動車のオンライン工場見学に参加して、最新の車の製造工程や人と環境にやさしい車づくりを学びました。車の部品作りから出荷まで、動画や資料を使って、双方向で分かりやすく学ぶことができました。
- その後、教室でタブレットを活用して、車づくりの工夫、環境への取り組みなど、学んだことを一人一人しっかりまとめていました。



Class 014

D プログラミング

D1 「アンフラグドプログラミング」

カードやボードゲームを使って、プログラミング的な思考に基づいて問題解決を図る

ICT活用のポイント

- 1 コンピュータを使わずに、絵本やゲームなどを通してコンピュータの考え方に触れたり、掃除や料理といった身近なものをテーマにしたり、物事を論理的に考える。
- 2 考えていることを可視化する。順序立てて考えることで、相手にわかりやすく説明ができるようにする。自分の考えを発表し、友達と共有することで、全員に活躍の場を作る。

具体的な学習場面

Step1

▶ おもちゃ作りの手順

R4. 11. 30 第2学年

国語

- 2年生の国語の授業です。これまで文章の順序や段落など、文章構成を学んだことを生かして、おもちゃの作り方を説明する文章を書きます。



- 今日は、タブレットの発表ノートを活用して、自分で撮影した画像を貼り付けて、タブレット上で、作手順を確認しながら、組み立てました。



▶ 掃除の段取り

R3. 2. 16 第2学年

生活

- 2年生の生活科の授業です。プログラミング的思考の意味を知り、生活の中の「段取り」について考えました。



- <上>模型電車とレールやゲートの動きを、一つ一つの動きを分解して、流れをつかみながら予想しました。

<下>掃除をする段取りを考え、効率的な動きを組み立てました。



Step2

▶ 生活習慣の段取り

R3. 2. 16 第1・2学年

生活

- プログラミング的思考で、自律的な生活。1年生は ①帰宅してから「毎日やること」「自分で選んでやること」に「分ける」→②寝るまでの時間と順序を考え「並べる」→③よりよい生活を考える「確かめ」の順で考えました。



- 2年生の避難訓練をプログラミングしようでは地震発生から安全に完了するまでの行動を分析し、避難順序を工夫。



▶ リズムをつくろう

R2. 9. 29 第2学年

音楽

- 様々なリズム・パターンの組み合わせ方について、このようにつくりたいという思いや意図をもち、様々なリズム・パターンの面白さに気付きながら、試行錯誤することを通して、まとまりのある音楽をつくります。



- リズムカードを見ながら手でいろいろなリズムを打ち、カードに書かれたリズムを実際に音に出して確かめます。



Class 015

D プログラミング

D2「ビジュアルプログラミング」

あらかじめ決められた動きのアイコンを組み合わせてプログラミングする

ICT活用のポイント

- ScratchやVISCUITなど、アイコンベースの簡単なプログラミングソフト（言語）を使って、プログラミングの基本的な考え方を身に付け、論理的思考につなげる。
- 多くのプロセスを、何と何をどう組み合わせれば自分の思い通りに動くかという思考過程で、要素を細かく分け、そして、再び組み立てていくという問題解決能力につなげる。

具体的な学習場面

Step1

▶ 海の中の動く生き物

R3. 1. 12 第3学年

図工

- Viscuitのメガネというプログラミング機能で海の生き物をつくることによって、形や色、構成の美しさなど、表したいことを見付けたり、工夫して表したりする。



- 海のイメージから、魚、タコやイカ、海藻、潜水艦、架空の生き物まで創作。動きをプログラムして、更に創造の世界が膨らみました。



▶ 四角形のとくちょう

R4. 11. 15 第4学年

算数科

- Scratchを使って、アイコンベースの簡単なプログラミングソフト（言語）を使って、プログラミングの基本的な操作をしました。



- ネコの動きに角度のプログラムを組み合わせ、四角形の特徴である直角を確認しました。四角形の特徴を理解する復習に、プログラミングを活用した事例です。



Step2

▶ 正多角形をかく

R3. 2. 16 第5学年

算数科

- 図形を構成する要素に着目し、プログラミングを通して正多角形のかき方を発展的に考察したり図形の性質を見いだしたりして、その性質を筋道を立てて考え説明したりする力を育みます。



- 「辺の長さが全て等しく、角の大きさが全て等しい」という正多角形の意味を用いて作図できることを、プログラミングを通して確認します。



▶ ○○に変身！

R4. 7. 19 第3学年

図工

- Viscuitを使って、自分が描いた魚を動かすプログラミング「うごくさかなたち」をしました。



- 今日は、魚が「～したら」「～になると、一歩進んだプログラミングに挑戦。子供たちが作成したプログラムの動画を天井に投影。未来的でもあり、幻想的でもありました。



Class 016

D プログラミング

D3 「フィジカルプログラミング」

ロボットをタブレットと接続し、ビジュアルプログラミングなどで命令を出して、実際に動かしてみる

ICT活用のポイント

- 「こんなものをつくりたい」「そのためにどうすればいい」という問題提起を行うことで「ゼロから1をつくり出す」発想力や創造力を重視する。
- 情報端末を使ってテキストや動画で表現や考えを記録・共有し、何度も見直しながらかし合うことにより、新たな表現や考えへの気づきを得る。

具体的な学習場面

Step1

▶ ものづくりの基本

R2. 12. 7 第6学年

総合

- プログラミングを通して、情報技術の仕組みを理解し、ものづくりのよさを知るとともに、ものづくりの魅力や自分らしい生活についての考えを深めるました。



- プログラムを組んで、ブロックで組み立てたロボットを動かすことで、新たな発想や構想を生み出したり、異なる視点から良さや美しさを感じ取ったりします。



▶ 電気の性質や働き

R3. 2. 10 第6学年

理科

- センサーと通電を制御する「人が近づくと扇風機が回転し、しばらくすると停止する」プログラミングに挑戦。さらに複雑な回転をさせたり、音楽を奏でたり、自由自在にプログラム。



- 電気の性質や働きを利用した道具について、その目的に合わせて制御したり電気を効率よく利用したりする工夫がなされていることを、プログラミングを通して確認。



Step2

▶ 風のはたらき

R3. 6. 25 第3学年

理科

- レゴ WeDo2.0 を用いて、風の「強さ」と風を当てる「時間」の組み合わせをプログラムし、「ボールを定位置まで転がすゲーム」を楽しんでいます。



- 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること、ゲーム（実験）を通して、試行錯誤しながら、意図した動きを実現しようとする学習です。風の力とその働きを実感できました。



▶ 課題解決

R4. 7. 15

クラブ

- パソコンクラブ。プログラミングやコマ撮りなど、個に応じた取り組みをしています。



- レゴ WeDo2.0 を用いたプロジェクト型学習です。テーマに対する答えを自分で予測し、調べ、考えを形にし、さらに発表するといった一連のプロセスを通じて子供たちの様々なスキルを伸ばすことができます。



第6章

学校における I C T 環境

Affairs 001-012

- 1 デジタル教材
- 2 デジタル教科書
- 3 オンライン授業
- 4 I C T 環境整備
- 5 健康面への配慮

Affairs 001

デジタル教材とは

ねらい：デジタル教材の特性を生かして授業で活用する

デジタル教材は、動画やアニメーションを活用した学習など、紙媒体の教材では困難だった学習を可能にしてくれます。1人1台端末とともに、利点を生かしましょう。

1 デジタル教材のメリット

- (1) 紙の教材では理解しにくかった内容も、**視覚的に簡単に理解**できるようになる。
 - ・紙の教材 … イラストや写真を使用。動きがなく分かりづらい。
 - ・デジタル教材 … 動画やアニメーションの動きが加わり、視覚的なイメージが容易。
- (2) 電子ドリルコンで、自分の習熟度やペースに合わせて**個に応じた課題**に取り組める。
 - ・練習問題を反復して解く「ドリル」としても、デジタル教材を活用できる。
- (3) 学習管理機能で、学習時間や**学習進捗の管理**が容易になる。
 - ・子供たちの理解度の不足やつまづきを明確にし、適切な指導方法等を実践できる。

2 デジタル教材と紙教材の特徴

- ・ **デジタル教材** … 動画や音声、自分で動かしたり、調べたりすることに長けている。
 こういった特性を考えると、映像や音声を使った授業形式の学習、実際に動かしたり様々なことを調べたりすることで要点の確認や知りたいことを探すのに優れているといえる。
- ・ **紙教材** … 直接書き込んだり漢字の反復練習など自分の学習法で、勉強を進めていける。
 辞書を引きながら複数の教材を一度に開き学習、情報量が少ない分、自分で考えたり調べたりすることで学習効果が高まることも期待できる。

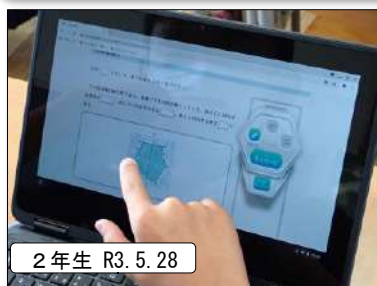
3 デジタル教材の活用場面

子供の視線を集め、
焦点化・イメージ化させる

指導者用デジタル教科書を提示し、部分拡大や説明の書き込みをする。視線が上がり集中します。

1人1台端末を活用して、
個別最適な学習を保障する

学習履歴型ドリルコンテンツ（くじらーニング）を活用して、個の進度に応じた学習ができます。

学級の学び合いの中で
共感する雰囲気をつくる

児童の作品を教材として全体に提示する。一人一人の思考を共有して話し合いが深化します。

Web上の多彩な学習動画を
授業のポイントで活用する

NHK for Schoolなどの動画を教材として、意見を出し合い、多面的多角的に議論します。

ねらいに合った自作教材で
児童が効果的に学ぶ

教員の自作動画やプレゼン画面を、一人一人が自分のペースで視聴しながら、児童が主体的に学びます。

教え合い・学び合いの過程で
思考のプロセスを共有する

市のホームページ「ネットde見学」から、自分が調べたい内容を選択して閲覧し、全体で共有します。



Affairs 002

デジタル教科書とは

ねらい：デジタル教科書の特性を生かして授業で活用する

すでに普及している指導者用（教科書に準拠したデジタル教材）とともに、法改正により、学習者用デジタル教科書を活用することができるようになりました。

1 デジタル教科書の特徴

- (1) 紙の教科書と同一の内容をデジタル化
紙の教科書と同様に使用することができます。
- (2) デジタル機能の活用による教育活動の一層の充実
拡大縮小、ハイライト、共有、反転、リフロー、音声読み上げ、総ルビ、検索、保存など
- (3) デジタル教材との一体的使用
動画・アニメーション、ドリル・ワーク、参考資料など
- (4) 特別支援教育等における活用
 - ・視覚障害のある児童による、拡大機能や音声読み上げ機能の活用など
 - ・発達障害のある児童による、背景色、テキストの色、行間・文字間隔の変更機能の活用など



2 指導者用デジタル教科書の活用

教科書を大型ディスプレイに拡大して映すことで、子供たちの意識が集中し、効率よく授業が展開。

授業に役立つツール、映像やシミュレーションなど多種多様なデジタルコンテンツが、視覚的に分かりやすく、授業の幅を広げ「分かった！」「できた！」が増えています。



教科書の図や表を拡大して示しながら、分かりやすく説明。

教科書のデジタル教材を活用して、視覚的に分かりやすく説明。



3 児童用デジタル教科書の試行

「学校教育法等の一部を改正する法律」により、の教科書の代わりに使用することが認められた「学習者用デジタル教科書」です。

見たいところを自由に拡大、ペンツールなどを使って書き込んで記録を残す、Web ページへリンクなど多様な機能が活用できます。



デジタル教科書の拡大縮小、音声読み上げ機能を活用。

自分のペースに合わせて、デジタル教科書で自学自習。



Affairs 003

オンライン授業スタイル

ねらい：学級閉鎖や分散登校等を想定した「ふじみオンライン授業スタイル」

「2つの措置」の想定

文部科学省の8月27日付「対応ガイドライン」に基づく

I 感染拡大 … 校内で児童や教職員等の感染等が判明した場合など

学級閉鎖等

- (1) 同じ学級で、2名以上の児童の感染（濃厚接触等）が判明するなど、**学級内で感染が広がる可能性が高い場合は、可能な限り早期から、学級閉鎖の措置をとる。**
- (2) 学年・学校の感染（濃厚接触等）の場合は、同様に、学年・学校閉鎖の措置をとる。

この場合、感染拡大防止のため、児童も家族も、登校することは一切できない。
「3つの授業スタイル」を想定したオンライン授業を実施する。

II 感染防止 … 校内の感染等はないものの、地域等で懸念が高まった場合など

分散登校等

- (1) 令和元年度末から一斉に臨時休校となったケースのように、**校内での感染拡大の兆候がない場合にも、行政の判断で休校や分散登校等の措置を取る場合がある。**

児童（家族）や教職員等に感染等がない場合には、完全な休校は考え難く、学級の三密を避けるための分散登校（グループ毎に授業日や授業時間を分散するなど）が想定される。
この場合、感染防止策を徹底した上で、児童や家族も、限定的に登校することができる。

「3つの授業スタイル」の想定

同8月25日付「基本的対処方針等」に基づく

I デジタルスタイル

II ハイブリットスタイル

III アナログスタイル

Classroom
+ Meet (Zoom)
+ Sky Menu提出も
オンライン

紙と鉛筆も活用

Classroom
+ Meet (Zoom)
+ Sky Menu課題の配布や
提出等は対面

紙と鉛筆も活用

Zoom

タブレットを活用できない
緊急時を想定し、通信負担が
軽いZoomで会話をしながら、
担任が学習内容を指示し
児童がアナログで取り組む。

教室の日常的な授業の再現

- 通常の時間割を基本とする。毎時間、出欠確認及び健康観察を実施する。
- 児童にとっても、教員にとっても、デジタルで実施する困難さやストレスを軽減するために、**可能な限り、教室の授業と同じスタイルで実施する。**
 - **デジタル**：Meet (Zoom) は、先生の指導、児童の発表や話し合いの場面で利用
Sky Menu は、互いの画面やノート等を見合う学び合いの場面で活用
 - アナログ**：教科書、ノート、ワークシート等、教室と同じように紙と鉛筆を使用
- 全く登校できない状況の場合は、「完全オンライン授業」とし、Meet や Zoom とともに、Sky Menu 等を活用して、**課題等の配布や提出は、全てデジタルで実施する。**
- 中休み、昼休み、給食の時間（自宅の児童のみ）は、児童同士の自由な会話等ができる。

ポイント

- ・通常の授業よりも、自力解決（個人学習）を長く設定し、タブレット画面を長い時間（**15分間を上限とする**）注視しないよう授業展開を工夫する。
- ・話し合い活動、ふりかえりは、必ず設定し、児童の主体的な学びを保障する。
- ・学習したノートやワークシートなどは、**登校時もしくはクラウドで必ず提出し、先生が確認、評価してから、返却する。**

45分間の
授業の構成

基本例

目標設定

一斉指導

自力解決

学び合い

まとめ

振り返り

Sky Menu で課題配布

教科書、ノート、ワークシート

Sky Menu で共有・提出

ノート

Meet (Zoom) ON 10分間

Meet (Zoom) OFF 20分間

Meet (Zoom) ON 15分間

Affairs 004

オンライン授業試行 第一回 の実際



〔実施の概要〕

実施日時 令和3年9月2日（木） 放課後 14:00 ～ 14:30
 教育課程 教育課程外の教育活動（全員参加。さくら学級は別途実施。）
 実施方法 学 校 ⇄ 児童の自宅 オンラインで結ぶ
 学童保育の児童は、教室を借りて、個別に実施
 実施内容 Google Meet … 映像を通しての会話
 Google Classroom … アンケート調査の受け渡し
 その他、学年や学級に応じて工夫

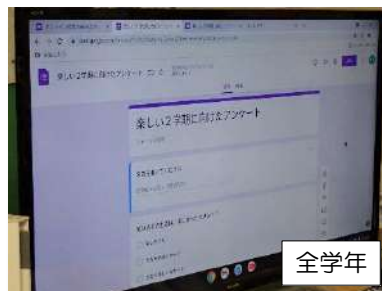
全学年 Google Meet で コミュニケーション

1～3年生は、夏休みにタブレットを活用したり、授業で利用しているものの、家庭から自分で接続してオンラインでつなげるのは今回がはじめてです。
 そのため、事前に何度か練習して今日を迎えました。
 ほとんどの児童が円滑に接続し、楽しく会話できました。



全学年 Google Forms で アンケートを提出

試行中で、全学年で「楽しい2学期に向けて…」と題して、Forms を活用したアンケートを実施しました。配布、受け取り、回答、提出まで、すべてオンラインでできました。
 2学期当初の一人一人の心の変化を見取ります。右のクイズは、事前練習の様子です。



学童保育 学校内で試行しました

学童保育に通っている児童も多く、早い時間は帰宅できないため、学童の活動として校内の教室を借りて実施しました。
 1教室で複数名が接続するため、不都合もありましたが、学級閉鎖等の場合は学童にも通えないので、1人で操作するよい練習の機会となりました。



高学年 オリパラの集大成を発表

4～6年生は、夏休み中に、Sky Menu の発表ノートを活用して、オリパラの集大成に取り組みました。各自がまとめた資料を、授業でそれぞれ発表していましたが、本日の試行の時間に、その続きの発表をしていたクラスもありました。試行というよりも授業そのものです。

4年生以上は、夏休みにも様々実施しました。



Affairs 005

オンライン授業試行 第二回 の実際



Zoom

〔実施の概要〕

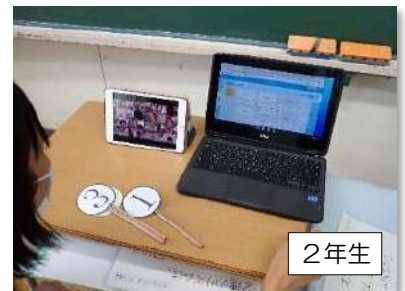
実施日時 令和3年9月6日（月） 放課後 14:00 ～ 14:30
 教育課程 教育課程外の教育活動（全員参加。さくら学級は別途実施）
 実施方法 学 校 ⇄ 児童の自宅 オンラインで結び
 学童保育の児童は、教室を借りて、個別に実施
 実施内容 Zoom … 映像を通しての会話
 Sky Menu … 課題の配布、回答、提出
 その他、学年や学級に応じて工夫

低学年 めっちゃ楽しかった Zoom で コミュニケーション

多くのご家庭で在宅してください、ご支援いただきました。
 1年生は、Zoomの中で操作方法をご教授くださった方もいらして、お力添えに感謝申し上げます。
 2年生は、三択クイズや国語の「雨のうた」の「かさで〇〇かさのうた」の〇〇に思い思いの言葉を書き込んでいました。



1年生



2年生

中学年 ローマ字入力も バッチリ 課題の提出も OK

4年生から習うローマ字を、オンライン授業に備えて3年生も入力できるようにしました。Zoomアプリは英文ですが、説明書を見ながらほぼ全員がログインできたようです。
 Sky Menuの「コグトレ」も慣れたもので、ストレスなく円滑に使いこなしていました。



3年生



3年生

5年生 社会科「漁港で働く人たち」の授業

Zoomに入れなかった児童がいたため、途中から Meet に全員で切り替えました。臨機応変な対応が不可欠です。
 授業の試行では、社会科の学習をしていました。普段の授業と同じように、オンライン授業でもデジタルとアナログの使い分けが重要だと感じました。



5年生



5年生

6年生 Zoom も Sky Menu も円滑に使いこなす

アプリではなく、ブラウザから Zoom に入った児童も多かったようです。Zoomの中で児童同士がユーザー名の変更や画面設定を教え合い、解決していました。
 Sky Menuでは、先生からの質問を受取り、回答、提出していました。夏休みから継続しているのでかなり慣れていきます。



6年生



6年生

Affairs 006

オンライン授業の実践① 令和3年度

▶ お家でオンライン

R3.2.10 第1学年

国語

- 1年生のオンライン授業が始まりました。初日は、雨の中、学童から、職員の方に引率していただき再登校。2学期の3回の試行の成果か、まるでいつもの教室の授業のようにスムーズでした。



- お家でも、教室でも、同じようにオンラインに参加しています。子供たちにとっては、何の違和感もないようです。



▶ 詩の表現の工夫

R3.2.7 第2学年

国語

- 教室の授業と同様に、動画による詩の朗読を聞いて、お気に入りの詩を選び、表現の工夫等、その理由を分かりやすく相手に伝える学習をしていました。



- SkyMenu のポジショニングで一人一人の感じ方を共有しました。コメント機能も活用して、どうしてそう感じたのかなど、全員が自分の考えを言葉で表現して伝えていました。



▶ 私たちの学校じまん

R3.2.8 第3学年

国語

- 自慢だと思えるものを選び、はじめ・なか・終わりの組み立てを、班のメンバーで分担して、協働して発表する学習です。ジャムボードを活用して一人一人が考えた自慢を班で分類していました。



- タブレットの他、教科書やノートの使い方は、いつもの授業と同じです。デジタルとアナログの良さを使い分けています。



▶ 文の長さによる分かりやすさ

R3.2.15 第4学年

国語

- 教室の黒板とプレゼンの画面を使い分けて、オンライン授業の個別画面の利点を生かして分かりやすい授業を組み立てていました。



- 子供たちは教室にいる感覚でオンライン授業に取り組めたようです。先生は、現在40人を超える学級ですが、オンラインの方が、児童一人一人の取組の様子や姿勢がよくよくわかる利点もあったようです。

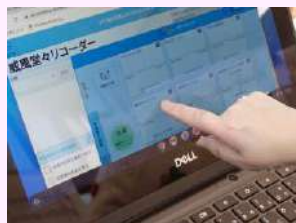


▶ コロナ禍のリコーダー

R3.2.3 第5学年

音楽

- 校内では、歌唱やリコーダーができないので、週1回、ご家庭で集中して取り組んでいます。今日の授業も、卒業式に向けて「威風堂々」のリコーダー演奏に真剣でした。



- 今回は、数人ずつの組み合わせで聴き合ったり、双方向の利点を生かしたりしながら、クラスの一体感を味わっていました。



▶ コロナ禍の合唱

R3.2.4 第6学年

音楽

- 先生は音楽室で、iPadの伴奏を流し、キーボードでリズムを取り、画面の子供たちの様子を見ながら、効果的に指導しています。



- 子供たちは、ご家庭で、換気をしながら、三密や飛沫感染を回避することができ、大きな声で思いっきり歌うことができ、どの子も生き生きとした表情で取り組んでいる様子でした。



Affairs 007

オンライン授業の実際② 令和4年度

▶ はじめてのオンライン授業

R4.7.14 第1学年

国語

- 入学して3か月余り、タブレットの活用は、まだ慣れが必要な段階ですが、はじめてのオンライン授業にチャレンジしました。



- 学童に通う子供たちは教室で実施し、補助の先生方もいらしたのでスムーズでした。ご家庭では、学校の説明不足で接続までに時間を要してしまい、準備段階の大切さを痛感しました。



▶ オンラインで音読

R4.7.7 第2学年

国語

- 2年生になって初めてのオンライン授業を実施しました。3学期には毎週実施していたので、子供たちは戸惑うこともなく、円滑に授業に集中していました。



- 先生からの質問に対しても、音読の練習も、思考ツールの活用も、通常の授業のように一生懸命でした。1年生と同様、学童の子供たちは、教室で実施です。



▶ 振り返りカード

R4.7.11 第3学年

理科

- 講師の先生にオンライン授業を実施していただきました。子供たちはオンラインにも慣れてきているため、とてもスムーズでした。



- 理科の授業では、1学期にたくさんの実験や観察を行いました。それを振り返って、自由な形式でメッセージカードにまとめています。一人一人の活動にしたため、オンラインで十分取り組みました。



▶ 家で思いっきり歌おう

R4.7.11 第4学年

音楽

- 音楽の授業です。今年度になってから、教室でも歌えますが、マスクは必須です。オンラインで子供たちはマスクを外して、生き生きとした表情で思いっきり歌っていました。



- コロナ禍では、学校でできること、家でできること、それぞれの良さを生かした学習を工夫していくことが必要です。



▶ 色を混ぜてみよう

R4.7.11 第5学年

図工

- 色づくりの基本を家庭で学びました。必要な準備は学校で用意。他の人の視線を気にすることなく、自分の世界に浸って集中して取り組みました。



- 作った色の紹介カードも発表ノートを活用して、オンラインで提出。授業は45分でしたが、オンラインが終わった後も、子供たちはそれぞれ続きを楽しんだようです。



▶ 生卵を立てられるか

R4.7.8 第6学年

理科

- 講師の先生の理科です。実験材料は、各家庭の生卵！ 先生からの問い「あなたは卵を机の上に立てることができると思いますか？」から、仮説と検証の始まりです。



- もう夢中です。子供たちの自由な発想を引き出しながら、探究的な学習への興味関心を誘っていました。夏休みの課題の入口です。



Affairs 008

校内のICT環境整備

ねらい：校内の環境整備と高速ネットワーク（オンライン）活用

【パソコン機器】

Student LAN (Local Area Network) 接続

校内で活用

Wi-Fi 接続

自宅等で活用

GIGAスクール LAN

校内で活用



パソコン室

40台＋教員用1台

パソコン端末



全教職員

令和4年8月更新

校務パソコン



全教職員

令和3年度から
本校独自に導入

iPad mini



全児童＋全教員

管理職、養護教諭、
講師等を除く

タブレット端末

令和2年度当初は、各教室にブラウン管TVが置いてある状況だったため、毎年整備に努めているが、急速に学級増が進んでいるため後追いの状況である

PTA 予算で全児童分の
タブレットケースを購入
安全に持ち帰りができる



校内予算等で毎年購入し
4年度までに設置完了予定

50型TV



全通常学級に設置

令和2年度までに
6学級分設置

校内予算で毎年購入し
5年度までに設置完了予定

40型TV



全さくら学級に設置

令和元年度までに
3学級分設置

校内予算で毎年購入し
6年度までに設置完了予定

50型TV



全特別教室に設置

令和元年度までに
各階に1台配置

校内予算で毎年購入し
6年度までに設置完了予定

実物提示装置



全教室に設置予定

令和元年度までに
4教室分設置

【入出力装置】

本校独自の導入（校内予算で計画的に毎年整備を続けている）

【iPad mini】全教員が常に携帯し、校務と学習指導の両方に活用

○校務では、紙資料を廃止し、教員間の情報共有手段（文書、画像、動画等）として活用

○学習指導では、机間指導で児童のノートや作品等を撮影し全体で共有したり、教科書の

QRコードやNHK for School など教育資料・動画等を投影したりして活用

【実物提示装置】全教室に設置し、学習指導に活用

○教員の手元（教科書、資料、演示等）を拡大提示し、視覚的な指導に活用

○児童が書いたノートやワークシートをそのまま拡大提示し、児童自身が説明したり、

思考過程を共有したり、教え合い、学び合いのツールとして活用



Affairs 009

学校のオンライン活用例 その1

▶ えいごであそぼう

R2.5.18 3年生

試行

- 昨日から毎週日曜日、3年生の希望者を対象とした「えいごであそぼう」が始まりました。本校の卒業生が、ボランティアで行うオンライン授業の試行です。学校の取組ではありませんが、新しい学びの形につながるかも知れません。
- 休校期間の緊急的な取組で始まりましたが、令和3年度末まで続きました。参加した子供たちにとって貴重な学びとなりました。



▶ 全校朝会

R2.9.28~

校内配信

- 夏休み中に校内の環境を整え、今日からiPadを活用して、教室の大型TVでオンライン朝会を始めました。リアルタイムに映像や音声で、相互にやり取りをするものです。
- プレゼン画面や動画など視覚的な資料を大型TVに提示でき、分かりやすく伝えられることや、教室の落ち着いた環境の中で集中して聴くことなどのメリットがあります。



▶ 避難訓練

R2.9.28~

不審者監視

- 第一発見者の笛の合図で児童管理に当たらない教職員が現場に急行し不審者に対応。児童らは各教室に身を隠します。
- これまでは教室との連絡方法がなく、お互いの様子が分からず不安でしたが、これからはiPadのZoomを活用し、校長室ですべての教室の状況をリアルタイムに確認しながら対応するとともに、双方向で安全確認などの連絡も取れます。



▶ 体育授業発表

R2.10.12~

学校行事

- 今年度の運動会は中止で体育の授業参観となりました。当日も人数制限が必要とあるため、練習風景からオンラインで配信することにしました。
- お互いに初めての試みでしたが、試行を重ねていきスムーズに送受信ができるようになると思います。ご覧いただいた保護者の皆さまからは良い評価をいただきました。



▶ まち探検

R2.10.15~

行事配信

- コロナ禍で保護者の皆さまにご来校いただく機会が激減し、学校の様子が見えづらくなっている中、なるべく多くの機会をとらえて配信しています。
- 2年生では「まち探検」の様子を保護者の皆さまへ配信しました。先生やお友だちのお話の聞き方、歩き方などとても上手で、けじめのある立派な2年生の姿を見せてくれました。



▶ 行事説明会

R2.10.27~

保護者説明会

- 令和2年度の日光移動教室に替わる「フォレストイン昭和館宿泊学習」に向けて説明会を開催しました。半数近くの保護者の皆さまにご参会いただくとともに、オンラインにも4~5名の方にログインしていただきました。
- それ以降令和3年度の移動教室の説明会はオンラインを主とし、対面と遜色なく円滑に実施しています。



Affairs 010

学校のオンライン活用例 その2

▶ 道徳授業地区公開講座

R2. 11. 5～

授業参観

- 今年度の道徳授業公開講座は、今日からの授業公開（少人数予約制）に合わせて、オンラインで実施させていただいています。
- 来校された方を含めると100名近くの参観を戴いたことになります。道徳以外の授業も、毎時間2～3名程度の参観とさせていたいただきました。保護者会の際に、様々意見交換させていただきます。



▶ 児童集会

R2. 11. 9～

校 内

- 本日のオンライン児童集会では、集会委員の児童が体育館の舞台上で、各教室とジャンケンです。あいこ負けは座ります。3回戦、各回で勝ち残った人に賞状が渡されました。
- その他、委員会からの報告や、「ふじみをよくする運動」の各学級目標と取組の発表など、児童集会の多くがオンライン実施となっていました。



▶ 昭和館宿泊学習

R2. 11. 11～ 6年生

宿泊学習

- 冴えわたる青空の下、昭和館宿泊学習に出発しました。私たちが住む町、昭島市をもっと好きになる『昭島市再発見』一泊二日の旅です。2日間で30km以上市内を歩きました。
- 昭島市ならではの様々な体験を通して、地元の良さを再発見している様子を、保護者の皆様に、随時配信し、貴重な体験をリアルタイムで共有しました。



▶ 始・終業式

R3. 1. 8～

校内配信

- 3学期の始業式から感染症拡大防止のため、始業式や終業式でもオンラインを活用し始めました。できる限り全校児童が一堂に会して実施することが望ましいのですが、感染防止を最優先しています。
- その時々に応じて、体育館や学校図書館、あるいは校長室から配信します。体育館から児童が校歌の伴奏をして、教室で歌ったりもしました。



▶ 入学説明会

R3. 1. 25～

保護者説明会

- 御入学に向けた説明会を開催しました。感染症拡大防止のため、原則、オンラインでご参加いただき、時間も大幅に短縮しましたが配布資料等を通して、必要なことはお伝えすることができたようです。
- ほとんどの方はオンラインで参加され、会場にいられた方は10数名でした。密を避け、広々と座っていただきました。



▶ 6年生を送る会

R3. 3. 5

校 内

- 「6年生を送る会」「1年生を迎える会」もオンラインにせざるを得ません。
- 各学年が創意工夫したメッセージは、6年生への感謝の気持ちが満載です。各教室では各学年の発表のたびに、自然と手拍子や拍手が沸き上がりました。ソーシャルディスタンスと反比例するように、全校児童の心の距離は接近し、ひとつになりました。



Affairs 011

学校のオンライン活用例 その3

▶ オンライン de 離任式

R3. 4. 28

他校から

- 5校時は、オンラインで離任式を挙行了しました。緊急事態宣言中のため、お招きできなくなり残念でしたが、感謝の気持ちを伝えるとともに、離任された先生方からお話を伺うことができました。
- 子供たちに向けたお話が心に沁みました。ありがとうございました。〈上〉舞台上で挨拶。〈下〉オンラインの画面。教室の様子も双方向で映っています。



▶ 体育集会

R3. 6. 2～

校 内

- 体育集会も、対面が叶わない場合には、オンライン配信をしています。(上)体育委員がスポーツテストの実施方法を実演して説明しています。(下)大縄跳び集会の実施方法を実演して説明しています。
- また、室内で出来るコーディネーショントレーニングを体育館から配信して、各教室でトレーニングしたりしています。



▶ 日光・ハケ岳移動教室

R3. 7. 17～

宿泊学習

- 夏休み直前の土曜日からの実施となった日光移動教室では、Zeemでの保護者配信とともに、タブレットを家庭に持ち帰っていた4・5年生とも、土日の夜間にTV会議機能でつながりました。
- 3日目は、日光から全校朝会に参加したり、昼間の活動を学校の児童が視聴したり、移動教室の実際を下級生が学びました。



▶ 夏休みどう過ごしている？

R3. 7. 21～

家庭と

- 令和3年度の夏休みは、タブレットを家庭に持ち帰り、各教科の課題（宿題）や担任の先生との連絡等に活用しました。
- 高学年は、発表ノートにオリンピック観戦の画像や感想などを書いてまとめたり、Classroomで担任の先生とつながったりしました。コロナ禍の夏休みも子供たちは安心して過ごせました。



▶ 国会体験プログラム

R3. 9. 18

行事配信

- 参議院特別体験プログラムでは、ロールプレイ形式で模擬体験し、国会についての理解を深めました。
- 体験プログラムは、5年生の教室や、保護者の皆様にもオンラインで配信しました。子供たちの活躍ぶりや、国会審議の様子が伝わったと思います。もちろん教室から参加することはできませんが、臨場感を味わうことができました。



▶ バーチャル社会科見学

R3. 11. 12 5年生

日産自動車

- 日産自動車のオンライン工場見学に参加しました。最新の車の製造工程や人と環境にやさしい車づくりについて学びました。車の部品作りから出荷まで、動画や資料を使って、双方向で分かりやすく学ぶことができました。
- 子供たちの活発な質問に一つ一つ丁寧に教えてくださり、とても有意義な時間となりました。感謝



Affairs 012

学校のオンライン活用例 その4

▶ バーチャル社会科見学

R3. 11. 30 2年生

多摩動物園

- 多摩動物公園は団体見学を一時中止しているため、オンラインでの見学となりました。楽しみながらたくさんのお話を学ぶことができました。
- 教室で様々な画像や動画を見ながら、飼育員さんから、直接お話を伺うことができました。いつもの遠足も楽しさいっぱいですが、いつもは聞けない多彩なお話を伺うことができ、子供たちは興味津々。



▶ オンライン授業配信

R4. 1. 20～

出席停止

- 3学期以降、本校でも感染が判明したり、感染防止による出席停止の児童が出てきました。希望があればオンラインで授業の様子を配信しています。
- 配信の方法は授業形態により様々ですが、先生の指導を中心に、子供たちの活動の様子を見たり、班活動などでは一緒に加わったりしながら、基本的に双方向で授業に参加しています。



▶ きこえとことばの教室

R4. 1. 26

学 校 間

- 今日は「言葉のことにについて、友達の考えや気持ちを聞いてみよう」というテーマで、楽しみにしていたグループ活動です。オンラインで実施しました。
- 一人一人の困り感や不安に思っていることを、率直に質問し合いました。「そうだよねー」と共感することが多く、安心して会話を重ねていました。プレゼン画面を見ながら会話しています。



▶ 伝えていこう

R4. 3. 16 6年生

出前授業

- 卒業式で歌う「伝えていこう」は、被災した石巻の高校生らを応援しようとして、ジャズピアニストの遠藤征志氏が作詞・作曲したものです。今年の卒業生のために遠藤氏から楽曲を使わせていただきました。
- 今日は遠藤氏とオンラインで6年生の合唱を聴いていただき「音楽には力がある」など感想やアドバイスをいただきました。



▶ 市民図書館電子書籍

R4. 7. 8～

関係機関

- 今夏から電子書籍サービスが利用できるようになりました。今日は、各自の図書カードのIDでログインしてパスワードの変更など初期設定を完了しました。
- さっそく、電子書籍を借りて読んでいます。そして電子絵本を借りた児童が、「朗読してくれるよ!」と驚きながら、近くの子に伝えていました。多様な読書への入口となりそうです。



▶ 個人面談

R4. 7. 21～

保護者と

- 夏休み直前から感染症が全国的に爆発的に拡大してきた中での個人面談でした。各教室では、感染防止を徹底した上で、実施させていただきました。
- 保護者の方が海外に赴任中など、特別な事情がある場合はオンラインで実施しました。対面と遜色なく実施することが可能で、今後はオンラインも選択肢に入ることができそうです。



Affairs 013

児童の健康面への配慮①



文科省ガイドブック

ねらい：児童の健康に留意してICTを活用する

ICTの活用にあたっては、①目の疲れなど視覚系への影響、②姿勢などの筋骨格系への影響、③疲労への影響、④心理的な影響を十分考慮する必要がある。

そのため、教員や保護者など、指導者が、(1)教室（家庭）環境、(2)児童の姿勢、(3)使用時間などに配慮しなければならない。

以下、文部科学省「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」より抜粋

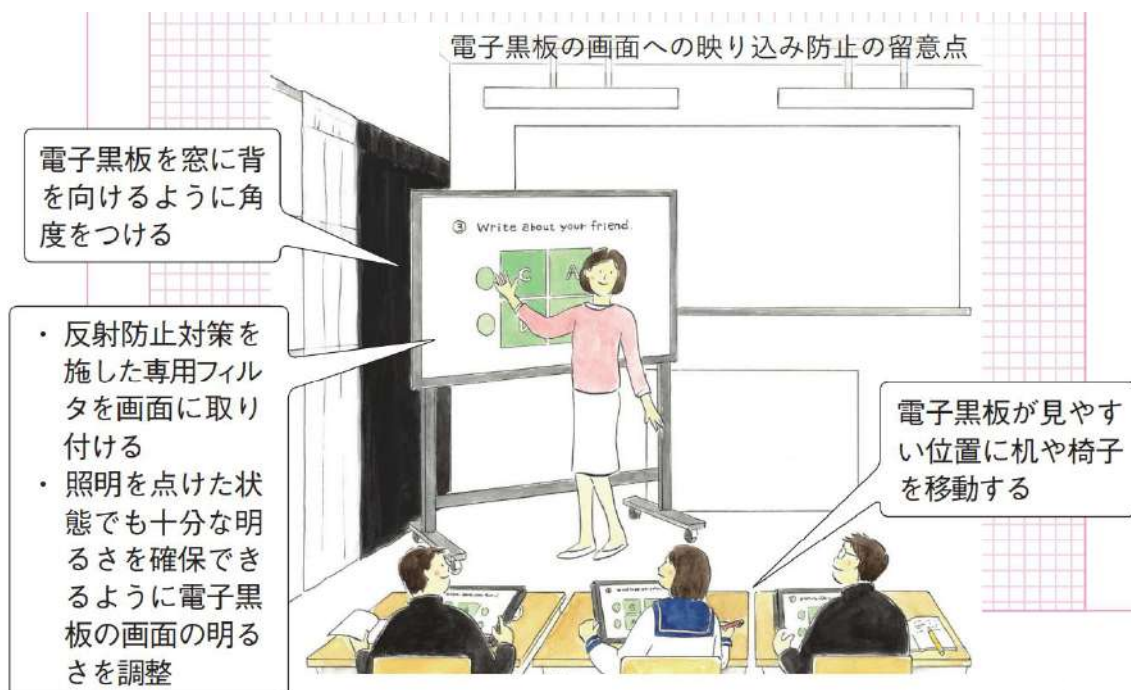
1 教室環境の調整

カーテンによる窓からの映り込みの防止や、照明環境の工夫により映り込みを防止することが大切です。



2 映り込みの防止

季節や時間帯、教室の所在階によって電子黒板の画面の反射の具合は変化するため、教員は反射を極力抑えるよう配慮する必要があります。



Affairs 014

児童の健康面への配慮②

ねらい：児童の健康に留意してICTを活用する

3 児童の姿勢

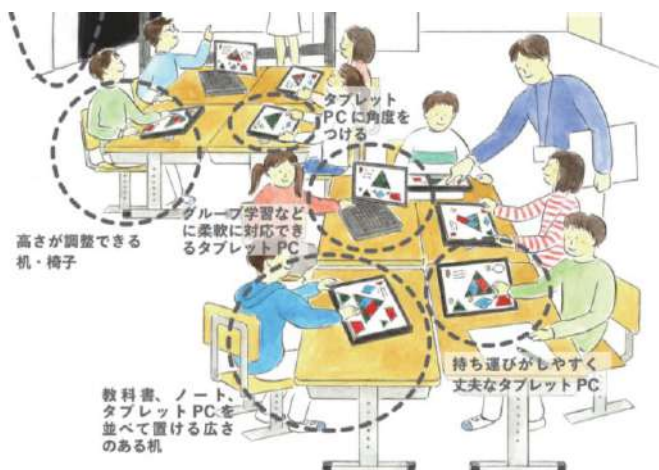


図10 タブレットPCを利用する際のポイント



姿勢に関する指導

- 児童生徒の姿勢が悪い場合は、タブレットPCの置き方を工夫しても、画面が見えにくいため、まずは児童生徒の姿勢がよくなるように指導します。
- 机と椅子が児童生徒の体格に合っていないと姿勢が悪くなるので、机と椅子の高さを児童生徒の成長も考慮して適切に調整します。
- 教科書、ノートに加えてタブレットPCを使って授業を行う場合、机の面積が狭いために児童生徒が無理な姿勢で作業を行うことがあります。授業の進行に応じて、利用しない教材・教具を随時片づけるように指導します。

画面への映り込みの防止

- 児童生徒の姿勢がよい場合は、児童生徒の視線とタブレットPCの画面を直交する角度に近づけることで画面が見やすくなるため、そうなるようにタブレットPCの角度を調節するよう指導します。
- 座席位置によって照明の具合が異なることから、画面に照明が反射しないように、児童生徒が自分でタブレットPCの画面の角度を調整するよう指導します。
- タブレットPCの画面に反射防止用フィルタを取り付けることにより、画面の反射を軽減できるだけでなく、破損時の安全性の向上も図れます。

使いやすさへの配慮

- 画面の明るさを設定して画面を見やすくするなど、児童生徒自身で操作性の向上を図るように配慮します。
- 発表、グループ作業などにより児童生徒が同じ姿勢を長時間続けないようにする、長時間にわたり電子黒板やタブレットPCの画面を児童生徒が注視しないようにするなど、目や身体の疲労を軽減するように授業の実施方法を工夫することも考えられます。

4 使用時間 富士見丘小学校のルールより

- ① 使用時間は、学校がない日 8時～16時 学校がある日 16時～18時
- ② 正しい姿勢で、画面から30cm以上は顔を離して使いましょう。
- ③ 適切な明るさの部屋で使いましょう。
- ④ 30分に一度は遠くを見るなど、ときどき目を休ませましょう。

5 ビジョントレーニング

数字探し



6年生 R3.6.22

文字合成



4年生 R3.6.22

間違い探し



3年生 R4.3.8

富士見丘小学校

第7章

教員に求められる I C T 活用指導力 の向上

Affairs 013-014

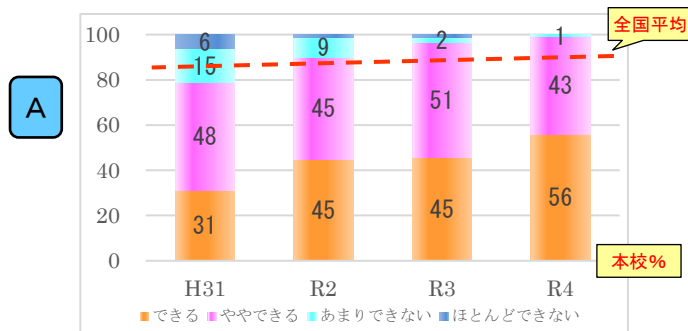
- 1 I C T 活用指導力等
- 2 教員の研修

Affairs 013-1

ねらい：教員のICT活用指導力の向上 教員のICT活用指導力チェック（文部科学省）

ICTを効果的に授業で活用することによる「わかる授業」の実現のためには、ICT環境の整備はもとより、その環境を活用する教員のICT活用指導力の向上が必要不可欠である。

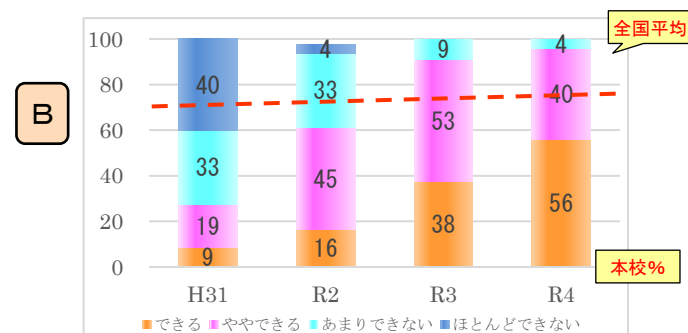
富士見丘小学校の教員の回答状況				R1	R2	R3	R4
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	A-1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。	できる	25%	35%	45%	56%
			ややできる	40%	55%	50%	44%
			あまりできない	20%	10%	5%	0%
			ほとんどできない	15%	0%	0%	0%
	A-2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。	できる	40%	50%	59%	68%
			ややできる	50%	45%	41%	32%
			あまりできない	10%	5%	0%	0%
			ほとんどできない	0%	0%	0%	0%
	A-3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	できる	30%	50%	55%	60%
			ややできる	50%	40%	45%	40%
			あまりできない	15%	10%	0%	0%
			ほとんどできない	5%	0%	0%	0%
	A-4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。	できる	30%	45%	23%	40%
			ややできる	50%	40%	68%	56%
			あまりできない	15%	10%	5%	4%
			ほとんどできない	5%	5%	5%	0%



他の項目を見ると、令和2年度以前までは授業等でのICT活用状況が不十分であるといえるが、教員の情報活用能力そのものは低くないことは分かる。

このことは、全国的にも同様の傾向であり2年度までは、授業等でICTを活用して、効果的な指導をすることが課題であった。

富士見丘小学校の教員の回答状況				R1	R2	R3	R4
B 授業にICTを活用して指導する能力	B-1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	できる	10%	35%	45%	60%
			ややできる	25%	60%	55%	40%
			あまりできない	40%	5%	0%	0%
			ほとんどできない	25%	0%	0%	0%
	B-2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。	できる	10%	21%	41%	60%
			ややできる	25%	42%	55%	36%
			あまりできない	40%	37%	5%	4%
			ほとんどできない	25%	0%	0%	0%
	B-3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。	できる	10%	10%	36%	52%
			ややできる	15%	40%	45%	44%
			あまりできない	25%	45%	18%	4%
			ほとんどできない	50%	5%	0%	0%
	B-4	グループで話し合っって考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。	できる	5%	0%	27%	52%
			ややできる	10%	42%	59%	40%
			あまりできない	25%	47%	14%	8%
			ほとんどできない	60%	11%	0%	0%



令和2年度までは、授業等にICTを活用することが不十分であった。とりわけ、ICTを活用して児童の主体的で対話的な深い学びに資する指導がほとんど行われていなかった。

その後、全体的に大きく向上しているが、「できる」と回答している割合は5～6割に留まっており、更なる努力が必要である。

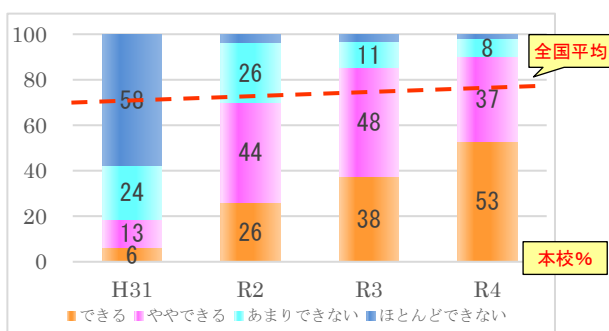
Affairs 013-2

総合

教員の情報活用能力を問うものであるが、回答状況からは実際の活用状況が見えてくる。令和2年度まで、A「校務等への活用」以外は全国平均を大きく下回っており、ICTを活用した指導が不十分であったことが分かる。2年度にICT環境を整備するとともに、指導の充実を図ったことで、教員の指導力が大きく向上している。また、3年度に1人1台のタブレットを導入し、GIGAスクール構想を推進したことで、さらに一層の向上がみられる。4年度は、顕著な変化は見られない。

富士見丘小学校の教員の回答状況				R1	R2	R3	R4
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	C-1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力やファイル操作など)を児童生徒が身に付けることができるように指導する。	できる	10%	40%	55%	68%
			ややできる	25%	55%	45%	32%
			あまりできない	25%	5%	0%	0%
			ほとんどできない	40%	0%	0%	0%
	C-2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。	できる	5%	40%	50%	52%
			ややできる	15%	50%	45%	36%
			あまりできない	35%	10%	5%	12%
			ほとんどできない	45%	0%	0%	0%
	C-3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。	できる	5%	11%	14%	40%
			ややできる	10%	26%	50%	44%
			あまりできない	20%	30%	27%	12%
			ほとんどできない	65%	33%	9%	4%
	C-4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。	できる	5%	10%	32%	52%
			ややできる	0%	35%	50%	36%
			あまりできない	15%	50%	14%	8%
			ほとんどできない	80%	5%	5%	4%

C

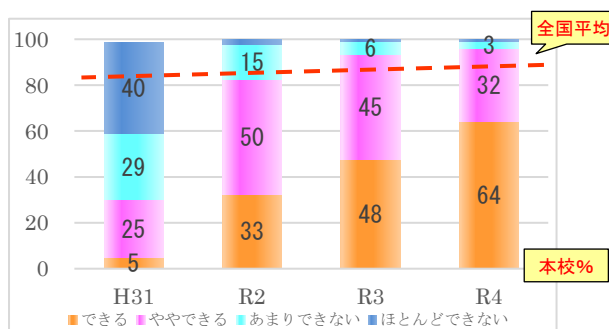


全国的に児童の情報活用能力の育成のための指導の充実が課題であるが、本校においても満足できる状況とは言えない。

授業の中で、各教科のねらいを達成したり深めたりするなかで、6年間の指導目標を明確にして、計画的に児童の情報活用能力を育成する必要がある。

富士見丘小学校の教員の回答状況				R1	R2	R3	R4
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	D-1	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。	できる	5%	32%	50%	68%
			ややできる	25%	53%	50%	32%
			あまりできない	20%	16%	0%	0%
			ほとんどできない	50%	0%	0%	0%
	D-2	児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用できたりできるように指導する。	できる	5%	35%	41%	60%
			ややできる	25%	50%	50%	32%
			あまりできない	50%	10%	5%	4%
			ほとんどできない	20%	5%	5%	4%
	D-3	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。	できる	5%	29%	68%	64%
			ややできる	30%	48%	27%	32%
			あまりできない	20%	24%	5%	4%
			ほとんどできない	45%	0%	0%	0%
	D-4	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気付き、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。	できる	5%	35%	32%	64%
			ややできる	21%	50%	55%	32%
			あまりできない	26%	10%	14%	4%
			ほとんどできない	47%	5%	0%	0%

D



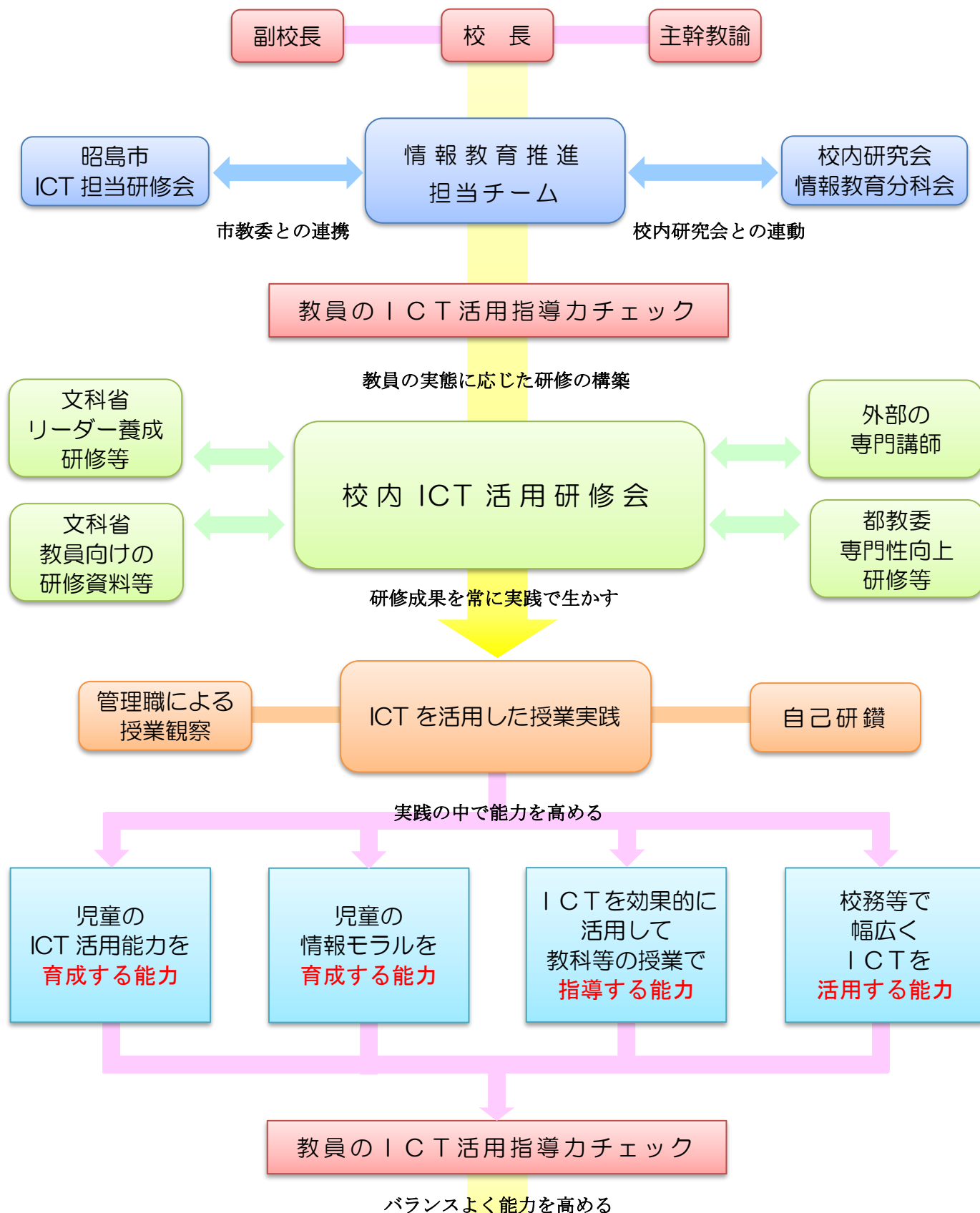
1人1台のタブレットが導入されたこともあり、情報モラルなど、児童が情報社会に参画できる知識や態度を育成することが喫緊の課題である。

あらゆる教育活動を通して指導することが大切であり、すべての教員が「できる」段階まで高める必要がある。

Affairs 014

ねらい：ICT活用指導力の向上を図るための体制の構築および教員研修の推進

教員のICT活用能力及び活用実践の実態に応じて、教員の研修体制、研修プログラムを構築し、計画的に教員のICT活用能力を育成し、授業改善等に生かしていく。



第8章

校務の情報化

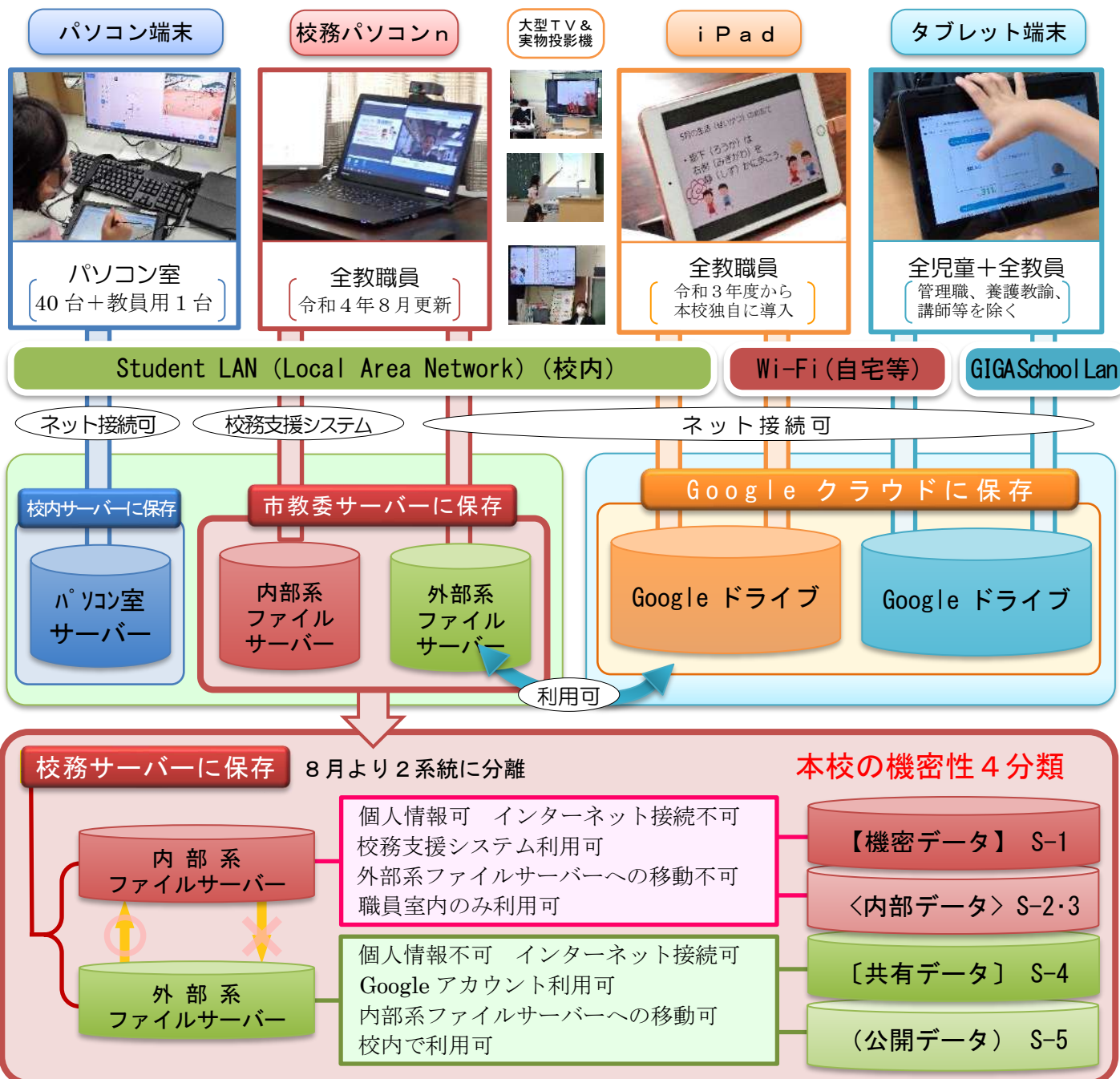
Affairs 015-018

- 1 クラウド活用全体構想
- 2 情報の共有化
～ i P a dの活用 ～
- 3 校務支援システムの活用
- 4 教育情報管理・運用規定
- 5 オンライン授業実施
フローチャート案

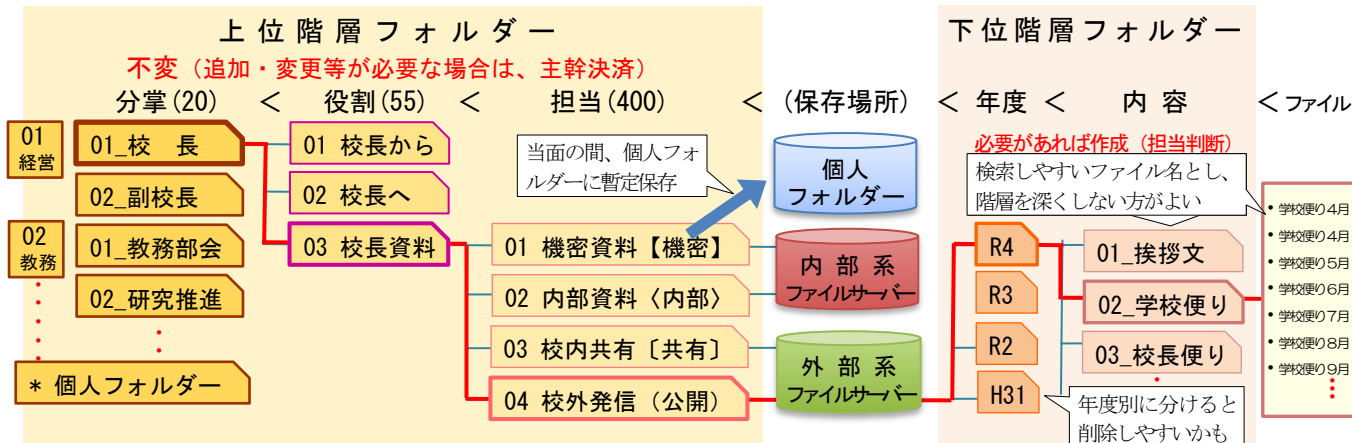
Affairs 015

クラウド活用全体構想

ねらい：ICT 環境整備と情報セキュリティの確保の上で、校務の情報化が成立



本校のフォルダー階層



Affairs 016

ねらい：教員用 iPad を校務と学習指導等、多様に活用する

本校が独自に導入した iPad mini は、全教員が常に携帯し、あらゆる場面で多用途に利用している本校の必須アイテム。iPad の有効活用で働き方改革が大幅に推進。

▶ 校内研究・教員研修

- 校内研究や様々な研修では iPad を利用して、文書の資料とともに、図や画像、動画、ネットなどあらゆる資料を共有しながら、効果的に進めることができています。
- 時には外部機関や専門家の方とオンラインで双方向のやり取りをしながら、研修をすることもある。コロナ禍においても、感染状況等に左右されないメリットは大きい。



R3. 6. 4



R3. 8. 30

▶ 諸会議・打ち合わせ

- 諸会議はペーパレスで実施している。校務 PC と異なり時と場所を選ばず、クラウドの利用とともに、AirDrop を用いて、その場で作成や修正した資料（画像や動画も）を瞬時に共有できることは特に秀逸である。
- ちょっとした打ち合わせのために紙に印刷して、確認が終わればゴミになるといった無駄なロスがなくなった。



R3. 4. 2



R3. 4. 5

▶ 校外とのオンライン

- 各学校 ⇄ 各教室 (iPad) や 校外 (iPad) ⇄ 各家庭というふうに、Zoom によるオンラインが手軽にできる。
- 特に、移動教室等の校外学習の様子を現地から Zoom で配信する際は、教員が 1 人 1 台持っている iPad mini は小型で軽快である。ただし、通信機能がないため、別途、Wi-Fi に接続しなければならない不便さもある。



R3. 4. 28



R3. 7. 17

▶ 校内でのオンライン

- 校内では、校内 LAN に接続できるため、Zoom によるオンラインを日常的に活用している。具体的には、コロナ禍で児童の参集が叶わない場合、全校朝会、児童集会等、様々な学校行事もオンライン実施が日常化してきた。
- 対面で実施できないでメリットも大きい、視覚的に伝えやすいなど、オンラインのメリットを生かしている。



R3. 5. 10



R3. 6. 2

▶ 授業での活用

- 授業では、実物投影機で自防のノートやワークシート等を拡大提示する感覚で、机間指導しながら児童の思考過程を撮影し、大型テレビで共有している。非常に効果的だ。
- 児童が立ち入れない調理室とオンラインでつないで調理の様子をリアルタイムで見ながら質疑応答をしたり、様々な動画などの教材を提示したり、幅広く活用している。



R3. 6. 2



R4. 3. 3

▶ 各種対応

- その他、iPad で利用できる多彩なアプリを学習指導に活用したり、不審者侵入時の防犯カメラとして不審者の動きをオンラインで全校で共有したり、iPad mini の携帯性を利点として活用しています。
- また、時には、海外に赴任中の保護者と Zoom で個人面談をするなど、1 対 1 の情報共有等、多角的な活用を行っています。



R3. 11. 25



R4. 7. 28

Affairs 017

ねらい：校務支援システムを効果的に活用して、働き方改革を推進する

校務 PC を用いて、WinBird のグループウェア機能や成績管理機能とともに、マチコミメールのメール、お休み連絡、アンケート機能等を活用して大幅な効率化を推進する。

市教委が導入している校務支援システム「WinBird」は、以下の機能を有していた。令和3年度現在、本校の「WinBird」と他システムの活用状況は以下の通り。ただし、令和4年度8月からセキュリティー強化により「WinBird」の使い勝手が悪くなり効率性が著しく低下したため、他の方策を探っているところである。

		活用状況	WinBird	他システム等
グループウェア機能	メッセージ	◎	同一システム内に登録された職員間で、メッセージの送受信ができます。また、ファイル添付もできます。(上限 100MB)	マチコミ 緊急時および日常的な連絡等
	掲示板	×	情報交換や会話、議論を行う。職員毎に編集/閲覧権限の設定ができます。	
	回覧板	×	確認状況のチェックができる回覧板の作成と回覧。資料の添付もできます。	
	メール	◎	学校内外へのメールの送受信。メッセージ機能との連携ができます。	エクセル 週案簿上で複雑な時数計算が可能
	一斉メール	マチコミ	職員、保護者などへ一斉にメールを送信。	
	文書管理	×	起案書、職員会議議事録、旅行命令書などの文書管理。作成から提出・受理、承認まで対応できます。	
	スケジュール	△	学校行事、来校者予定、各教職員のスケジュールを登録。確認。年間行事や日直は一括登録できます。	マチコミ 学校行事などの簡単なアンケート
	時数管理	エクセル	時間割や授業時数表を自動作成。予実績を入力し週案簿への出力ができます。	
	施設予約	×	校内の施設・備品の予約と状況確認。施設・備品別、教職員別、時限別で確認できます。	
	新着情報	-	メールやメッセージ、申請/承認が更新されると随時表示。	
データベース機能	職員 出退勤管理	◎	職員の出退勤状況を登録/管理。管理機能で、超過時間をわかりやすく表示。	
	アンケート	マチコミ	学校間、職員間でアンケートを実施（自動集計）ができます。	
	学籍管理	◎	基本情報(児童・生徒氏名(かな)、学級、出席番号、住所、電話番号など)、付帯情報(保護者・兄弟情報、部活動、委員会、通学区など)を管理。	マチコミ 欠席、遅刻等、および理由の届出
	出欠席管理	◎ マチコミ	毎日の出欠席状況(病欠・事故欠、遅刻・早退、忌引など)を登録・管理し、出席簿、通知表、指導要録へ出力。欠席等の理由は、実態に合わせて編集できます。	
	給食管理	×	給食実施簿や、栄養士の執務記録の作成。欠食日や、教職員の給食をとる場所の登録・設定ができます。長期欠食は、期間を指定して登録できます。	
	おきまり帳票	×	学校でよく使用する帳票の出力。クラス名簿、学級チェック表、身分証明書、宛名シール、連絡網など。	
成績管理機能	進級処理	○	全校児童生徒の学級をそのままに、学年+1 進級。新学級編成への自動振り分けのための振分値や、参考情報も登録できます。	
	定期・実力 テスト管理	△	テスト結果管理、テスト個票/度数分布表出力。	
	評定算出	△	単元テストや提出物などの評価点から評価を算出。	
	通知表	◎	システム内で管理している成績などのデータをもとに、通知表が出力。	
	進路資料	×	進路個票、評定分布表、調査書などの出力。	
健康管理機能	指導要録	◎	学年末の成績を活かして作成ができます。小学校は6年間、中学校は3年間の内容をあわせて出力ができます。	
	保健日誌	えがお	自治体様式に合わせた様式での出力に対応できます。	えがお 保健室の業務を統合的に管理
	来室記録		来室理由、発生原因の設定ができます。記録から、原因集計などもできます。保健日誌との連携もあり。	
その他	検診記録		検診記録を登録し、記録の検索や集計。結果をもとに、お知らせや健康診断票、成長曲線/肥満度曲線などを出力。	
	備品管理	×	備品のリース・購入情報、校内での設置位置、導入業者を管理。	
	口座・ 引去金管理	×	児童生徒の口座・引去金情報、取引銀行情報を管理。	
	新体力テスト	×	新体力テストの結果の記録と管理。学校外での運動状況の管理もできます。	

Affairs 018

ねらい：教育情報セキュリティの校内規定を徹底

教育情報セキュリティ対策（個人情報保護）

「基本方針」及び「対策基準」にかかる校内規定

〈別紙1〉ICT環境とセキュリティの概要

〈別紙2〉個人情報の安全管理に関する基準

〈別紙3〉学校ホームページ及び各種便りなどの情報発信や個人情報の取扱いについて

〈別紙4〉「Fujimi Art Gallery Web」の開設について

〈別紙5〉教育情報セキュリティ 十七箇条

校内規定

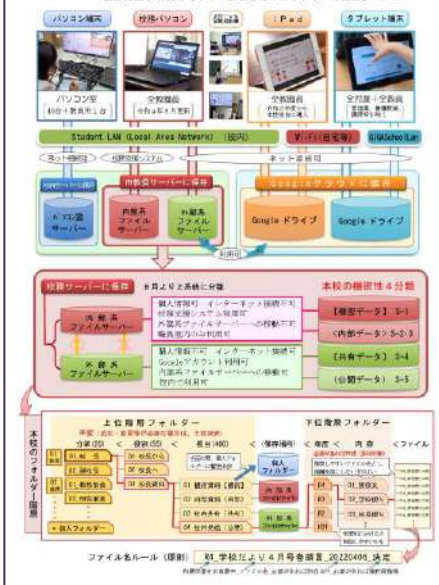
制定年度：令和4年度 制定：令和4年7月25日（校長）
 関係部署：企画・総務課 教務・指導課
 校長 堀 謙二

教育情報セキュリティ対策（個人情報保護）の「基本方針」及び「対策基準」にかかる校内規定

- 第1 総則
この規定は、「教育情報セキュリティポリシー」に関するガイドライン（以下「ガイドライン」）に基づき、情報セキュリティ対策の基本方針及び対策基準を定め、個人情報の保護を図ることを目的とする。
- 第2 範囲
この規定は、本校における教育活動に必要と認められる個人情報の取扱いに関する事項を定める。
- 第3 個人情報保護の考え方
1 本校は、教育活動として、学校に必要と認められる個人情報の取扱いに責任を負うとともに、個人情報の保護に努め、関係者への説明を徹底する。
2 校長は、教育・研究等に必要と認められる個人情報の取扱いに責任を負うとともに、関係者への説明を徹底する。
3 教員は、教育活動に必要と認められる個人情報の取扱いに責任を負うとともに、関係者への説明を徹底する。
- 第4 個人情報の安全管理に関する考え方
1 校長は、個人情報の安全管理に努め、関係者への説明を徹底する。
2 教員は、教育活動に必要と認められる個人情報の取扱いに責任を負うとともに、関係者への説明を徹底する。
3 教員は、個人情報の安全管理に努め、関係者への説明を徹底する。
- 第5 個人情報の安全管理に関する考え方
1 校長は、個人情報の安全管理に努め、関係者への説明を徹底する。
2 教員は、教育活動に必要と認められる個人情報の取扱いに責任を負うとともに、関係者への説明を徹底する。
3 教員は、個人情報の安全管理に努め、関係者への説明を徹底する。

別紙1

富士見丘小学校の【ICT環境とセキュリティの概要】 別紙1



別紙2

富士見丘小学校の【個人情報の保護について】 別紙2



別紙3

富士見丘小学校の【学校ホームページ及び各種便りなどの情報発信や個人情報の取扱いについて】 別紙3



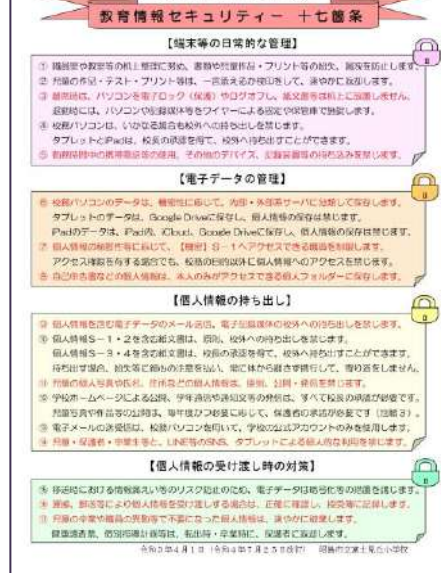
別紙4

富士見丘小学校の【「Fujimi Art Gallery Web」の開設について】 別紙4

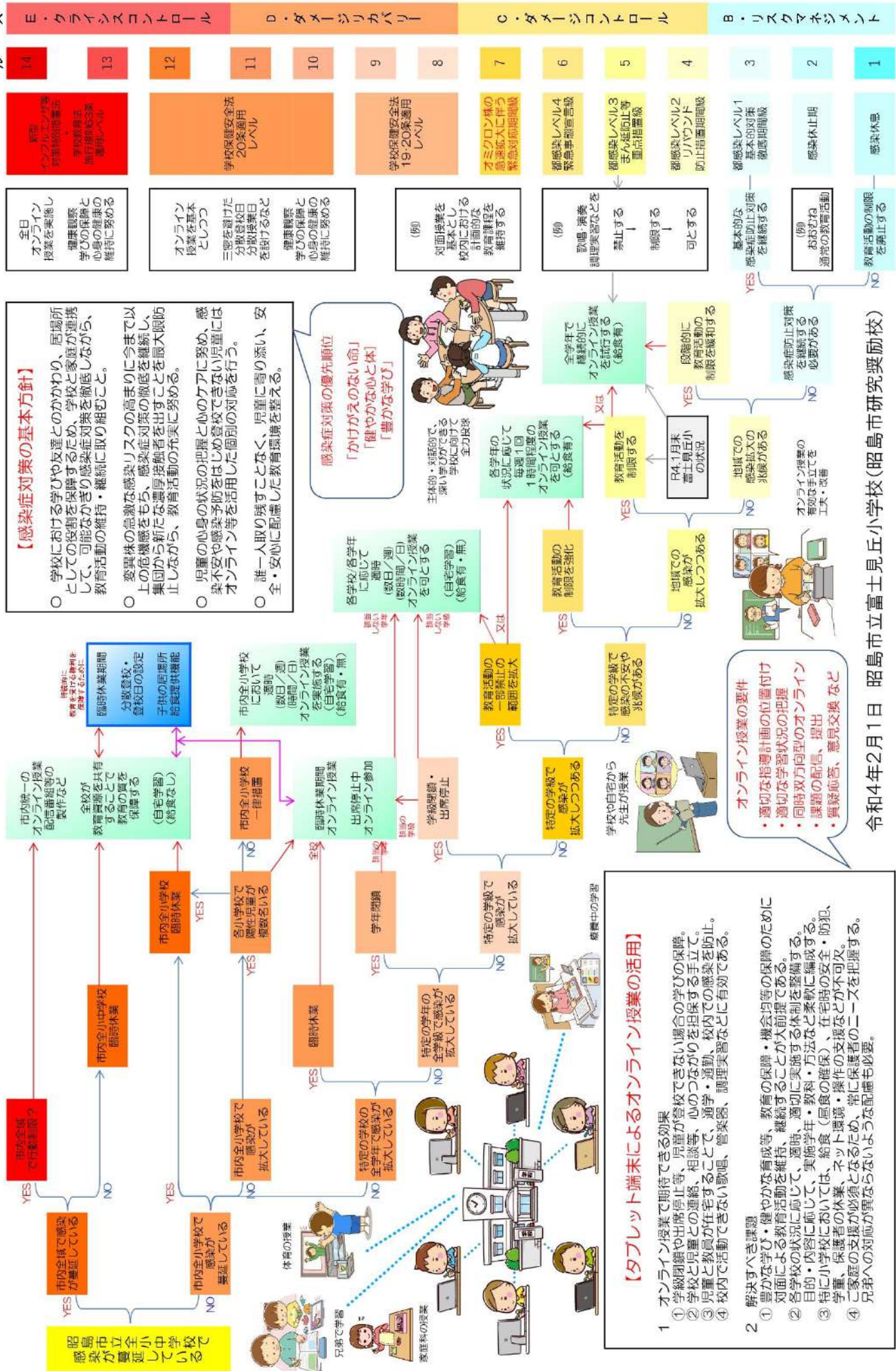


別紙5

富士見丘小学校の【教育情報セキュリティ 十七箇条】 別紙5



子供たちの「かけがえない命」「健やかな心と体」「豊かな学び」を保障するための【オンライン授業】実施フローチャート（試作）案



第9章

学校及び設置者等における 教育の情報化に関する推進体制

Affairs 012-013

- 1 教育委員会及び
学校の管理職の役割
- 2 ICT支援員をはじめとする
外部資源の活用

Affairs 019-1

ねらい：市教委が定めた管理・運用規定を遵守する

1 管理・運用体制

- (1) 管理責任者（校長）
 - ① 学校全体の管理・運用上の最高責任を負う。
 - ② 児童のタブレット端末の持ち帰り可否の判断を行う。
- (2) 管理副責任者（副校長）
 - ① タブレット端末を学校で保管するうえでの物理的なセキュリティ管理を行う。
 - ② タブレット端末の児童・教職員への割り当て・管理を行う。
 - ③ 授業利用目的のアプリケーションのインストール可否を判断する。
- (3) 運用責任者（ICT 担当教員）
 - ① タブレット端末、及びネットワーク環境利用者（教職員）に対する指導・助言。
 - ② ユーザアカウントの管理に関して利用者（教職員）への指導・助言を行う。

2 タブレットと周辺機器

- (1) タブレットの貸与対象
 - ① 児童・一般教職員・巡回教職員のみとする。
 - ② 次のものは配布対象外する。管理職（校長、副校長）、養護教諭、講師、事務等。
- (2) タブレットの利用区分（同機種を、利用目的により3種類に分類。）
 - ① 児童生徒機
 - 導入時、または入学時に配布された端末を卒業まで利用する。
 - ② 教職員機
 - 導入時、または着任時に配布された端末を異動するまで使用する。
 - ③ 予備機
 - 児童生徒の端末が故障等により、修理に出した場合に一時的に貸し出す端末。
- (3) タブレットの管理
 - ① 保管方法
 - 教室に設置されている充電保管庫内、または施錠可能な収納スペースに保管する。
 - ② 管理方法
 - 使う際に保管場所から取り出し、使い終わったら保管場所に戻し、施錠する。
 - 特に専科の授業等で教室を離れる際には、こまめに保管・施錠を徹底する。
 - ③ 非常事態時
 - 紛失・盗難が発生した際には、即時に教育委員会 庶務課に報告する。
 - 故障した場合は、「タブレット端末障害対応方法」を参照し対処すること。
- (4) 外部記憶媒体
 - ① 外部記憶媒体との接続は、一切不可とする。
 - ② プリンタとの接続を可とする。
 - ③ 教室に設置されている大型ディスプレイとの接続を可とする。

3 アカウントの種類と管理

- (1) アカウント使用の制限
 - ① アカウントは、学習用タブレット端末のみで使用する。
 - ② タブレット端末以外で、アカウントを使用することは、原則禁止とする。
 - ③ 特に校務用ネットワークを介して使用することは、絶対に行ってはならない。
- (2) 管理者アカウントの種類
 - ① 学校管理者アカウント
 - ② 児童生徒管理者アカウント
 - ③ 授業支援管理者アカウント
 - ④ 市教委アカウント
- (3) ユーザアカウントの種類
 - ① 児童生徒アカウント
 - ② 学校職員アカウント
 - ③ 巡回教職員アカウント

Affairs 019-2

4 個人フォルダ・共有フォルダ

(1) フォルダーについて

個人フォルダ・共有フォルダは、クラウド（Google ドライブ）上に存在する。緊急時を除き、タブレット端末本体にはデータを保存しないこと。

(2) 個人フォルダ

ユーザアカウントに紐づくユーザのみがアクセスできる専用のフォルダ。一つのユーザアカウントにつき、一つの個人フォルダが割り当てられる。

(3) 学校共有フォルダ

児童生徒・教職員の間でデータの共有・保管ができる。

(4) 教職員専用共有フォルダ

学校に所属する学校職員アカウントがアクセスできるフォルダ。

(5) 市内小中学校共有フォルダ

昭島市内小中学校に所属する学校職員アカウントがアクセスできるフォルダ。

(6) 巡回教職員専用共有フォルダ

学校職員アカウントの中でも、巡回教職員のみがアクセスできるフォルダ。

5 アプリケーション

(1) G Suite

以下のすべてのアプリを一つに取り纏めて、ネットワーク経由で管理・提供するアプリ。

(2) G Suite for Education

すべてのユーザアカウントで利用できる Google から無償で提供されるアプリ。ただし、G Mail やチャットは利用制限をしている。

(3) 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）

児童生徒、および一般教職員、巡回教職員が利用できるアプリ。授業における共同学習や写真・動画撮影、個人ワーク等にて活用できる。

(4) 学習支援ソフト（ラインズeライブラリ【くじらーニング】）

児童生徒、および一般教職員、巡回教職員が利用できるアプリ。授業中および家庭での自己学習にて活用できる。

(5) その他のアプリ

その他のアプリを利用したい場合は、学校管理者に承認を得ること。承認を得たら、学校にてインストール作業を行うこと。

6 セキュリティと個人情報の扱い等

(1) セキュリティ対策（以下3重のセキュリティ機能）

① フィルタリングソフト

フィルタリングソフトが Cloud 上で機能。学校外のインターネット回線の場合も制御する。

② ファイアウォール

学校のインターネット回線を使用する場合のみ機能する。学校外では機能しない。

③ サンドボックス

Chromebook の処理は、サンドボックスと呼ばれる隔離された安全な領域で実行される。

(2) ルールの遵守

① 怪しいサイトへアクセスしない。 ② 不必要にファイルを取得しない。

③ 危険を感じたらタブレットを閉じて、すぐに管理者や教育委員会に相談する。

(3) 個人情報の取扱いルール

① 個人が特定できる情報（名前や顔写真等）及び機密性の高い情報（成績情報・健康管理情報等）は個人フォルダ、共有フォルダ、タブレット端末内のストレージには保存しない。

② 自分のアカウント ID やパスワードを絶対に他人に教えないこと。また、タブレット端末を他人に貸したり、使わせたりしない。

③ 自分や他人の個人情報をインターネット上に絶対に公開しないこと。

④ カメラで人を撮影、個人が特定できる情報を撮影する場合は、必ず本人の撮影許可を得る。

Affairs 019-3

7 ネットワーク環境

(1) 利用端末

タブレット端末にて、各学校から直接外部ネットワークに接続できる。

タブレット端末以外の使用は、原則不可とする。

(2) 利用方法

タブレット端末にてユーザアカウントでログインすることで利用できる。

学校内に設置されている AP の電波を受信できる場所でないと使用できない。

1本のインターネット回線を学校内のタブレット端末全台で利用する。

MEET など大量の通信量を必要とする機能は、真に必要な場合を除き、使用しない。

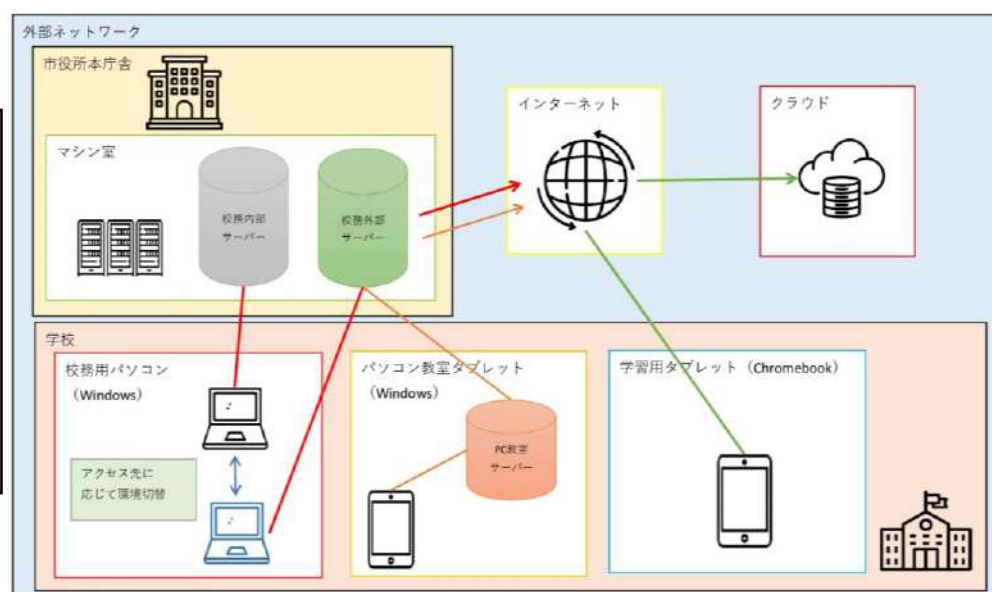
(3) 利用時の注意

タブレット端末のインターネット接続は、すべて無線接続である。そのため、以下の場合に接続不良が発生することがある。

- ① タブレット端末と AP の間に接続を遮断する物体があると接続できなくなる。特に電波を妨害する電子機器があると影響を受けやすい。
- ② タブレット端末と AP の距離が遠くなればなるほど、電波が届かず接続が途切れやすくなる。※教室の奥の方は AP の調子によって、届きにくくなることもある。
- ③ AP が故障すると故障した機器を利用する教室で全く端末を使用できなくなる。AP の故障は月に 1 台の割合で発生している。業者の修理には 3 日～10 日程度かかる。

(4) ネットワーク構成

ネットワークは、下図のような構成となっている。



学習用ネットワーク

接続構成：学校個別接続型

回線種別：ベストエフォート

最大通信速度：1Gbps

利用者：児童生徒・教職員

8 充電保管庫

(1) 利用方法

- ① タブレット端末を学校で管理する場合は、充電保管庫に保管すること。
- ② 担任が、充電保管庫の施錠を管理し、必要時に充電保管庫から取り出して使用する。
- ③ 自分の出席番号のスペースにタブレット端末を保管すること。
- ④ 平日深夜帯（18：00～翌 06：00）に各端末が 90 分間充電される。

(2) 利用時の注意

- ① 輪番タイマー設定を変更してはいけい。タイマー設定を変更すると、ブレイカーが落ちる原因につながるため、絶対に変更してはいけい。
- ② こまめな施錠を徹底する。タブレット端末を使用しないとき、教室を離れるとき等、都度こまめに施錠を徹底して行うこと。
- ③ 充電保管庫の上に物を置いてはいけい。充電保管庫は、上部に物を置くことを想定して設計されていない。

Affairs 020-1

1 ICT支援員

(1) 配置形態

- ① 令和3年度は、全校で14名を配置する。
- ② 勤務体系は、平日午前または午後に各校1名が訪問し、業務を行う。
- ③ 勤務時間帯は、午前9:30-12:30、午後13:30-16:30。

(2) 役割

- ① タブレット端末の不良・故障時の対処またはそのサポート窓口。
- ② タブレット端末の修理完了後のセットアップまたはそのサポート窓口。
- ③ ユーザアカウントの管理方法、操作方法、および本市の使用ルールのサポート窓口。
- ④ 校務用パソコンへのアプリケーションの導入作業。
- ⑤ 校務用パソコンへのプリンタ設定作業。
- ⑥ 校務用パソコンの不良・故障等のお問い合わせ窓口。
- ⑦ ICT機器を活用した授業の準備や授業のフォロー。
- ⑧ その他ICT機器全般に関するお問い合わせ窓口。

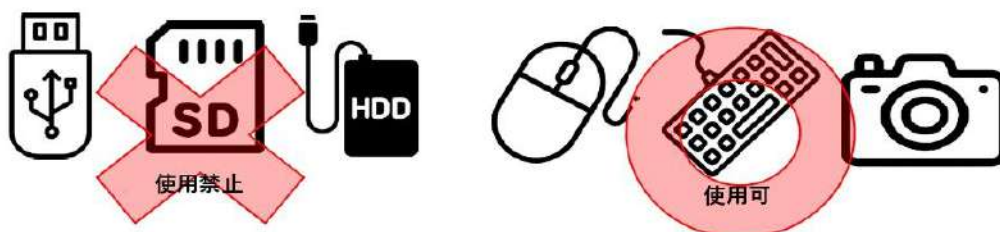
(3) 注意

タブレット端末の専門サポート担当として業務を行うが、4月から業務を行っている関係で、指導が行き渡らず、お問い合わせに対し即答できないことがある。段階的に指導を行っていくため、過度な期待は控えていただきたい。

2 校務用パソコン利用におけるの遵守事項10箇条

1. USBメモリー等の使用禁止

USBメモリー等、外部記憶媒体を校務用パソコンに接続することを禁止します。



2. 一人一アカウントを使用する

役職問わず、校務用パソコンを使用するすべての教職員に一人一アカウントを配布します。アカウントは共有せず自身のもを使用し、他人のアカウントは使用しないでください。 ※共有機は除く



3. パスワードは人目に晒さない

校務用パソコンで使用するパスワードは、他人に知られないよう人目に触れない場所で管理してください。



4. 個人情報を含むファイルは「校務内部環境」で管理する

学籍情報等個人情報を特定できるファイルを入手した際は、セキュリティレベルの高い「校務内部環境」に転送し、管理してください。

第9章 学校及び設置者等における教育の情報化に関する推進体制

1 教育委員会及び学校の管理職の役割

2 ICT支援員をはじめとする外部資源の活用

Affairs 020-2

5. 校務用パソコンを壊さない

機器を自席から持ち出す際には、落とさぬよう十分に注意して運んでください。
また、機器周辺で蓋のない飲み物を飲まないでください。
なお、故意に壊したと判断された場合の修理代は、全額自己負担となります。



6. 校務用パソコンの学校外への持ち出し禁止

校務用パソコンを学校外へ持ち出すことを禁止します。



7. 校務に関係のないインターネットの利用禁止

校務に関係のない”SNS”、”ショッピング”、”ギャンブル”等のサイトの閲覧を禁止します。



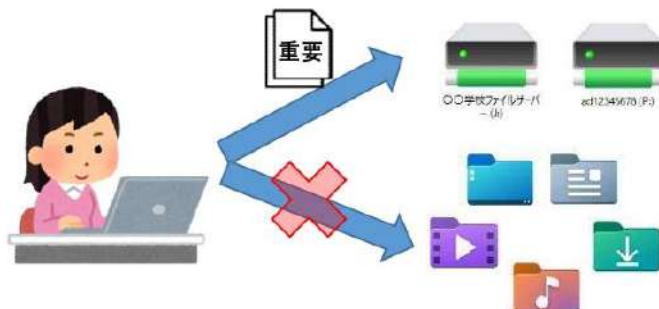
8. 私的な電子メールの利用禁止

市から配布されている以外の自身のアドレス、または校務に関係のない第三者のアドレスとのメールの受け渡しを禁止します。



9. 大切なファイルはファイルサーバーに保存する

大切な教材や資料等は、パソコン本体のストレージ（デスクトップ、ドキュメント他）には保存せず、ファイルサーバー（学校専用フォルダ、個人フォルダ他）に保存してください。



10. 機器の分解・改造の禁止

校務用パソコンを分解し、部品の取り外しや増設する行為を禁止します。



第 10 章 資料集

Reference 001-019

- 1 教員向け「教育情報セキュリティ対策の基本方針
及び対策基準にかかる諸資料

 - (1) 校内規定
 - (2) ICT環境とセキュリティの概要
 - (3) 個人情報の保護について（機密性分類表）
 - (4) 学校ホームページ及び各種便り等の情報発信並びに個人情報の取り扱いについて
 - (5) FujimiArtGallery について
 - (6) 情報セキュリティ15 箇条

- 2 児童向け「富士見丘小学校の約束」

 - (1) タブレットの約束
 - (2) 家庭利用の約束
 - (3) オンライン授業の心得

- 3 保護者向け「簡易マニュアル」

 - (1) タブレットのログインからシャットダウンまで
 - (2) Google Classroom 「Meet」の接続
 - (3) Google Classroom 「課題」等の授受・提出
 - (4) どの端末からでも「Zoom」につながる
 - (5) SkyMenu「多彩なアプリ」と「課題の受け渡し」
 - (6) くじらーニング「ドリル学習」と「先生へ連絡」
 - (7) オンライン授業スタイル
 - (8) 市民図書館電子書籍サービス

- 4 オンライン授業の試行結果アンケート

 - 第1回目
 - 第2回目

- 5 年間指導計画

 - 情報モラル プログラミング 各学年

教育情報セキュリティ対策（個人情報の保護）の「基本方針」及び「対策基準」にかかる校内規定

第1 趣旨

この規程は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（R4.3文科省）に基づき、情報セキュリティ対策の基本方針及び対策基準を定め、個人情報を保護することを主たる目的とする。

第2 校内における管理体制

校長は、保有する個人情報の保護について厳重かつ適正な管理体制を講じる。

（管理体制）

- 1 校長は、管理責任者として、学校が保有する個人情報の厳重かつ適正な管理について責任を負うとともに、個人情報の保護に関し所属教職員への指導を徹底する。
- 2 校長は、管理・運用等を補佐する管理副責任者（副校長）及び運用責任者（ICT 担当教員）を置き、組織的な管理体制を構築して厳重かつ適正な管理を遂行する。

（管理状況の点検・見直し）

- 3 校長は、個人情報の安全管理を厳格に行うため、個人情報に係る記録媒体、処理経路、保管方法等の個人情報の管理状況について、随時、点検を行う。
- 4 校長は、個人情報の安全管理に不適切な点があると思われるときには、直ちにその見直し等の適正管理のための是正措置を講ずる。

（校内研修）

- 5 校長は、教職員に対して、個人情報が児童・保護者・地域住民・教職員等の生活に直接かかわる大切な財産であることを認識させ、個人情報保護の重要性等に対する理解と遵守の徹底が図られるように、継続的に啓発するとともに、年3回以上の研修を行う。

（事故対応）

- 6 個人情報の漏えい等、安全管理上で問題となる事案が発生した場合、教職員は、直ちに校長に報告する。
- 7 校長は、当該事案が発生したことを昭島市教育委員会指導課に報告するとともに、同課と連携して速やかに事実関係を調査し、被害の拡大防止等を図るため、事案の内容、影響等に応じて、当該事案に係る本人への対応等の措置を講ずるものとする。

第3 校内における個人情報の安全管理措置

校長は、個人情報に係る紛失、盗難、漏洩、改ざん、機器・媒体の外部持ち出し等がないように次の通り必要な措置をとる。

（端末等の管理）

- 1 教職員は、貸与されたパソコン（校務パソコン、タブレット端末、iPad等）の盗難や紛失、個人情報への不正アクセスの防止のため、ワイヤーによる固定、施錠等、必要な措置を講ずる。

- 2 授業や休憩時間等の離席時には、パソコンの個人情報第三者に閲覧されることがないように、使用状況に応じて離席時ロックやシステムからのログオフを行う等、必要な措置を講ずる。
- 3 個人情報が記録された紙文書・記録媒体等を、離席時に机上等へ放置してはならない。退勤時には、個人情報が記録された紙文書・記録媒体等を、施錠できる保管庫等に保管し、施錠する。

(電子データの管理)

- 4 校務パソコンの電子データは、教育委員会管理下のファイルサーバに保存する。

(1) 個人情報を含むデータ	①機密性 S-1	【内部系ファイルサーバ】	[機密フォルダー]
	②機密性 S-2・3	〃	[内部フォルダー]
(2) 個人情報を含まないデータ	③機密性 S-4	【外部系ファイルサーバ】	[共有フォルダー]
	④機密性 S-5	〃	[公開フォルダー]
- 5 個人情報の有無にかかわらず、電子データは校務パソコンのデスクトップ等に保存しない。
- 6 タブレット端末の電子データは、教育委員会管理下のクラウドに保存する。
- 7 iPadの電子データは、学校管理下のiPad Googleアカウントのドライブに保存する。

(端末等の持ち出し)

- 8 教職員は、校長の承認を得ずに、パソコン及び記録媒体等を、外部へ持ち出してはならない。
また、個人情報が記録されているパソコン及び記録媒体等は、外部への持ち出しを一切禁じる。
- 9 校務パソコンは、いかなる場合も持ち出すことはできない。

(校長の承認)

- 10 校長は、以下の場合にパソコン及び記録媒体等の外部への持ち出しを承認することができる。
 - (1) パソコン(タブレット、iPad)の外部への持ち出し(個人情報なし)
児童の学習指導、安全確保、健康の維持上の必要のため、教職員があらかじめ処理簿により、学校のパソコンの外部持ち出しについて校長に承認を求めた場合で、使用期間、使用目的及び使用場所に支障がなく、パソコン本体に個人情報が記録されておらず、更に持ち出すパソコンが安全に使用できる環境にあることを校長が確認したとき。なお、校外においては、常に携帯する。
 - (2) 記録媒体等の外部への持ち出し(個人情報なし)
児童の学習指導、安全確保、健康の維持上の必要のため、教職員があらかじめ処理簿により、記録媒体等の外部への持ち出しについて校長に承認を求めた場合で、記録媒体等に個人情報が記録されておらず、更に記録媒体等を使用するパソコンが安全に使用できる状態にあることを校長が確認したとき。なお、校外においては、常に携帯する。
 - (3) パソコン・記憶媒体等の外部からの持ち込みは、原則、禁止とする。

(個人情報の持ち出し)

- 11 個人情報の電子記録媒体による持ち出し・メール送信は、一切禁止する。
- 12 校長は、個人情報の安全管理に関する基準の分類S-3・4に区分された紙文書(個人情報あり)に関して、使用目的、使用場所及び管理方法について文書により定めた場合に限り、外部への持ち出しについて、承認(S-3は書面申請、S-4は口頭申請)をすることができる。
- 13 持ち出す場合、紛失、盗難に細心の注意を払い、常に携帯して体から離さず、寄り道をしない。

(情報公開・発信)

- 14 校長は、毎年度当初に、(別紙3)「学校ホームページ及び各種便り等の情報発信並びに個人情報の取り扱いについて」に基づき、保護者から承諾を受ける。

- 15 学年便りを含め、情報公開・発信は、すべて校長の承認を得る。個人情報、原則、情報公開・発信を禁じる。電子メールの送受信は、学校のアカウントのみを使用する。
- 16 その他、必要に応じて、その都度、保護者から承諾を受ける。

(個人情報の廃棄)

- 17 校長は、保有する個人情報又は記録媒体等が不要となった場合には、当該個人情報の復元又は判読が不可能な方法により消去又は当該媒体等の廃棄を行う。

(個人情報の提供時の措置要求)

- 18 校長は、個人情報を教育委員会等関係機関に提供する場合には、当該提供先に対して安全確保の措置を要求し、必要があると認めるときは、実地調査等により当該措置状況を確認し、所要の改善要求等を行う。

第4 情報システムにおける技術的安全管理措置

校長は、個人情報のアクセス制限、情報システムの監視等、個人情報に対する技術的な安全管理措置を行い、盗難、紛失、不正アクセス等がないよう個人情報を適正かつ安全に管理する。

(個人情報へのアクセス制御)

- 1 校長は、個人情報の秘匿性等その内容に応じて、パスワード等（IDとパスワードによる認証、生体認証等。以下同じ。）を使用してアクセス権限を有する本人であることの識別や認証等のアクセス制御のための必要な措置をとる。
- 2 特に、個人情報の安全管理に関する基準の分類S-1 又は区分された情報については、高度なレベルのアクセス制御のための措置をとるものとする。

(個人情報S-1へのアクセス制限)

- 3 校長は、個人情報の秘匿性等その内容に応じて、個人情報S-1 へアクセスできる教職員の数を必要最小限とする。
- 4 アクセス権者が定められている場合、その権者以外の教職員は、個人情報S-1 にアクセスしてはならない。
- 5 教職員は、アクセス権限を有する場合であっても、校務の目的以外に保有個人情報にアクセスしてはならない。

(個人情報の受渡し時の対策)

- 6 校長は、移送時における紛失・盗難等による情報漏えいのリスクを防止するため、個人情報の内容に応じて暗号化等の措置をとる。
- 7 校長は、運搬、郵送、宅配便等により個人情報を授受する場合、授受簿により、教職員はその都度授受の内容を正確に確認する。

第5 委託に伴う措置

校長は、個人情報の取扱いに係る事務を外部に委託する契約等の締結に当たっては、その範囲を明らかにし、適切な監督を行う。この場合、氏名等の個人が特定されない調査や作品等を含む。

(適切な委託先の選定)

- 1 校長は、委託先の選定に当たり、個人情報の適切な管理を行う能力を有しない者を選定することがないように、必要な調査を行う。

(監督)

- 2 校長は、個人情報の管理状況、事故発生時における報告、従事者に対する教育・研修等の必要事項を具体的に明記し、受託者等に個人情報保護について責務を課し、その内容が遵守されているかを履行中に監督する。

(再委託の禁止)

- 3 再委託については、原則として禁止する。ただし、再委託を認める場合は、校長は、個人情報取扱いの態様について実施機関が十分管理できるよう、再委託の内容及び再委託先等について、実施機関の承諾をあらかじめ求める等の適切な再委託先を選定するのに必要な措置をとり、その旨を具体的に契約書等に明記する。

(廃棄等の確認)

- 4 校長は、委託により個人情報の消去、廃棄を行う場合は、教職員が立会う等必ず最終的な確認を行う。

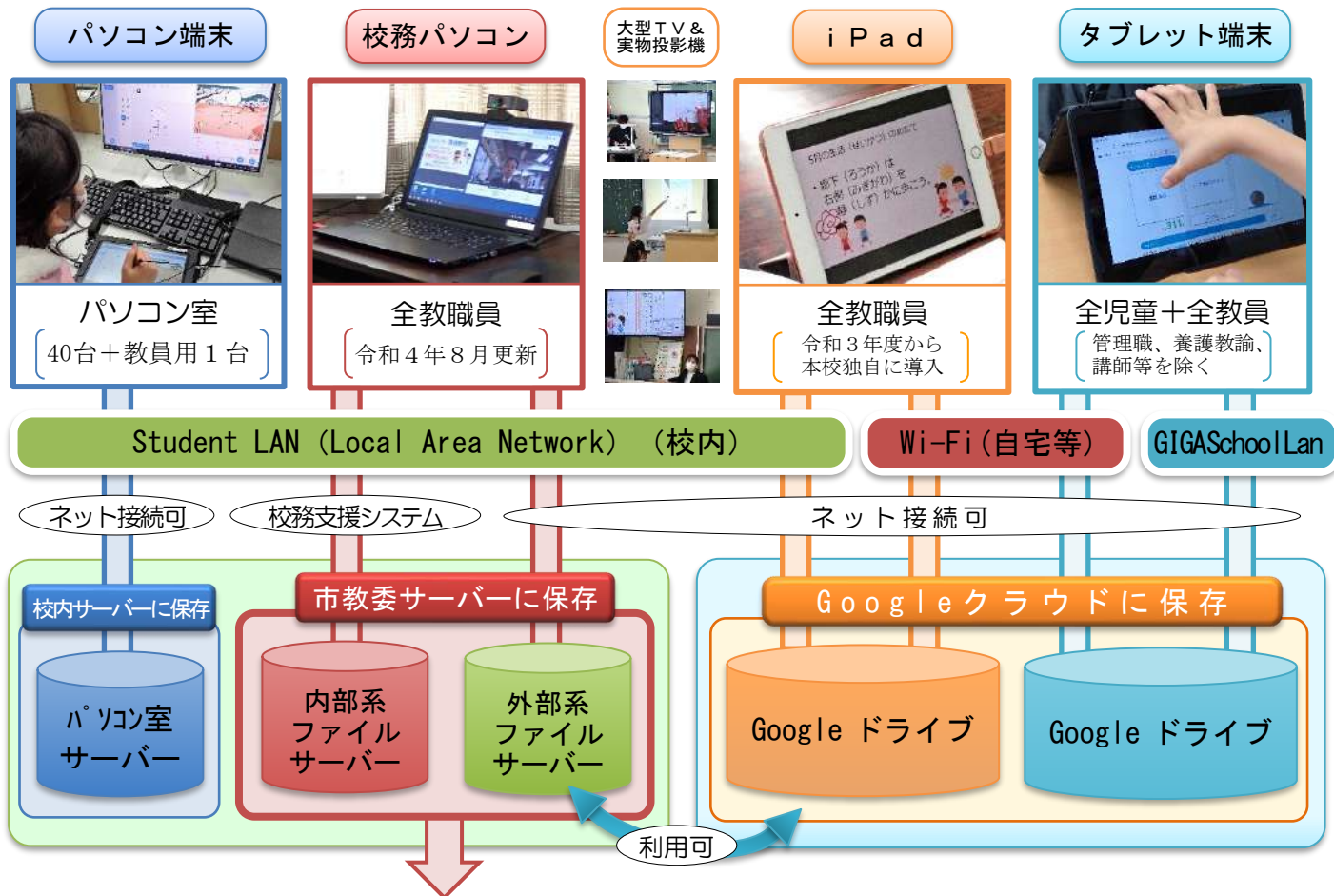
第6 その他

校長は、保有個人情報に関して電子的処理を行う場合、その取扱いについて、本規程とともに、以下の関係法令、諸規程を遵守し、保有個人情報の保護に万全を期すものとする。

- 1 文部科学省が定めるガイドライン
 - (1) 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
- 2 昭島市教育委員会が定めるガイドライン等
 - (1) 学習用タブレット端末及び学習用ネットワーク等の利用に関するガイドライン
 - (2) タブレット端末運用ガイドライン
 - (3) アカウント運用ガイドライン
 - (4) 学習用タブレット端末運用ガイドブック＜教職員用＞
- 3 校内で定めたガイドライン等
 - (1) 別紙1 富士見丘小学校のICT環境とセキュリティの概要（イメージ図）
 - (2) 別紙2 学校における個人情報の保護について（機密性分類表）
 - (3) 別紙3 学校ホームページ及び各種便り等の情報発信並びに個人情報の取り扱いについて
 - (4) 別紙4 各種申請書等（個人持ちUSBの使用許可・許諾、個人情報の持出処理簿）
 - (5) 別紙5 個人情報の取扱い等に関する留意事項「個人情報保護十七箇条」

富士見丘小学校の【個人情報の安全管理に関する基準】（電子データ・紙文書）

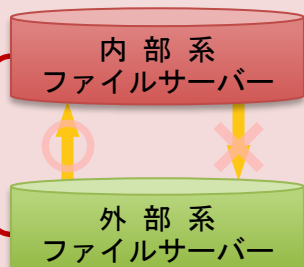
保管場所	機密性	管理方法	基 準	具 体 例
内部系 ファイル サーバー	S-1 校内でも アクセス 権を制限	持出し 絶対禁止 ■校内でも 機密扱い 【機密】	原則として、生徒の 障害の程度、事件・ 事故、指導記録、保 護者の収入等の情報 など、プライバシー 性が高い情報並びに 指導要録や成績一覧 表など児童・生徒の 情報が高度に集積し ている帳票や電子デ ータなど（例外を除 き、外部に出さない 類のもの）	学籍関係【機密】 ■指導要録 ■要・準要保護認定台帳 成績関係【機密】 ■評定一覧表 ■成績 ■テスト等素点表 ■所見・メモ ■QU・体力調査・アンケート調査 指導関係【機密】 ■事故報告書・記録簿 ■保護者対応 ■児童指導・特別指導等記録・メモ 健康関係【機密】 ■健康診断に関する表簿・歯の検査表
	S-2 校内の 誰もが アクセス できる	持出し 絶対禁止 ◇職員室内 で共有 ＜内部＞		学籍関係＜内部＞ ◇出席簿 ◇卒業証書授与台帳 ◇転入学簿 ◇教科書給付 ◇進級・卒業判定会議録・会議資料 成績関係＜内部＞ ◇週ごとの指導計画 指導関係＜内部＞ ◇児童の個人写真 ◇卒業生進路先一覧等 ◇願書等 ◇進路希望調査 ◇進路指導記録簿
	S-3 校内の 誰もが アクセス できる	校長の 承認が必要 ●書面で ＜内部＞		学籍関係＜内部＞ ●通知表「あゆみ」 ●テスト答案用紙 指導関係＜内部＞ ●指導カード、生徒理解カード ●教育相談・面接記録等 ●学校生活支援シート ●個別指導計画 ●調査書 ●推薦書
外部系 ファイル サーバー	S-4 クラウド可	○口頭で 【共有】	学校外においても一 定存在する情報	その他【共有】 ○健康保険証の写し ○緊急連絡先 ○児童名表 ○住所録・電話連絡網 ○児童作品・作文・感想文等
	S-5 クラウド可	・承認 （公開）		その他（公開） ・教材 ・ワークシート ・年間指導計画 ・授業改善推進プラン ・通信 ・通知文



校務サーバーに保存

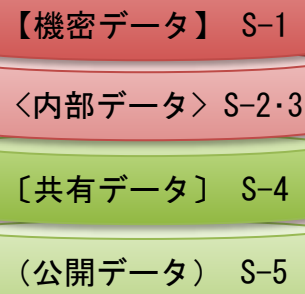
8 月より 2 系統に分離

本校の機密性 4 分類

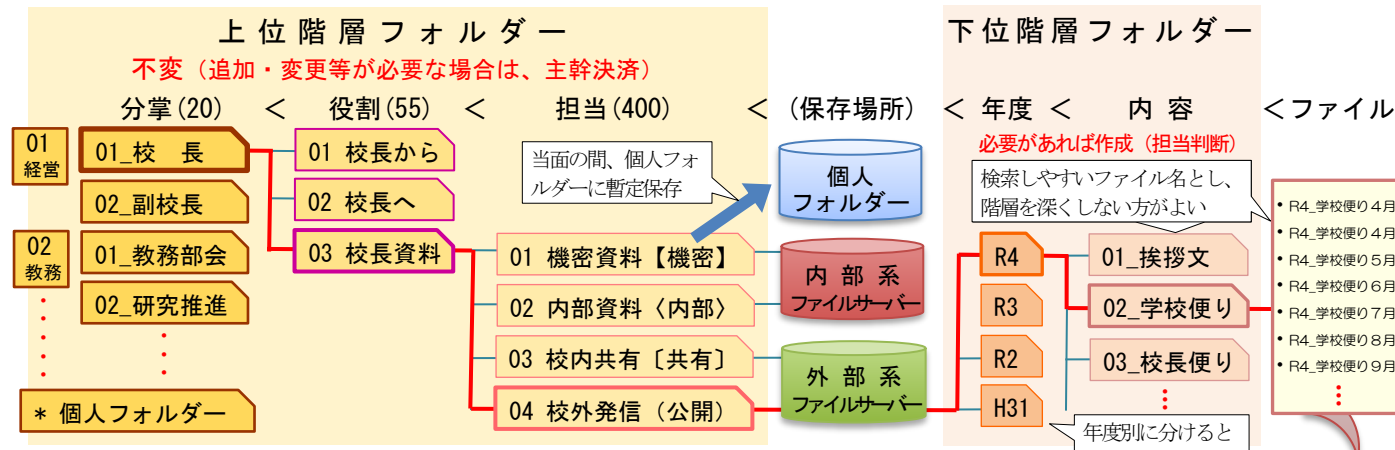


個人情報可 インターネット接続不可
校務支援システム利用可
外部系ファイルサーバーへの移動不可
職員室内のみ利用可

個人情報不可 インターネット接続可
Google アカウント利用可
内部系ファイルサーバーへの移動可
校内で利用可



本校のフォルダー階層



ファイル名ルール (原則)

R4_学校だより 4 月号巻頭言_20220406_決定

和暦年度を半角数字_ファイル名_必要があれば作成日付_必要があれば検討段階等

学校における個人情報の保護について

教職員による個人情報の紛失や流出、盗難、漏洩、改ざん等が絶えない中...

児童1人1台のタブレット、1人1アカウント、クラウドアプリの活用など、教育を取り巻く情報ネットワーク環境の劇的な進展にともない、現行の**情報セキュリティポリシー**を **GIGA スクール構想に適した**ものに改訂し、環境に適したセキュリティ対策を一層徹底するとともに、それを扱う教職員の高度な情報処理・管理能力を養うことが緊急課題である。

【情報セキュリティ対策基準】（電子データの機密性分類）

分類	取扱ルール	具 体 例
機密性 A	原則、 持出し禁止	○住民に関する情報すべて（生活歴、心身の状況、所得、電話番号、メールアドレス、住所、氏名、生年月日、性別等の基本情報を含む）
	※書面による 校長の許可 が必要	○職員に関する情報で、職員の任用、退職、給与、分限、懲戒、健康管理等に関する情報
	※ただし S-1 は持出しは 絶対禁止	○訴訟、審査請求等に関する情報
		○予算見積書及び関係ファイル
		○プレス発表前その他公開前の情報
機密性 B	持出す場合、 校長の承認を 得る。	○内部通達、通知、事務連絡等の ファイル
		○事案決定手続きを経っていない 企画・検討段階のファイル
		○既存事業、経常的業務に関する 事務手順、実績等情報
		○調査照会、回答文書等に関する ファイル
		○公開前会議資料情報
機密性 C		○その他一般公文書ファイル
		○学校の組織機構図、組織の電話 番号情報
		○条例、規則、規定、訓令などの ファイル

大 原 則

- ① 個人情報に関わらず「機密性A・B(S-1～3)」は「内部系サーバー」のみに保存する。
- ② 個人情報を含まない「機密性B・C(S-4～5)」は、「外部系サーバー」に保存できる。
- ③ 全てのデータは、上記サーバーのみに保存し、**デスクトップや外部媒体には保存しない**。
- ④ ホームページに公開する「機密性C(S-5)」は、上記に抛らず、市のサーバーを介してインターネットに出せる。児童の写真は、個人が推測できない程度まで画素数を下げる。

富士見丘小学校の【個人情報安全管理に関する基準】（電子データ・紙文書）

保管場所	分類	管理方法	基 準	具 体 例
内部系 ファイル サーバー	S-1	持出し 絶対禁止	原則として、生徒の 障害の程度、事件・ 事故、指導記録、保 護者の収入等の情 報など、プライバシー 性が高い情報並 びに指導要録や成 績一覧表など児 童・生徒の情報が高 度に集積している 帳票や電子データ など（例外を除き、 外部に出さない類 のもの）	■指導要録 ■評定一覧表 ■成績 ■テスト等素点表 ■所見・メモ ■事故報告書・記録簿 ■保護者対応 ■児童指導・特別指導等記録・メモ ■Q・U・体力調査・アンケート調査 ■要・準要保護認定台帳 ■スナップ ◇週ごとの指導計画 ◇出席簿 ◇卒業証書授与台帳 ◇転入学簿 ◇教科書給付 ◇進級・卒業判定会議録・会議資料 ◇児童の個人写真 ◇卒業生進路先一覧等 ◇願書等 ◇進路希望調査 ◇進路指導記録簿 ◇健康診断に関する表簿・歯の検査表
		校長の 承認が必要 ●書面で ＜内部＞	個別的な情報で、随 時・継続的に作成 し、蓄積が必要な帳 票や電子データ、記 入済みの答案用紙 など（保護者等に渡 したり、見せたりで きる類のもの）	●通知表「あゆみ」 ●テスト答案用紙 ●指導カード、生徒理解カード ●児童・生徒等健康調査票 ●教育相談・面接記録等 ●学校生活支援シート（個別の教育支援計画） ●個別指導計画 ●調査書 ●推薦書 ○健康保険証の写し ○児童名表 ○住所録・電話連絡網 ○緊急連絡先 ○生徒作品・作文・感想文・レポート等
	S-2	持出し 絶対禁止 ◇職員室内 で共有 ＜内部＞	学校外においても 一定存在する情報	・教材・ワークシート ・年間指導計画 ・授業改善推進プラン ・通信・通知文
	S-3	校長の 承認が必要 ●書面で ＜内部＞	学校外においても 一定存在する情報	
	S-4	口頭で 〔共有〕	学校外においても 一定存在する情報	
外部系 ファイル サーバー	S-5	承認 （公開）	学校外においても 一定存在する情報	

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也**学校ホームページ及び各種便りなどの情報発信や個人情報の取扱いについて（お願い）**

春暖の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、保護者・地域等の皆様に、日頃の教育活動の様子をより一層知っていただこうと、学校ホームページの公開、各種便りなどの発行をしております。また、令和 2 年度より、学校ホームページ上にも日々の教育活動の様子をブログ形式で掲載しています。

つきましては、情報発信や個人情報の取扱いなどについて以下の通り考えておりますので、御理解の上、別紙にてご回答願います（年度ごとに、再確認させていただきます）。

記**1 個人情報について**

「個人情報」とは、個人に関する情報（特定の個人を識別することができるもの）のことで、昭島市個人情報保護条例等において、個人に関する情報の取扱いについての基本的事項が定められており、個人の権利利益の保護が図られています。本校においても当該条例等を遵守し、個人情報を保護してまいります。

2 情報発信とその範囲について**（1）学校ホームページの情報発信とその範囲について ※ 発信範囲が不特定となります**

学校ホームページは、不特定多数への情報公開となるため、個人情報は発信しません。

学校ホームページへの児童等にかかわる情報発信とその範囲は、次の定めによる。

- 1 特定の個人を識別することができる情報は、すべて発信しない。
例・氏名、住所、電話番号、生年月日、性別、国籍、本籍、思想、学歴、家庭状況等
- 2 特定の個人を識別することができない情報は、次の範囲で発信できる。
 - ① 写真 児童の写真を使う場合は、集合写真とし、個人が特定できないものとする。
 - ② 作品等 児童の作品や作文等は、個人が特定できない場合でも、保護者の承諾を得る。

（2）各種便り等の情報掲載とその範囲について ※ 配布範囲が限定されます

配布する範囲が特定・限定されている各種便りなどに関しては、氏名や写真、作品等の掲載について、教育上必要な範囲で許可をいただきますようお願い申し上げます。

各種便り等への児童等にかかわる情報の掲載とその範囲は、次の定めによる。

- 1 特定の個人を識別することができる情報は、すべて掲載しない。
例・住所、電話番号、生年月日、性別、国籍、本籍、思想、学歴、家庭状況等
- 2 ただし、校長が教育上必要と認めた場合に限り、次の範囲で掲載できる。
 - ① 氏名 ② 個人写真・集合写真 ③ 個人の作品等（学習成果物、感想文、意見など）
- 3 各種便り等とは、次の類のものをいう。
 - ① 学校・学年・学級・保健便りなど、保護者向けに発行する便り
 - ② 学校案内・学校要覧など、保護者・地域向けに発行する冊子や広報資料

4 回答について

上記について下の回答用紙に御記入の上、令和 4 年 4 月 1 日（月）までに、担任へご提出願います。

..... 切り取り線

昭島市立富士見丘小学校長 稲垣 達也 様

富士見丘小学校ホームページ及び各種便りなどの情報発信や個人情報の取扱いについて（回答）

上記の学校の方針について、以下の記入事項を除き、承諾します。

ただし、以下の事項については、承諾しません。（承諾しない事項がある場合のみ記入）

令和 4 年 4 月 日

____年____組 児童氏名_____ 保護者氏名_____

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

「Fujimi Art Gallery Web」の開設について（お願い）

厳寒の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、学校ホームページにて日々の教育活動の様子を紹介しております。また、今年度からは、校内に設置した「FUJIMI ART GALLERY」の様子を、パスワード設定による保護者限定ページを開設して、児童の作品掲載を開始しています。

つきましては、個人情報保護の観点から、下記の事項をご確認の上、ご入学するお子さんの作品の掲載の可否について、別紙にて、令和 4 年 4 月 11 日（月）に担任へご提出いただきますようお願い申し上げます。

記

1 「FUJIMI ART GALLERY」とは

今年度から、北校舎と南校舎の通路に設置したものです。図工の平面作品を紹介しています。



2 「Fujimi Art Gallery Web」における情報発信とその範囲について

※ 以下のすべての要件を満たす範囲内でのみ公開する。

- (1) 公開条件 … 保護者の承諾を得る（承諾を得られた児童の作品のみを公開）。
教育上、公開することが有用と考えられるもの（児童の意欲・達成感が高まるなど）
- (2) 公開範囲 … I D・パスワードを設定し、本校の保護者・教職員に限定
- (3) 掲載内容 … 廊下等に日常的に展示している作品の写真（児童が自分で撮影します）
- (4) 閲覧方法 … 後日、学校から通知される I D・パスワードでアクセスする。
全員の作品をスライドショーや、個人の作品を拡大したりして閲覧できる。

3 表示される名前の変更について

1人1台タブレットには、あらかじめ名前が「ひらがな」で設定されており、作品の写真とともにWeb上にも表示されます（写真だけを掲載することはできません）。ただし、ご家庭により特別の事情がある場合は、表示される名前を変更することができますので、下記により申し出ください。

Web上に表示されるイメージ→



..... 切り取り線

昭島市立富士見丘小学校長 稲垣 達也 様

富士見丘小学校 「Fujimi Art Gallery Web」への掲載について（回答）

上記の学校の方針に基づく範囲内で、

（下記のいずれかを○で囲んでください）

- | | | |
|--------------------------|--|----------------------------|
| 1 作品・ひらがな氏名の
載を承諾します。 | 2 ひらがな氏名を変更した上で、
作品・ひらがな氏名の掲載を
承諾します。
(変更後の氏名) | 3 作品・ひらがな氏名の
掲載を承諾しません。 |
|--------------------------|--|----------------------------|

令和 4 年 4 月 日

__年__組 児童氏名_____ 保護者氏名（自筆）_____

教育情報セキュリティ 十七箇条

【端末等の日常的な管理】

- ① 職員室や教室等の机上整理に努め、書類や児童作品・プリント等の紛失、漏洩を防止します。
- ② 児童の作品・テスト・プリント等は、一言添えるか検印をして、速やかに返却します。
- ③ 離席時は、パソコンを電子ロック（保護）やログオフし、紙文書等は机上に放置しません。
退勤時には、パソコンや記録媒体等をワイヤーによる固定や保管庫で施錠します。
- ④ 校務パソコンは、いかなる場合も校外への持ち出しを禁じます。
タブレットとiPadは、校長の承認を得て、校外へ持ち出すことができます。
- ⑤ 勤務時間中の携帯電話等の使用、その他のデバイス、記録装置等の持ち込みを禁じます。

【電子データの管理】

- ⑥ 校務パソコンのデータは、機密性に応じて、内部・外部系サーバに分類して保存します。
タブレットのデータは、Google Driveに保存し、個人情報の保存は禁じます。
iPadのデータは、iPad内、iCloud、Google Driveに保存し、個人情報の保存は禁じます。
- ⑦ 個人情報の秘匿性等に依りて、【機密】S-1へアクセスできる職員を制限します。
アクセス権限を有する場合でも、校務の目的以外に個人情報へのアクセスを禁じます。
- ⑧ 自己申告書などの個人情報は、本人のみがアクセスできる個人フォルダーに保存します。

【個人情報の持ち出し】

- ⑨ 個人情報を含む電子データのメール送信、電子記録媒体の校外への持ち出しを禁じます。
- ⑩ 個人情報S-1・2を含む紙文書は、原則、校外への持ち出しを禁じます。
個人情報S-3・4を含む紙文書は、校長の承認を得て、校外へ持ち出すことができます。
持ち出す場合、紛失等に細心の注意を払い、常に体から離さず携行して、寄り道をしません。
- ⑪ 児童の個人写真や氏名、住所などの個人情報は、原則、公開・発信を禁じます。
- ⑫ 学校ホームページによる公開、学年通信や通知文等の発信は、すべて校長の承認が必要です。
児童写真や作品等の公開は、毎年度かつ必要に依りて、保護者の承諾が必要です（別紙3）。
- ⑬ 電子メールの送受信は、校務パソコンを用いて、学校の公式アカウントのみを使用します。
- ⑭ 児童・保護者・卒業生等と、LINE等のSNS、タブレットによる個人的な利用を禁じます。

【個人情報の受け渡し時の対策】

- ⑮ 移送時における情報漏えい等のリスク防止のため、電子データは暗号化等の措置を講じます。
- ⑯ 運搬、郵送等により個人情報を受け渡しする場合は、正確に確認し、授受簿に記録します。
- ⑰ 児童の卒業や職員の異動等で不要になった個人情報は、速やかに破棄します。
健康調査票、個別指導計画等は、転出時・卒業時に、保護者に返却します。

タブレットの約束



タブレットは、^{あきしまし}昭島市から^かお借りしている大切なものです。

^{せんせい}先生のお話^{はなし}をよく^き聞いて、^{ただ}正しい^{つか}使い方を^{かた}しましょう。

【正しい使い方】



- ① タブレットは、^{がくしゅう}学習するために^{つか}使います。
- ② タブレットは、^{ただ}正しい^{しせい}姿勢で^{つか}使います。
- ③ タブレットは、^{つか}ていねいに使います。
- ④ タブレットは、^き決められた^{じかん}時間・^{ばしょ}場所で^{つか}使います。
- ⑤ タブレットは、^{じぶん}自分だけが^{つか}使います。



【間違った使い方】

- ⑥ ^{せんせい}先生に^い言われたこと^{いがい}以外の^{そうさ}操作をする。
- ⑦ パスワードを、^{ほか}他の^{ひと}人に^{おし}教えたり、^か書いたり、
^み見える^{ところ}所に^は貼ったりする。
- ⑧ タブレットに、^{ほか}他の^いアプリを^は入れたり、^{ほか}他の^き機器を
^つつなげたり、^{せってい}設定を^{へんこう}変更したりする。
- ⑨ ^{ほか}他の^{ひと}人に^{いや}嫌な^{おも}思いを^かさせることを^こ書き込む。
- ⑩ ^{こじんじょうほう}個人情報（^{なまえ}名前、^{じゅうしょ}住所、^{でんわ}電話、^{かおじゃしんなど}顔写真等）を^{はつしん}発信する。



【安全・安心な使い方】

- ⑪ ^め目や^{からだ}体が^{つか}疲れたら、^やすぐに^{せんせい}止めて、^い先生に言います。
- ⑫ ^{こま}困ったことがあったら、^{せんせい}すぐに^{そうだん}先生に相談します。



◆ ^{やくそく}約束を^{まも}守れない場合は、^{ばあい}タブレットが^{つか}使えなくなります（^{こうちょうせんせい}校長先生が^{あず}預かります）。

「タブレットの約束」

「タブレットは、昭島市からお借りしている大切なものです。」
「先生のお話をよく聞いて、正しい使い方をしましょう。」

肝は、この2点です。児童の発達段階に応じて「間違った使い方」「安全・安心な使い方」とともに、**「正しい使い方」を適切に指導する**ことで、Smart tool の真価を発揮させてください。

また、このような日常の正しい使い方を通して、**情報モラル教育**の「情報社会において、適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度」を培うことにもなります。

【正しい使い方】

- ① タブレットは、学習するために使います。
→ 学校の授業や学習に関連することのみに利用します。個人の趣味や遊びには使いません。
- ② タブレットは、正しい姿勢で使います。
→ 本を読んだり、ノートを書いたりするときと同じ姿勢です。
画面に顔を近づけないようにします。目から30 cmは離します。

- ③ タブレットは、ていねいに使います。
→ 落としたら壊れます。テントスタイルで机に置くときは、中央に置くようにします。
画面はすぐ割れます。移動するときは、必ず画面を閉じて、両手で持ち運びます。
- ④ タブレットは、決められた時間・場所で使います。
→ 学校では、先生が指示した時間（授業等）と場所で使います。
家庭でも、学校のルールに基づいて、使用時間や使用ルールを決めて使います。
- ⑤ タブレットは、自分だけが使います。
→ 特別の指示がない限り、自分以外の人が使うことはできません（家族も使えません）。

【間違った使い方】

- ⑥ 先生に言われたこと以外の操作をする。
→ 先生や友達が発言している時は、タブレットを操作せず、手を離します。
(耳で聞きながら、目で黒板とタブレットを追いつつ操作することは困難)

- ⑦ パスワードを、他の人に教えたり、書いたり、見える所に貼ったりする。
→ **情報セキュリティの基本**です。パスワードは入学して最初の授業で暗記します。
- ⑧ タブレットに、他のアプリを入れたり、他の機器をつなげたり、設定を変更したりする。
→ **昭島市のルールの遵守**です。USBなどの記録媒体も、絶対に接続しません。
- ⑨ 他の人に嫌な思いをさせることを書き込む。
→ SNSなど**発信する情報に関する自他の権利や影響**について理解し、尊重します。
- ⑩ 個人情報（名前、住所、電話、顔写真等）を発信する。
→ **法の理解と遵守**が大切です。ネットに流出した情報は、2度と回収できません。

【安全・安心な使い方】

- ⑪ 目や体が疲れたら、すぐに止めて、先生に言います。
→ **安全や健康を害するような使い方を自分で抑制**できるようにします。
- ⑫ 困ったことがあったら、すぐに先生に相談します。
→ **不適切な情報や危険に出会ったときは、大人に助けを求め、適切に対応できるようにします。**

- ◆ 約束を守れない場合は、タブレットが使えなくなります（校長先生が預かります）。
→ Smart tool を諸刃の剣にしないために「**ならぬことはならぬものです**」を徹底します。

家庭利用の約束

タブレットをお家で利用するときは、「タブレットの約束」とともに、次のルールを守って、正しい使い方をします。

【保護者の責任】

- 
- 
- 
- ① タブレットを、ご家庭で使用する場合は、昭島市教育委員会のルール等を遵守するとともに、以下により、保護者の責任で管理・監督します。
 - ② タブレットは、常に保護者が保管し、お子さんが使用する時に、その都度、渡します。
 - ③ Wi-Fi ルータへの接続は、その都度、保護者が行います。
 - ④ お子さんと一緒に「SNS 家庭ルール」等を定め、お子さんが主体的に、正しく使えるようにします。
 - ⑤ 過失や故意によるタブレットの破損や盗難、紛失等が生じないように万全を期してください。

【家庭での使い方】

- 
- ⑥ 原則、保護者の監督下で使用します。但し、保護者の判断で児童だけの使用も可とします。使用時間は次の通り。
保護者が監督できる（保護者が在宅）場合
保護者が定めた時間 但し、就寝1時間前まで
児童だけで使用する（保護者が不在）場合
学校がない日 8時～16時
学校がある日 16時～18時
 - ⑦ 使用する機能は、原則、次の5つに限定します。
「Sky Menu」「G Suite」「くじらーニング」
「デジタル教科書」「教科書のQRコード」
 - ⑧ 先生の指示や保護者の監督下で使用する場合は、
「NHK for School」「Yahoo!きっず」「プログラミングツール」なども利用できます。
 - ⑨ チャットやSNS、動画共有サイトへの投稿など、ネットへの情報発信は一切禁止します。（上記⑦を除く）

「家庭利用の約束」

タブレットをお家で利用するときは、「タブレットの約束」と、次のルールを守って、正しい使い方をします。

持ち帰ったタブレットは、個人のものではなく、公共財産ですので、自由に使用できるものではありません。下記の通り、使用時間や使用内容等についても、厳格に制限させていただきます。

【保護者の責任】

- ① タブレットを、ご家庭で使用する場合は、昭島市教育委員会のルール等を遵守するとともに、以下により、保護者の責任で管理・監督します。
 - 昭島っ子のための「家庭でのタブレット活用のルール」(昭島市教育委員会)が、大原則です。ご家庭では、保護者の皆様にタブレットの管理及びお子さんの利用に際しての監督をお願いします。
- ② タブレットは、常に保護者が保管し、お子さんが使用する時に、その都度、渡します。
 - ご家庭に持ち帰ったタブレットは、まず保護者が預かり、保護者の管理下に置きます。お子さんが使用する時に渡します。保護者の判断で、保護者が不在になる前に渡しても結構です。
- ③ Wi-Fi ルータへの接続は、その都度、保護者が行います。
 - タブレット自体に、学校で使用する時と同様のフィルタリングがかかっていますが、不安要因をすべては排除できませんので、お子さんが危険に巻き込まれないように、その都度の接続を推奨します。ネットに接続しなくても、写真撮影やスライドなど、実施できる機能も一部あります。
- ④ お子さんと一緒に「SNS 家庭ルール」等を定め、お子さんが主体的に、正しく使えるようにします。
 - タブレットの持ち帰りいかに関わらず、学校でも「SNSルール」を学んでいます。ご家庭のルールは、各家庭のお考えや環境等に応じて、お子さんと話し合って決めてください。
- ⑤ 過失や故意によるタブレットの破損や盗難、紛失等が生じないように万全を期してください。
 - 昭島市教育委員会一括して保険に加入していますが、重大な過失や故意による場合は、保険は適用されません。十分気を付けてください。

【家庭での使い方】

- ⑥ 原則、保護者の監督下で使用します。但し、保護者の判断で児童だけの使用も可とします。使用時間は次の通り。

保護者が監督できる(保護者が在宅)場合	保護者が定めた時間	但し、就寝1時間前まで
児童だけで使用する(保護者が不在)場合	学校がない日	8時～16時
	学校がある日	16時～18時

 - 但し、ご家庭により状況が異なりますので、保護者の判断で多少前後しても構いません。
- ⑦ 使用する機能は、原則、次の5つに限定します。
 - 「Sky Menu」「G Suite」「くじらーニング」「デジタル教科書」「教科書のQRコード」
 - 学校では、学年の段階により各機能を使用していますので、お子さんが使用(操作)できる機能も学年により異なります。
- ⑧ 先生の指示や保護者の監督下で使用する場合は、
 - 「NHK for School」「Yahoo!きっず」「プログラミングツール」なども利用できます。
 - このほかカメラ機能やスライド等の他、様々なアプリ等もありますので、その都度、指示を出します。
- ⑨ チャットやSNS、動画共有サイトへの投稿など、ネットへの情報発信は一切禁止します。(上記⑦を除く)
 - 氏名や写真等の個人情報のもとより、ネットへの発信は、犯罪に巻き込まれる極めて危険な行為です。

オンライン授業の心得

【授業の準備】



- ① 充電を済ませ、教科書・ノート、必要な準備をしましょう。
- ② 学校と同じように、静かに学習できる環境をつくりましょう。
- ③ 兄弟が同時に授業の場合は、離れた場所をお願いします。
- ④ 5分前から参加するようにします。早すぎるとつながりません。
- ⑤ マイクはOFF (Mute)  にして、ハウリングしないようにします。
- ⑥ ビデオはON (Video)  にして、自分の顔が見えるようにします。
- ⑦ 自分の周りに映ってしまう、家の中の背景にも気を付けましょう。



【オンライン授業中】

- ⑧ お話をしている人だけを、画面いっぱい大きく映します。 
- ⑨ Meet は「スポットライト」、Zoom は「Speaker View」 
(複数画面にすると、気が散漫になったり、データ量も多くなり回線が重くなったりします。)
- ⑩ 先生に手元を見せる時は、カメラの背景をもどします。
- ⑪ 話す時は、手をあげて  ミュートを解除  します。
- ⑫ 声ははっきりと、ジェスチャーを交えて答えましょう。
- ⑬ 話を聞く時は、相手の話が伝わっていることを伝えるために、
笑顔でうなずきながら聞くなど、反応を大きくしましょう。
- ⑭ ていねいな言葉で話しましょう（～です。～ます。～さん。）。 
- ⑮ 子供同士で授業以外のメッセージのやり取りはしません。
- ⑯ 先生の指示があった場合や、授業が終了したら必ず退出します。



「オンライン授業の心得」

タブレットは、学校の授業等で活用する『**学校の教育機器**』です。
家庭においても、『**児童**』のみが、学校が指示した『**学習**』のみに、使用できます。

オンライン授業は、学校の授業と同じです。先生の指示に従うことはもちろん、いつもの授業と同じように、学習環境を整え、ルールやマナーを守って、学習に取り組みます。

また、家庭に持ち帰った時に、私物のタブレットのように（ネット検索をしたり、動画サイトを閲覧したり、SNSに発信するなどの）**個人的な使い方をすることは一切できません。**

【オンライン授業の準備】

- ① 充電を済ませ、教科書・ノート、必要な準備をしましょう。
→ 学校のチャイム着席と同じように、時間前に、準備を終えるようにします。
- ② 学校と同じように、静かに学習できる環境をつくりましょう。
兄弟が同時に授業の場合は、離れた場所をお願いします。
→ 家庭でも、テレビや音楽を消すことはもちろん、できるだけ静かな場所を確保します。
同じ部屋で2人以上が授業を始めると、音声が交差してお互いに混乱します。
- ③ 5分前から参加するようにします。早すぎるとつながりません。
→ 接続できるタイミングは前後します。トラブルがあると大幅に遅れることもあります。
- ④ マイクはOFF (Mute) にして、ハウリングしないようにします。
→ 自分が発言する時以外は、マイクは必ずオフにします。
何人かが同時に話すことはできません。みんなが聞きやすくする工夫が必要です。
- ⑤ ビデオはON (Video) にして、自分の顔が見えるようにします。
自分の周りに映ってしまう、家の中の背景にも気を付けましょう。
→ 学校の授業と同じですので、常に先生が全員を確認できるようにします。
ただし、自宅の部屋の様子や家族など、個人情報映らない工夫も必要です。

【オンライン授業中】

- ⑥ お話をしている人だけを、画面いっぱい大きく映します。
→ Meet は「スポットライト」、Zoom は「Speaker View」にします。
複数画面にすると気が散漫になったり、データ量が多く回線が重くなったりします。
- ⑦ 先生に手元を見せる時は、カメラの背景をもどします。
→ 背景の設定をしたままだと、自分の手元やノートを写すことが困難です。
- ⑧ 話す時は、手をあげて、ミュートを解除します。
声は、はっきりと、ジェスチャーを交えて答えましょう。
→ オンラインの会話は、対面で話す時よりも、コミュニケーションが取りづらくなります。
- ⑨ 話を聞く時は、相手の話が伝わっていることを伝えるために、笑顔でうなずきながら聞くなど、反応を大きくしましょう。
→ 大げさにうなづいたり、自分の意思を動作で伝えることが大切です。
- ⑩ ていねいな言葉で話しましょう。（～です。～ます。～さん。）
→ 相手意識が薄れて、言葉が乱暴にならないように、気を付ける必要があります。
- ⑪ 子供同士で授業以外のメッセージのやり取りはしません。
→ 授業以外でオンラインやメッセージ（伝言）等を発信、交わすことは厳禁です。
- ⑫ 先生の指示があった場合や、授業が終了したら必ず退出します。
→ 授業以外で使用することができないため、必ず退出して、使用できないようにします。

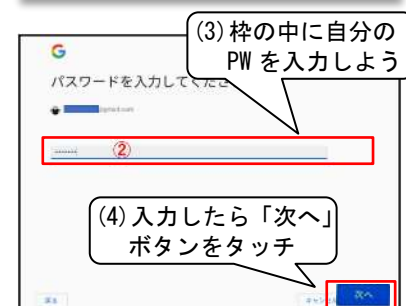
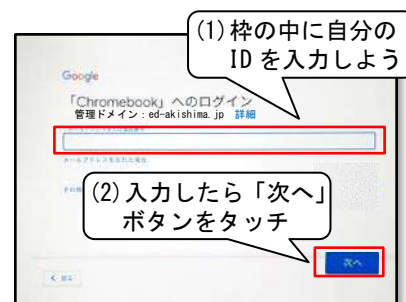
◆ 約束を守れない場合は、タブレットが使えなくなります（校長先生が預かります）。

→ Smart tool を諸刃の剣にしないために「**ならぬことはならぬものです**」を徹底します。

タブレット Chromebook への「ログイン」から「シャットダウン」まで

1 タブレットにログイン ～ 大切な情報を入力する ～

- (1) タブレットを開く。→ ネットに接続されるまで待つ。
あちこち押したり、触ったりしない。
- (2) (初回のみ)
アカウント名 (ID) を入力する。
→ 画面表示「s*****」
入力したら「次へ」を押す。
- (3) (毎回)
パスワードを入力する。
→ 画面表示「*****」
- (4) (初回のみ) 確認画面「新しいアカウントへ ようこそ」
が出てきたら「同意する」ボタンをタッチして、起動完了。



2 Wi-Fi に接続 ～ 保護者の方にお願いしよう ～

- (1) (初回のみ) 上記1の操作後、「No internet」と表示されたら、「インターネットに接続されていません」ということです。
- (2) 画面右下のメニュー表示をクリックする。
- (3) 「未接続」の横の▼をクリックする。
- (4) 受信範囲のWi-Fiの一覧が出てくるので、**ご自宅のWi-Fiを選択する。**
- (5) ご自宅のWi-Fiのパスワードを入力して、「未接続」の表示が変われば接続完了。



※ つながらなかったり、時間がかかったり…、その時は、一度、タブレットを閉じてやり直してみましょう。

3 ログアウト・シャットダウン ～ 必ず電源を切る ～

- (1) メニュー表示をクリックする。
- (2) 「シャットダウン」のアイコン  をクリックする。
- (3) 画面が暗くなる。タブレットを閉じる。



ログアウト ログアウトしても電源は切れません。

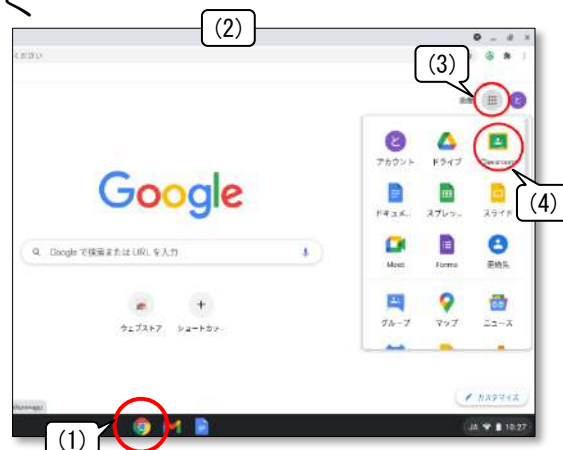
電源が切れます。



Google Classroom 「Meet」の接続・設定・活用

1. Google Classroom (クラスルーム) をひらく

- (1) 画面下中央の「Google アイコン」 をタップ
- (2) Google 画面 (ブラウザ) が開く
- (3) 画面右上の「アプリランチャー」 をタップ
- (4) ポップアップの「Classroom」 をタップ



2. 自分の (指示された) クラスに入る



教室の授業で使う時に、「アプリランチャー」 が表示されないことがあります。ほとんどの場合は、校内の Wi-Fi 回線が混んでいて繋がらない場合ですので、しばらく待つと繋がります。

3. Meet を開く



(2) Meet の画面が開く

このときには、「クラスルーム」と、「Meet」の2つのタブが開いていることになります。画面上には、1つのタブを見えています。



先生からの
コメントや
課題

児童からも、コメントが
出せる (クラス内で公開)

クラス
ルーム
のタブ

Meet
のタブ

画面レイアウト

先生の画面を大きく映す



タイトル表示の人数を増やすスライダーです。

画面に固定

ピン留め・映っている先生や黒板を画面いっぱい大きく表示したい時に設定します。
・画面上の大きく表示したい相手 (おもに先生) の映像上にカーソル (タッチ) をのせる。



Google Classroom 「コメント」「課題の受け取り、回答、提出」

1. 自分のクラスに入る

複数のタブを行ったり来たりできます

クラスルームのタブ Meetのタブ 新しいタブを開く

1年1組 Meet-izdzbip

先生からのコメントや課題

児童からも、コメントが出せる（クラス内で公開）
担任への私書は、別途設定したり、「くじらーニング」等を活用したりします。

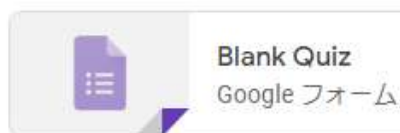
夏休みの宿題について
夏休みの宿題、コッコンと取り組んでいますか？ まだ終わっていないものもありますが、計画的に頑張りましょう！
とにかく、夏休み、元気に過ごしてください！

★お便り
名前を書いてください
回答を入力
このアンケートに答えている月日を書いてください
回答を入力
今の時点で、宿題はどれくらい終わりましたか？
☐ 全部終わった！（丸付けも）
☐ 全部終わった！（丸付けはまだ）
☐ 3教科終わった！（丸付けも）

2. 先生とクラスの児童がコメントを共有する

3. 【課題例】Google フォーム「アンケート」を開く

- (1) 先生から課題が出されると、「ストリーム」の画面に、課題やコメントが表示される
- (2) 今回は、「新しい課題を投稿しました：楽しい2学期に向けたアンケート」と、表示されるので、タップする



- (3) アンケートに答える（一度しか回答できないので注意）
- (4) 一番下の「送信」をクリックする

06-7 フォームの送信

フォームが完成したら、メールやリンクを共有して回答者にフォームを送信します。



4. 授業に参加し課題に取り組む

- 1 クラスに参加し、[授業]をクリック
- 2 課題をクリックして開き、[課題を表示]をクリック
- 3 添付ファイルをクリックして開き、課題に対して回答
- 4 回答後、[×]でタブを閉じます。

※ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームは自動保存

- 5 [提出]をクリックし、先生に課題を提出



Zoom 「どの端末でも Web でも アプリでも OK！」

1. アプリで「Zoom」 を立ち上げよう。

次のいずれかの方法で、「Zoom」を開く。

- ① 画面最下段（もしくは下からスライドして）「Zoom」 をタップ
- ② URL 「https://explore.zoom.us/ja/products/meetings/」を入力

学校のタブレットからは
原則 **アプリ** で接続します

自宅の端末からも、
アプリ が便利です

今回は、**アプリ**
この方法①です！



2. ミーティングに参加しよう。

- (1) 「Join a meeting (ミーティングに参加する)」

「Sign In」(サインイン) は、タップしません。

- (2) 「Meeting ID or Personal Link Name (ミーティングID)」

ミーティングIDは、10桁の数字です。

- (3) 「Screen Name (ユーザー名)」を入力する。

ユーザー名は、担任の先生が見てわかる名前にしてください。
英字も可ですが、なるべく漢字か平仮名で。(例) いながき たつや

※ ここに、パスコードを入力しない。

- (4) 「Join (参加)」をタップする。

Shift キー ↑ を押しながら
英字を打つと大文字になる

- (5) 「Meeting Password (ミーティングパスワード)」を入力。

ミーティングID (数字)、パスコード (数字と英字) は、
学級ごとに異なります。マチコミにて配布<部外秘>します。

パスコードの英字は半角。大文字、小文字が区別されます。
(例) 12R34g7 「R」は大文字 「g」は小文字

- (6) 「Join (参加)」をタップする。

Zoom の制限時間は 40 分間です。
その都度、同じIDで再接続します。

3. 設定を調整しよう。

- (1) 「Join with Video (ビデオ付き参加)」をタップする。

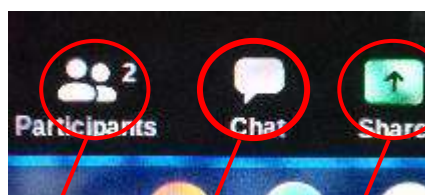
- (2) 接続したら、「音声」はOFF、「ビデオ」はONで先生を待ちましょう。

- (3) 近くで2台以上の Meet やスピーカーから音が出ていると、ハウリングを起こすことがあります。

<画面右下>



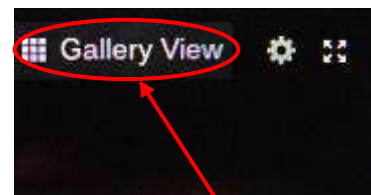
<画面中央下>



<画面右下>



<画面右上>



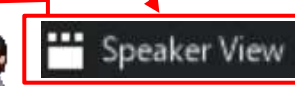
先生の指示で、
ON-OFF します。



名前を変更したり、
手を挙げたりできます。Raise Hand



授業が終わったら、
その都度、退出します。



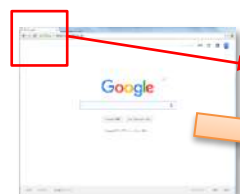
画面表示を変更して、話している
先生の画面に固定したりします。

Sky Menu 「多彩なアプリ」と「課題の受け渡し」

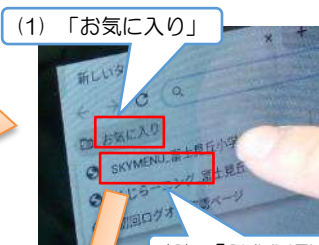
1. 画面下中央の「Google アイコン」  をタップする。

2. Google 画面（ブラウザ）が開いたら、
左上(1)「お気に入り」から、(2)「Sky Menu」をタップして開く。

多彩な機能が満載



起動後の Google 画面



(1) 「お気に入り」

(2) 「SKYMENU」

アプリ	機能	アプリ	機能
	写真、動画の撮影		文字や画像を使ったプレゼンテーション資料の作成
	QRコードの読み取り		文字数や画像数を制限したシンプルなスライドの作成
	校内掲示版のような、連絡事項の情報共有		縦横の軸にマーカーを配置し、意見やその変化を可視化

SKYMENU Cloudで利用できる主なアプリケーションです。

3. Sky Menu 「マイページ」 から、使用するアプリを選ぶ



(3) 授業に参加する

家にも、学校の教室と同じことが、同じ操作で出来ます。
先生の画面も、子供たちの画面も見られます。

4. (例)「発表ノート」から、課題の提出まで



(4) 「ノート作成」



(5) 「撮影」



(6) 撮影

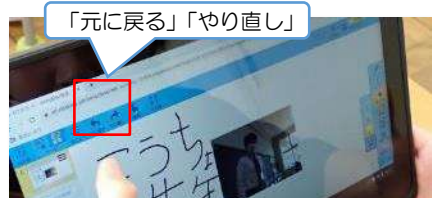


2年生 R3. 4. 17

(7)-1 ペンボタン

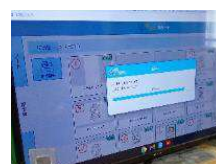


(7)-2 「文字」「消しゴム」

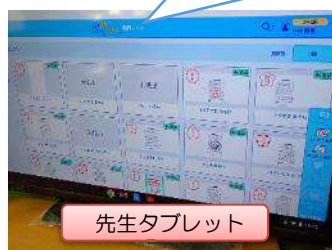


「元に戻る」「やり直し」

アナログのノートやワークシートを撮影して、先生に提出することもできます。



(8) 色・太さなど

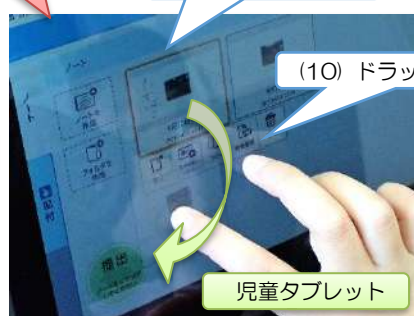
(11) 児童が提出したノート一覧を提示
一斉添削等、様々な操作ができます

先生タブレット

ノート提出

ノート返却

(9) ノートをタップ



(10) ドラッグ&ドロップ

児童タブレット

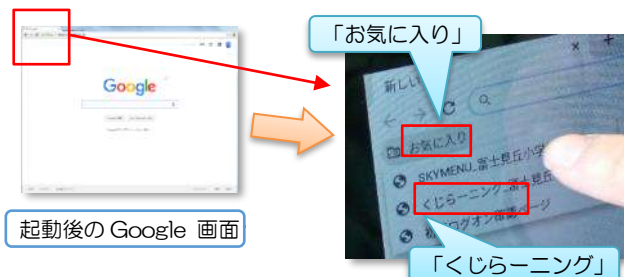


3年生 R3. 4. 21

くじらーニング「ドリル学習」と「先生へ連絡」

1. 学校のタブレットから入る方法

- (1) 画面下中央の  をタップ
- (2) Google 画面（ブラウザ）
左上「お気に入り」から
「くじらーニング」をタップ



2. 他の端末（自宅 PC 等）から入る方法

- (1) 学校ホームページのトップページ



学校から配布された
お手元の
「プリント」
もしくは
「カード」
に記載



3. くじらーニング「児童生徒メニュー」から開始



自分の学習状況や傾向を確認したり、先生へメッセージを送ったりします。

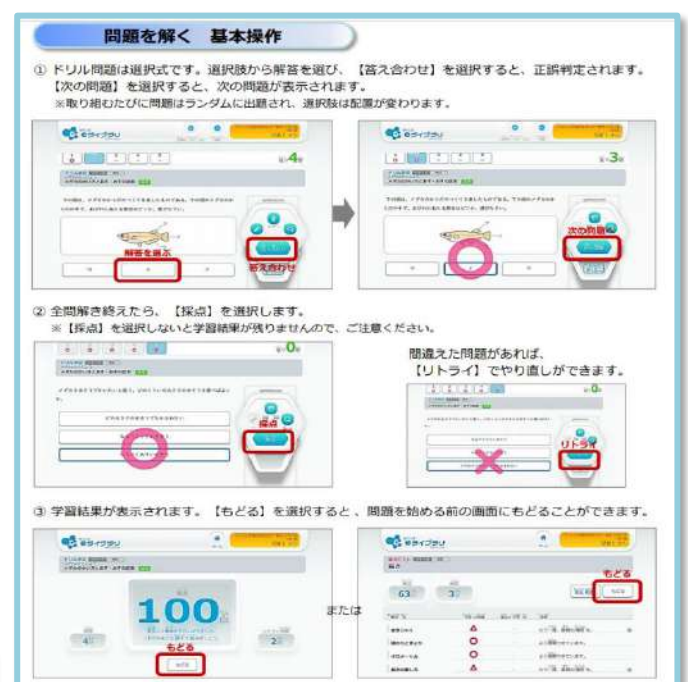
先生へメッセージを送ることができます。
他の児童等には公開されません。
先生からの指示がないと、先生が見ないこともあるので、気を付けましょう。



くじらーニングを
使ってみよう



1年生もスムーズに
使いこなしています



全学年の問題ができるので、「立ち戻る」学習にも最適！

学級閉鎖や分散登校等を想定した「オンライン授業スタイル」

変異株による感染拡大などの最悪の事態に備えて、以下の通り授業スタイルを想定しました。万が一の場合を覚悟し、教育活動が円滑に行えますよう準備を進めておりますので、予めご了承戴きたく存じます。

「2つの措置」の想定

文部科学省の8月27日付「対応ガイドライン」に基づく

I 感染拡大 … 校内で児童や教職員等の感染等が判明した場合など

学級閉鎖等

- (1) 同じ学級で、2名以上の児童の感染（濃厚接触等）が判明するなど、**学級内で感染が広がる可能性が高い場合は、可能な限り早期から、学級閉鎖の措置をとる。**
- (2) 学年・学校の感染（濃厚接触等）の場合は、同様に、学年・学校閉鎖の措置をとる。

この場合、感染拡大防止のため、児童も家族も、登校することは一切できない。
「3つの授業スタイル」を想定したオンライン授業を実施する。

II 感染防止 … 校内の感染等はないものの、地域等で懸念が高まった場合など

分散登校等

- (1) 令和元年度末から一斉に臨時休校となったケースのように、**校内での感染拡大の兆候がない場合にも、行政の判断で休校や分散登校等の措置を取る場合がある。**

児童（家族）や教職員等に感染等がない場合には、完全な休校は考え難く、学級の三密を避けるための分散登校（グループ毎に授業日や授業時間を分散するなど）が想定される。
この場合、感染防止策を徹底した上で、児童や家族も、限定的に登校することができる。

「3つの授業スタイル」の想定

同8月25日付「基本的対処方針等」に基づく

I デジタルスタイル

II ハイブリットスタイル

III アナログスタイル

Classroom
+ Meet (Zoom)
+ Sky Menu

提出も
オンライン

紙と鉛筆も活用

Classroom
+ Meet (Zoom)
+ Sky Menu

課題の配布や
提出等は対面

紙と鉛筆も活用

Zoom

タブレットを活用できない
緊急時を想定し、通信負担が
軽いZoomで会話をしながら、
担任が学習内容を指示し
児童がアナログで取り組む。

教室の日常的な授業の再現

- 通常の時間割を基本とする。毎時間、出欠確認及び健康観察を実施する。
- 児童にとっても、教員にとっても、デジタルで実施する困難さやストレスを軽減するために、**可能な限り、教室の授業と同じスタイルで実施する。**
 - **デジタル**：Meet (Zoom) は、先生の指導、児童の発表や話し合いの場面で利用
Sky Menu は、互いの画面やノート等を見合う学び合いの場面で活用
 - アナログ**：教科書、ノート、ワークシート等、教室と同じように紙と鉛筆を使用
- 全く登校できない状況の場合は、「完全オンライン授業」とし、Meet や Zoom とともに、Sky Menu 等を活用して、**課題等の配布や提出は、全てデジタルで実施する。**
- 中休み、昼休み、給食の時間（自宅の児童のみ）は、児童同士の自由な会話等ができる。

ポイント

45 分間の
授業の構成

- ・通常の授業よりも、自力解決（個人学習）を長く設定し、タブレット画面を長い時間（**15 分間を上限とする**）注視しないよう授業展開を工夫する。
- ・話し合い活動、ふりかえりは、必ず設定し、児童の主体的な学びを保障する。
- ・学習したノートやワークシートなどは、**登校時もしくはクラウドで必ず提出し、先生が確認、評価してから、返却する。**

基本例

目標設定

一斉指導

自力解決

学び合い

まとめ

振り返り

Sky Menu で課題配布

教科書、ノート、ワークシート

Sky Menu で共有・提出

ノート

Meet (Zoom) ON 10 分間

Meet (Zoom) OFF 20 分間

Meet (Zoom) ON 15 分間

タブレット端末による「市民図書館電子書籍」の利用

令和4年7月から児童の1人1台タブレットでも、昭島市民図書館の電子書籍サービスに簡単にアクセスできるようになりました。

電子書籍って？

市民図書館の貸出券があれば、図書館に行かないでも、学校や家庭で、タブレット等を使って電子書籍を読むことができます。

何ができるの？

- 1 学校の学習で、電子書籍を読書や調べ学習に活用できます。
- 2 学校でも家庭でも、タブレットで利用することができます。
- 3 家庭の端末（パソコン等）でも利用することができます。

〔貸出券〕がない人は、学校か市民図書館に問い合わせして下さい。



学校でも利用

電子書籍を借りると

持ち運び

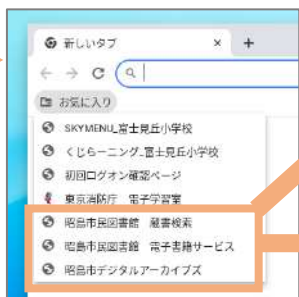
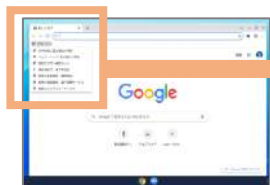
不要

家庭でも利用



どうやって使うの？

タブレットの「お気に入り」から「電子書籍サービス」を選択して、**個人の貸出券のID・パスワードでログイン**します。



蔵書検索とデジタルアーカイブズもできます。



ログイン

利用者ID

パスワード

ログインする

自分で入力する

- | | |
|------|---------------------------------|
| 〔貸出〕 | ○ 貸出点数 … 1人2点まで |
| | ○ 貸出期間 … 15日間（期限が切れると自動的に返却措置） |
| 〔予約〕 | ◇ 予約点数 … 1人2点まで（貸出中の書籍のみ予約可） |
| | ◇ 取置期間 … 6日間（書籍が確保できても通知は届きません） |
| 〔延長〕 | □ 延長回数 … 1回（予約が入っていない場合のみ可） |
| | □ 延長期間 … 15日間（延長ボタンを押してから） |

※ 家庭の端末（パソコン等）では、市民図書館に直接アクセス ⇒ ⇒



電子書籍のメリット・デメリット

（メリット）

居ながらに貸出・返却・予約ができるので、重たい本を持ち運ぶ必要がなく、時間短縮とともに、多くの本に触れ合い、読書の幅を広げることができる。拡大縮小や読み上げ機能で多様な活用ができる。

（デメリット）

司書の相談や実際の本に触れながら探せない。図書館の空気感や紙本来の質感を味わえない。使い方により目の疲れ、視力低下等が心配される。ページをめくるのに時間がかかる。本のように手に持って読書はできない（重い）。

本校での活用方針

（読書）

児童が、生涯に渡り読書に親しむ習慣や、感性・情緒の基盤としての言語能力を育むために、紙の本の香りやページをめくる感覚など、紙本来の質感を味わいながら五感で活字を楽しむとともに、対面での読み聞かせなどをこれからも大切にしていきます。

（調べ学習）

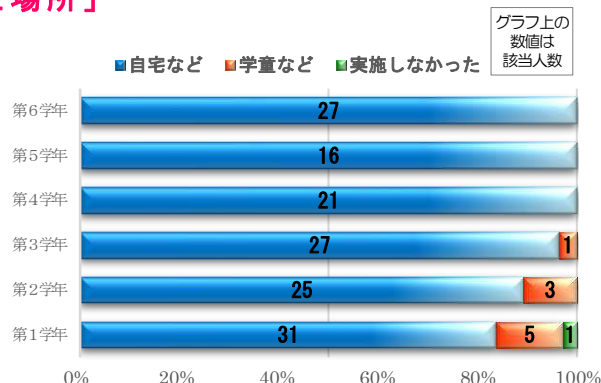
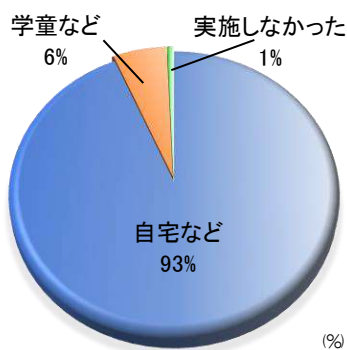
情報があふれる時代において、必要な情報を、信頼のおける媒体から取捨選択する力を育むために、紙の図書を中心としつつ、安全に素早く手に入れる手段として電子書籍も適切に活用していきます。

富士見丘小 オンライン授業試行 アンケート

R3.9.2

先の見通しが立たない状況下にも拘らず、様々な取組に御協力をいただき大変恐縮です。学校としても毎日が試行錯誤の繰り返しですが、できる限り保護者の皆様にご心配・ご不安、ご迷惑をお掛けしないように努力してまいります。すべては「子供たちのために」という気持ちを一つに、**【共にある教育】**を実現できるよう引き続きよろしくお願い申し上げます。

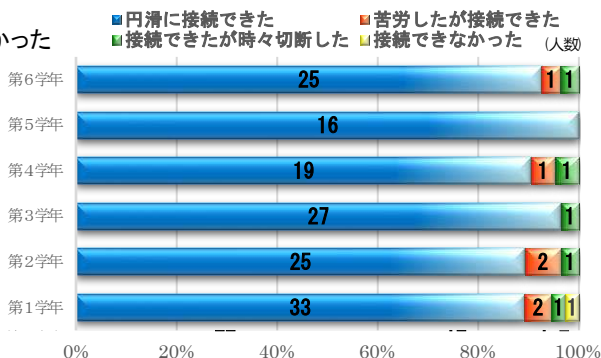
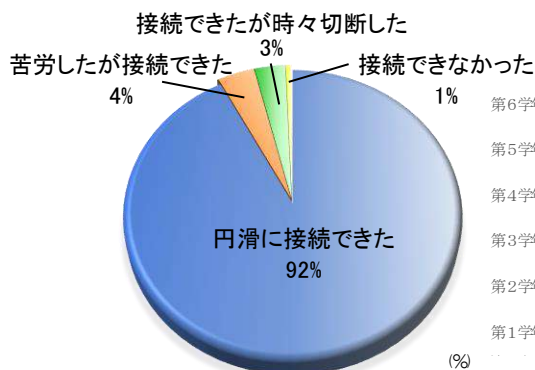
Q1 「お子さんが実施した場所」



「オンライン試行（第1回）の調査」
3日現在 回答数 160人

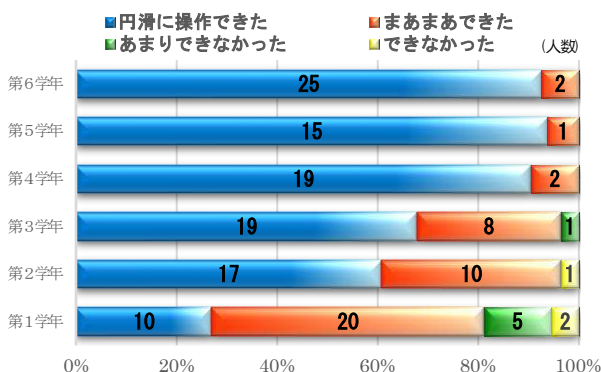
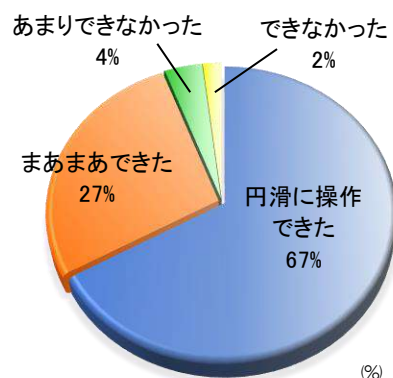
全体で6割程度の低い回答率でした。**学童で実施した児童は30名を超えています**が、回答されたのは9名でした。推察すると、不在だった保護者の皆様は、回答そのものを差し控えた？のかも知れません。

Q2 「お子さんのネット（Wi-Fi）への接続状況」



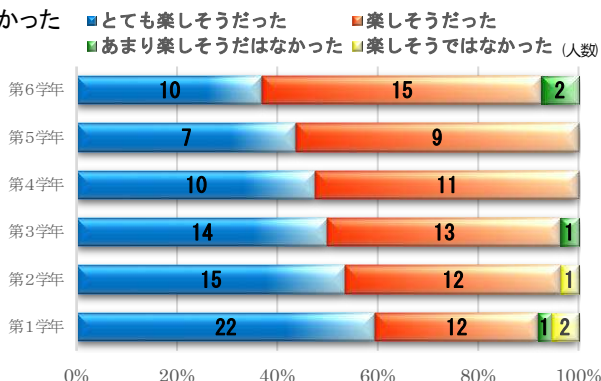
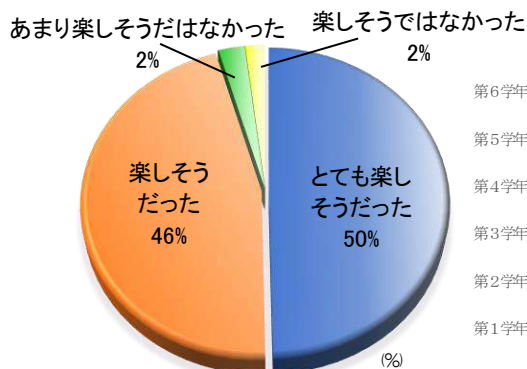
おおむね接続できたようです。夏季休業中からご家庭でのWi-Fi環境の整備や接続の確認などをして頂いた賜物と感謝申し上げます。学校としても様々なサポートができますので、**個別に相談してください。**

Q3 「お子さんのClassroomやmeet等の操作状況」



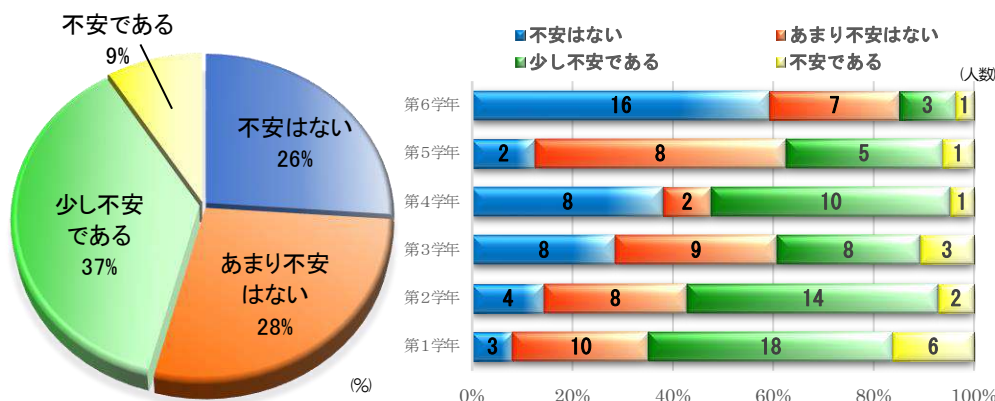
子供たちは概ね操作できていたようで安心しました。保護者向けには簡易的な説明文を配布することもあります。何よりも児童のスキルを高めることが必須です。**操作マニュアル的なことはWeb等で確認願います。**

Q4 「お子さんは楽しそうでしたか？」



タブレットの操作そのものが楽しい、取組の内容が楽しい、先生や友達とmeetでつながって楽しい等、お子さんによって「楽しい」の捉え方は異なりますが、積極的に参加していた様子がうかがえます。**楽しいオンライン授業**を目指します。

Q 5 「オンライン授業となった場合、不安はありますか」



未知の取組に対して、誰もが不安を抱くのが自然です。本校ではすべての場面で**一人一人が特別な存在**として、個を大切にしています。オンライン授業でも、少しでも不安や困難なことがあれば個別に対応します。漠然とした不安を、**具体的に解決することで、安心につなげてまいります。**

Q 6 「今回、試行して良かったことはありますか」 類似の記載 合計約 70 件

- オンライン授業になった時の雰囲気を感じることができてよかった。想像以上に子供たちがタブレットの操作をしっかり習っていることがわかって、親がずっと付き添っていきなさいかなと思っていたがそんなことはないとわかりよかった。(同様の感想は、低学年の保護者の方からの多数。)
- 1人で大方の動作はできていたようです。登校できない時に、オンラインで参加できたら助かると思いました。教職員の皆様には大変な労力があると思います。本当にありがたい気持ちでいっぱいです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- 一人でも大丈夫か不安だったが、ほとんど教えなくても出来ていたので、それを確認できて良かったです。オンラインの環境にも問題がないことがわかり安心した。
- 学校でしっかり練習してきたとのことで4年生の息子と2年生の娘も1人で出来ていて手伝うことがなかったです。すごいなと思いました。
- これから、何かあった時の安心感につながりました。去年の休校期間は、親も自宅待機だったので、頑張って教えました。子どもが勉強嫌いになりそうでした。友達の中で学ぶと色々な反応があり刺激になるようです。先生と子供たちとの元気なやり取りも見ることができて嬉しかったです。
- ポケット Wi-Fi を使用しているからか、度々切断されることがわかった。原因が Wi-Fi なのかパソコンとの相性なのか、すぐに解決できる問題かも不明だが、問題点が見えた点では試行してよかった。
- 高学年なら心配はないですが、低学年は定期的にこのような機会を設けてほしいです。
- 設定ボリュームが小さく、先生の問いかけが聞こえなかったのですが、本体の音量調節の問題だったので、無事解決しました。場数を踏んでいくことで、そういった操作に対応するのにも慣れていくと感じました。
- 放課後は、友達と遊ぶことをひかえているため、オンラインで交流でき、とても楽しんでいました。先生方は準備等で大変だったと思います。ありがとうございます。
- 夏休みの時よりも出席者が多く、学校の放課後に全員一斉に、という試みはよかったと思います。
- 子供たちが画面で互い声を掛け合う姿を見て、コミュニケーションが取れたことが嬉しそうでした。
- スムーズに接続でき、学校で教えてくれていて助かりました。同僚の子供の保育園でも感染して休園になっており、本当に感染が心配な日々です。オンラインを是非進めていただきたいと思います。

Q 5 「今回、試行して困ったことなどありますか」 類似の記載 合計約 40 件

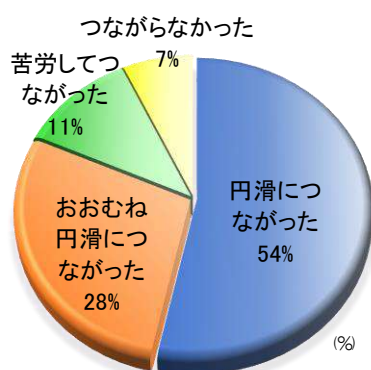
- 4年生の上の子はある程度自分でできていましたが、1年生の下の子は親がそばにいないと、すべてを1人でやるには難しいと思いました。
- 「自分のスピーカーを切って」と言っていたのですが、出来てない子たちの声が入っていたりして、終始わちゃわちゃしていました。先生側から操作して切ることが出来ると思いますので対策いただければと思います。
- ハウリングが多く、耳が痛くなるのではと心配になることがありました。入る時からマイクを off にするか、入って担任の先生と音声などの確認ができた人からマイクを off にしていくと良いのかなと思いました。
- ローマ字ができないため、パソコンでの名前入力が自身でできませんでした。また、パソコン入力ができないため、早い段階での入力の練習を取り入れていただけると助かります。
- Google Classroom で、参加ボタンが表示されず授業への参加には手間取っていました。参加ボタンが表示されない場合の操作など、説明がないとトラブルなどで参加が遅れると困るかと思います。
- Meet の画面から、クラスルームの画面に戻るのが、始めは難しかったようでした。逆も同じ。
- 操作ミスで、途中退室になってしまい、とても残念がっていました。もう少し詳しく、紙面などにして、操作方法、このボタンは〇〇、これを閉じてしまうのは NG など、教えておいていただけると、親側もわかりやすいです。
- なかなか難しいと思うのですが、1ヶ月先の日程で出して下さると休みを調整しやすい。また、1時間目や16時頃の設定の日も作ってくだされば勤務時間をずらしやすく、参加できそうです。

※ 細かい操作の疑問にお答えできるマニュアル等を作成すると一冊の本になるほどの分量を要し、現実的ではないかと存じます。児童のスキルを高めるとともに、教員の操作能力、指示の出し方、指導方法など、積み重ねながら、一つ一つ解決して参ります。

富士見丘小オンライン授業試行(第2回)アンケート R3.9.6

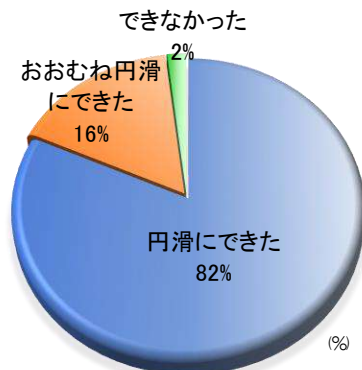
第2回目の試行にもお力添えを賜り感謝申し上げます。Zoomの接続など新しい試みでしたので、ご迷惑をお掛け致したと存じます。円滑なオンライン授業の実現に向け、今後も様々な試行や実践を重ね、**改定した簡易マニュアルを紙面に配布する予定です**。何卒よろしくお願い申し上げます。

Q1「Zoomの接続」



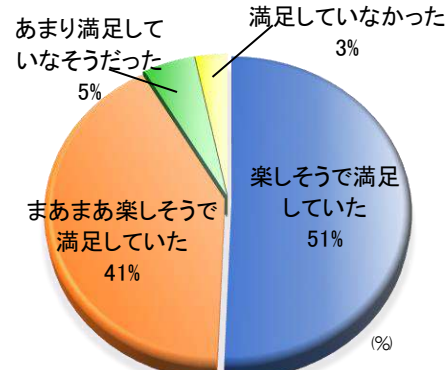
初めての試みにもかかわらず概ね接続できたようです。土日にご家庭で練習していただけたおかげと存じます。感謝、感謝です。学童でも自分たちだけで接続できており、**手順通りに操作すればつながることがわかりました**。

Q2「Sky Menuの操作」



Sky Menuは、すべての学年で日常的に活用しています。オンライン授業になっても、もっとも円滑に操作できます。実際のオンライン授業では、デジタルとアナログを併用し、**普通の教室と同じ環境の授業**を目指します。

Q3「満足しましたか」



満足度は、円滑な接続と円滑な操作に、ほぼ比例していると思われます。これらは一朝一夕に習得できるものではなく、またICT＝簡単＝万能というわけでもないの、一緒に**生みの苦しみを乗り越える努力**をして参りましょ

※ 誰一人取り残さないよう、100%つながるように個別に対応して参ります。

※ オンライン授業でもICTに偏重せず、教科書やノート、手書きの良さを生かします。

Q4「ご意見、ご感想」(抜粋)

「オンライン試行(第2回)の調査」 8日現在 回答数160人

- Zoomについて、子どもは学校で教えていただき、親はマチコメールなどで接続方法を確認できたので、出来るかどうかドキドキしながらも、おおむねスムーズに接続できたので、良かったです。子どもも楽しそうでした。
- タブレット画面を見ている時は無表情で黙々とやっていた息子ですが、大変楽しかったそうです。先生が根気強く励ましの声掛けをしてくださる様子が聞こえてきました。ありがとうございました。
- 慣れないオンライン授業に私も少しアタフタしましたが、兄弟で協力し合いながらも何とか出来、楽しそうな授業の様子にこちらも嬉しくなりました。先生方も大変だと思います。丁寧に指導して頂きありがとうございます。
- Zoomの接続方法が理解しきれいかなかったらしいです。Sky Menuは慣れたとのこと。オンライン授業時に保護者不在が多くご協力出来ずに申し訳なく思います。先生方も大変な思いをされていることと思います。引き続きご指導よろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。
- Meetに比べると、クラスのお友達の顔が見られないという点が残念なようでした。ですが、接続状況とすれば、Zoomの方がよく、オンライン授業となった場合、どちらになるのかなと気にしていました。
- 接続は良好でしたが、子供たちがミュートにせず、うるさい状態が続き、ノート配布に至るまでかなりの時間を要していました。途中でお菓子を食べていたりおもちゃを出したりしている子もあり、長時間の授業ができるか疑問が残りました。
- 全員ができるまでの待ち時間が暇だと言っていました。待ち時間が長かったため飽きていました。始まってからは真剣に取り組めました。ZoomからSky Menuに戻る事ができなくて苦戦しましたが、その他は楽しかったようです。
- Zoomは英語表記なので、使いにくい。英語仕様なので、日本語仕様に変更出来ないでしょうか？(同様多数)
- Zoomに繋ぐのに時間がかかり、あまり参加出来ず残念がっていましたが、次回は楽しく参加したいと思います！
- 子供たちが楽しく参加できており安心しました。色々ハードルがあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。
- 今回のオンラインは親と子供両方とも戸惑いましたが、なんとか無事に終了することができました。あと、課題を解いているとき、タッチパネルに文字を書くのが難しそうでした。
- 家で親が見てあげられればと思いますが、それが可能と不可能な家庭があることを少し考えて頂けるとありがたいと思います。
- web会議の基本として、開始時にカメラの状態、音声の疎通確認、途中で不調があれば先生に伝える手段が必要かと。
- パスワード入力が上手いかず3回目ですと参加する事が出来たようです。毎回仕事で見守る事が出来ないため心配はありますが何とか参加出来ているようです。
- 放課後に友達と遊ぶことができない日々が続きましたがオンラインで交流することができてとても嬉しそうでした。今後も見据えてオンライン化にいち早く取り組んで頂いた校長先生や担任の先生方、いろいろと大変なこともあったかと思いますが本当にありがとうございます。
- Zoomを使用しながらのGoogle使用の際、画面の切り替えなどが子どもだけではできないのが実際授業になったときに不安に思いました。お忙しいと思いますがその操作も学校で一度先生に実際見ていただきながら個々の操作の進捗を確認していただけたらと思います。手書きが上手いかわく、操作は子供一人では難しいようでした。

※ 学校本来の学習を疎かにしてまでICTスキルの習得に偏重しないようにしつつ、オンライン授業に備えて必要最低限のスキルを一つ一つ高めてまいります。短期間に多くを習得することは困難(無理)ですので、多くを望まず、ゆっくり進みます。

ふじみ「情報モラル」6年間の指導計画 年3回(最低)×6年間

分 類			目 標	学習内容	低 学 年	中 学 年	高 学 年
心を磨く領域	1 情報社会の倫理	a	発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ	約束や決まりを守る	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」2 S「生活を見直そう」1	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」3	S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」5
				相手への影響を考えて行動する	S「自分とあいてとのちがい」1 道「いたずらがき」1 道「たんじょう日カード」2	S「自分と相手とのちがい」3 S「これって悪口」3 S「悪口を書かれたら」4 S「ゲームソフトのかしかり」4 道「ひみつの手紙」3	
				他人や社会への影響を考えて行動する			S「自分と相手とのちがい」6 S「写真を公開する前に」6
		b	情報に関する自分や他者の権利を尊重する	人の作ったものを大切にすることを心を持つ	S「友だちのまね」2		
				自分の情報や他人の情報を大切に（人格権、肖像権）		学「作品を作る（著作物を上手に扱う）」 ネ「肖像権に気をつけて」	
				情報にも自他の権利があることを知り尊重する（著作権）			S「マンガをSNSにアップすると」5
	2 法の理解と遵守	c	情報社会でのルール・マナーを遵守できる	生活の中でのルールやマナーを知る	学「マナーを守って使う（利用マナーについて考える）」1		
				情報発信ややり取りする場合のルールやマナーを知り守る		学「情報を発信する（SNSを上手に使う）」3	
				何がルールやマナーに反する行為か知り、絶対に行わない		学「情報を発信する（SNSでどう伝えるか考える）」4	
				ルールや決まりを守ることの社会的意義を知り、尊重する			S「匿名でつぶやいたら」5 ネ「ネットで悪口が罪になる」 ネ「ネットで悪口は要注意」 ネ「軽い気持ちでマナー違反」6
知恵を磨く領域	3 安全への知恵	d	情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	大人と一緒に使い、危険に近づかない	教「教材19 学習用タブレットの上手な使い方」		
				不適切な情報に出合わない環境で利用する	ネ「GIGA端末持ち帰り時の約束は？」 ネ「ペアレンタルコントロール」		
				不適切な情報に出合った時は大人に意見を求め対応する		S「写真を送ってと言われたら」4 学「インターネットを活用する（ネット交流について考える）」	
				予測される危険の内容がわかり、避ける		学「インターネットを活用する（ネット詐欺について考える）」	
				不適切な情報であるものを認識し、対応できる			ネ「スパムメールは無視」 ネ「チェーンメールはカット」 ネ「フィッシングサイトにつられるな」 ネ「ステマってなに？」
				安全性の面から、情報社会の特性を理解する			学「オンラインで交流する（SNSで知り合った人とやりとりする）」6
		e	情報を正しく安全に利用することに努める	知らない人に、連絡先を教えない	S「るすばんしていたときのできごと」2 S「ゲームの中の友だち」2		
				情報には誤ったものもあることに気付く		S「情報を上手に検索しよう」	
				個人の情報は、他人にもらさない		学「インターネットを活用する（個人情報について考える）」	S「SNSから分かることは」 道「その遊び方、だいじょうぶ？」5
				情報の正確さを判断する方法を知り、信頼性を吟味できる			S「メディアの特性を考えよう」5 S「情報を上手に整理しよう」6 ネ「こんなWebサイトには気をつけて」
				自他の情報の安全に関して正しい知識を持って行動できる			ネ「セキュリティのコツ」 ネ「Webサイトの情報を活用しよう」
		f	安全や健康を害するような行動を抑制できる	決められた利用の時間や約束を守る	S「つかいすぎでないかな①・②」1 S「おうちの人とのやくそく」2		
				健康のために利用時間を決め、守る		S「使いすぎでないかな」3 S「ゲームって楽しいけれど」4 道「やめられない？とまらない？」	
				健康に害するような行動を自制する			S「使いすぎでないかな」5
				自他の安全に配慮したメディアとの関わりを意識して行動する			道「あなたはどうか考える？」6
	セキ4 セキュリティ	g	生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る	認証の重要性を理解し、正しく利用できる		S「タブレット・パソコンを上手に活用しよう」	
		h	情報セキュリティ確保対策対応がとれる	不正使用や不正アクセスされないように利用できる	学「タブレットを初めて使う（パスワードを管理する）」1		
5 公共的なネットワーク社会の構築	i		情報社会の一員として公共的意識を持つ	情報の破壊や流出を守る方法など、情報セキュリティの基礎的な知識を身に付ける	学「タブレットを初めて使う（大切な情報を守る）」1		ネ「コンピューターウィルスに注意」
				協力し合ってネットワークを使う		教「教材20 思ったままSNSに送信しただけなのに」	
				ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う			ネ「友達とのファイル共有は便利だでも注意して！」

上記の各学年欄は、指導学年と東京都教育委員会「SNS東京ノート」「新しい道徳」（東京書籍）の項目を示す。また、内容項目の末尾の数字は、指導学年を示す。その他、文科省「情報モラル学習サイト」「情報モラルの新たな問題を考えるための教材（動画）」「ネット社会の歩き方（動画教材）」等を組み合わせて指導する。

資質・能力		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
言語能力	A1 図書館 活用力	【国語】A1 としょかんへいこう	【国語】A1 としょかんとなかよし	【国語】A1 としょかんとなかよし				【国語】A1・2 ともだちのこと、し…				
	A2 論理的 思考力		【国語】A1・2・4 くちばし	【国語】A2・3 おおきなかば	【国語】A3 やくそく	【国語】A1・2・4 うみのかくれんぼ	【国語】A1・2・4 じどうしやずかん…	【国語】A2・4 ききたいなともだ…	【国語】A2・3 むかしばなしをよ…	【国語】A3 たぬきのいとぐる…	【国語】A4 これはなんでしょう	【国語】A1・2・4 どうぶつのあかち…
	A3 感性・ 情緒力		【国語】A3・4 はなのみち	【国語】A4 ききたいな、とも…	【国語】A3 おもむびころりん	【国語】A3・4 ぐらぐも	【国語】A4 しらせたいな、み…					
課題解決能力	A4 伝え 合う力		【道徳】A2 節度、節制	【音楽】A2 はくにつてりリズ…	【道徳】A4 親切、思いやり	【道徳】A4 善悪の判断、自…	【道徳】A4 正直、誠実	【道徳】A1 いえのひとと…	【道徳】A4 規則の尊重	【図工】A1 いろいろ	【道徳】A4 自然愛護	
		【体育】A4 多様な動きをつ…	【音楽】A3 はくをかんじろう	【算数】A2・4 どちらがながい		【体育】A4 表現遊び	【音楽】A4 せんりつをよびか…	【体育】A4 ボール投げゲーム	【体育】A1・3 「とびばこそび」	【学活】A3・4 「そとそびのくふう」	【音楽】A3 にほんのうたを…	【体育】A4 ボールけりゲーム
				【体育】A4 鉄棒を使った運…	【体育】A4 表現遊び	【音楽】A4 せんりつをよびか…					【音楽】A4 みんなであわせ…	
情報活用能力	B1 課題 設定力	【国語】B1 としょかんへいこう			【算数】B1 わかりやすくせい…		【国語】B1・3・4 じどうしやずかん…					【国語】B1・3・4 どうぶつのあかち…
	B2 情報 収集力	【生活】B1・2・3 きれいにさいてね わたしのはな	【生活】B2・4 きせつとなかよし はる なつ	【算数】B1 たしざんとひきざん		【生活】B1・2・3 きせつとなかよし あき	【生活】B1・2・3・4 かぞくにごこにこ だいさくせん			【生活】B1・2・3 きせつとなかよし ふゆ		
	B3 整理 分析力		【生活】B3 わくわくどきどき しょうがつこう			【国語】B1・3 しらせたいな、み…			【算数】B3 ひきざん	【国語】B3 これはなんでしょう	【体育】B4 ボールけりゲーム	
情報活用能力	B4 振り 返る力		【国語】B4 ききたいな、とも…			【体育】B4 ボール投げゲーム			【体育】B4 ボール投げゲーム	【生活】B4 もうすぐ2ねんせい		
		【生活】C1 きれいにさいてね わたしのはな	【図工】C1 なにがうまれるかな	【生活】C1 なかよくなろうね ちいさなともだち	【生活】C1 なにかよくなろうね ちいさなともだち			【図工】C2 ふわわん	【書写】C1 かんじまとめ	【国語】C1 どうぶつのあかち…		
	C1 情報機器 基本操作				【道徳】C1 国際理解、親善	【道徳】C1 善悪の判断、自…	【道徳】C1 正直、誠実		【道徳】C1 規則の尊重	【道徳】C1 自然愛護		
情報活用能力	C2 情報活用 実践力				【算数】C2 たしざんとひきざん	【音楽】C3 ドレミとなかよく…	【国語】C3 じどうしやずかん…		【体育】C2 跳び箱遊び	【生活】C2 きせつとなかよし ふゆ		
	C3 プログラミング		【学活】C3 テキシー段階取り					【算数】C3 おおきいかず	【国語】C3 これはなんでしょう			
	C4 情報 モラル	【学活】C1・4 タブレットの使い方			【学活】C3・4 生活を見直そう	【道徳】C4 いたずらがき		【学活】C4 使いすぎていな…			【学活】C4 自分と相手との…	

言語能力

学校図書館 **A1** **A2** **A3** **A4** 感性・情緒 伝え合う力 活用力

課題解決能力

B1	課題設定力	B2	情報収集力	B3	整理分析力	B4(A5)	振り返る力
----	-------	----	-------	----	-------	--------	-------

情報活用能力

C1	情報機器基本 的操作	C2	情報活用実践力	C3	プログラミング	C4	情報モラル
----	---------------	----	---------	----	---------	----	-------

[illegible]

資質・能力		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
言語能力	A1 図書館 活用力	【国語】A1 としゃかんたんけん	【国語】A1 たんぼぼのちえ		【国語】A1 たんぼぼのちえ		【国語】A2 馬のおもちゃの作り方…	【国語】A1 お話のさくしやに…	【国語】A1 おにごっこ			
	A2 論理的 思考力	【国語】A2 ふきのとう		【国語】A2 スイミー		【国語】A1・3・4 どうぶつ園のじゅ…	【国語】A2・3 お手紙	【国語】A1・3・4 おもちゃの作り方をせ…				【国語】A3・4 楽しかったよ2年生
	A3 感性・ 情緒力	【国語】A3 きょうのできごと		【国語】A3 あつたらしいなこ…		【国語】A4 ことばでみちあ…		【国語】A1・2 ともだちのこと、し…				【国語】A4 すてきなところを…
	A4 伝え 合う力	【算数】A2 たし算のしかたを…	【算数】A2 ひき算のしかたを…	【生活】A1・2・3 まちが大すき、たんけん…	【道徳】A4 まいごになった赤…	【生活】A1・2・3 えがおのひみつたんけんたい	【体育】A4 ボール蹴りゲーム	【道徳】A3・4 図を使って考え…	【音楽】A3 日本のうたを楽…	【音楽】A4 音をあわせて楽しもう		
課題解決能力	B1 課題 設定力	【道徳】B1 自分でオクケー…	【道徳】B2・4 いそいでいても	【道徳】B1・2 だっておにいちゃ…		【道徳】B1 まいごになった赤…	【道徳】B2・4 あいさつっていいな	【道徳】B1 ながいながい…	【道徳】B4 三くみ大好き	【道徳】B1・4 いまのぼくにでき…	【国語】B1・2・4 まる子のかぞへ…	
	B2 情報 収集力	【生活】B2 わくわく2年生	【国語】B1・4 かんさつ名人にな…	【算数】B2 長さをはかってあ…	【算数】B2 水のかさははって…	【算数】B1 ひっ算のしかたを…	【国語】B1・4 馬のおもちゃの作り方…	【生活】B1・2 うごく わたしの おもちゃ	【国語】B2・4 おにごっこ	【算数】B2 はこの形		
	B3 整理 分析力	【学活】B2・3 1年生をむかえ…	【学活】B2 楽しい遠足	【生活】B2 まちが大すき、たんけんたい	【生活】B1・2 めざせ生き物はかせ	【生活】B1・2 えがおのひみつたんけんたい	【生活】B1・2 馬のおもちゃの作り方…	【生活】B1・4 うごく わたしの おもちゃ	【国語】B3 お話のさくしやに…	【生活】B1・4 あしたへつなぐ自分たんけん	【書写】B4 2年生のまとめ	
	B4 振り 返る力		【体育】B1・4 かけっこ・リレー	【体育】B1・4 ボール投げゲーム	【国語】B3・4 あつたらしいなこ…	【体育】B4 表現遊び	【体育】B1・4 多様な動きをつ…	【体育】B1・4 鉄棒遊び	【体育】B4 ボール蹴りゲーム	【体育】B1・4 跳び箱遊び	【体育】B4 ボール蹴りゲーム	
情報活用能力	C1 情報機器 基本操作	【図工】C1 コロコロラー	【生活】C1 めざせ野さい作り名人		【図工】C1 いろみずや	【道徳】C1 まいごになった赤…	【算数】C1 か け 算	【図工】C1 マイペット				
	C2 情報活用 実践力		【生活】C1・2 まちが大すき、たんけんたい		【生活】C1 えがおのひみつ、たんけんたい	【生活】C1 うごく わたしの おもちゃ	【生活】C1 うごく わたしの おもちゃ	【生活】C1 うごく わたしの おもちゃ	【国語】C2 おにごっこ	【国語】C1・2 楽しかったよ2年生		
	C3 プログラ ミング				【国語】C1・2 こななもの、見つ…	【道徳】C2 危険から身を守…	【道徳】C2・3 おもちゃの作り方をせ…	【算数】C3 おおいかず	【体育】C1・2 とび箱遊び	【音楽】C3 音をあわせて楽しもう		
	C4 情報 モラル		【学活】C4 タブレットを上手…	【学活】C4 教えていいこと悪…	【道徳】C4 たんじょう日カード	【算数】C3 ひっ算の仕方を考えよう	【学活】C4 るずばんしていた…	【学活】C4 ゲームの中の友だち	【学活】C4 おうちのひとの約束	【学活】C4 友だちのまね		

資質・能力		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
言語能力	A1 図書館 活用力	【国語】A1 図書館たんてい…			【国語】A1 仕事の工夫つけたよ		【国語】A1・3・4 すがたをかえる大豆			【国語】A1 ありの行列		
	A2 論理的 思考力			【国語】A1・4 こまを楽しむ			【国語】A2・3 ちいちゃんのかげ…				【国語】A3・4 わたしたちの学校じまん	【国語】A3 モチモチの木
	A3 感性・ 情緒力				【国語】A1・3・4 はじめて知ったこ…					【国語】A4 これが私のお気…		
	A4 伝え 合う力	【道徳】A3 集団生活の充実	【算数】A2 大きい数の算算…	【算数】A2 長い長さはか…	【外国語】A4 好きなものをつた…	【算数】A2 大きい数のかけ…	【算数】A2 丸い形を調べ…	【音楽】A2 いろいろな音の…	【道徳】A3 畏敬の念	【音楽】A2 ちいきに伝わる…	【道徳】A3 感動	【道徳】A4 努力と強い意志
課題解決能力	B1 課題 設定力		【社会】A4 わたしたちのまちと市		【体育】A3 タグラグビー	【総合】A4 わたしの住んで…	【体育】A3 ラケットベースボール	【総合】A4 わたしの住んで…	【算数】A2 分数を使った大…	【社会】A2・4 くらしのうつりかわり	【総合】A4 給食について調べ…	【音楽】A4 音の重なりをか…
	B2 情報 収集力	【総合】B2 わたしの住んで…	【国語】B3 こまを楽しむ		【国語】B3 夏のくらし	【理科】B1・2 太陽と影を調べよう	【国語】B1・3・4 すがたを変える大豆		【社会】B1 地域の安全を守る	【社会】B1 くらしのうつりかわり	【理科】B1・2・3 じしゃくにつけよう	【理科】B4 学んだことをふり…
	B3 整理 分析力	【算数】B4 時ごと時間の…		【算数】B3 長い長さをはか…	【算数】B4 わり算を考えよう		【外国語】B3 カードをおくろう		【算数】B3 分数を使った大…	【国語】B3 ありの行列	【国語】B3 わたしたちの学校じまん	
	B4 振り 返る力		【道徳】B4 親切、思いやり	【道徳】B4 自由と責任	【理科】B4 わたしの研究			【道徳】B4 伝統と文化の尊重		【道徳】B4 個性の尊重	【算数】B3 三角形を調べよう	【算数】B4 分かりやすく整…
情報活用能力	C1 情報機器 基本操作		【総合】C2 わたしの住んで…	【理科】C1・2 風やゴムで動かそう		【国語】C1 ローマ字	【総合】C2 わたしの住んで…		【体育】C1 跳び箱運動	【体育】C1 マット運動		
	C2 情報活用 実践力		【社会】C2 わたしたちのまちと市			【国語】C2 はんで意見をまとめよう	【社会】C2 地域の安全を守る		【国語】C1・2 これかわたしのお気…	【国語】C1・2 わたしたちの学校じまん		
	C3 プログラ ミング		【学活】C3 LEGOプログラミング	【理科】C3 風やゴムで動かそう	【図工】C3 うごくさかな	【算数】C3 大きい数のかけ…	【算数】C2 丸い形を調べ…	【算数】C2 数の表し方やし…	【図工】C2 ゴーゴーカー	【総合】C2 給食について調べ…		
	C4 情報 モラル	【学活】C4 タブレットを上手…		【学活】C4 使いすぎていな…	【道徳】C4 公共の精神			【音楽】C3 拍の流れにそって…	【社会】C2 くらしのうつりかわり	【国語】C1・3 ローマ字	【学活】C4 これて悪口	【学活】C1・4 情報を上手に検…

資質・能力		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
言語能力	A1 図書館 活用力	【国語】A1 図書館の達人…	【国語】A2・4 アップとルーズで伝える	【国語】A2・4 一つの花		【国語】A1 百科事典での調…		【国語】A1 世界にはこる和紙		【国語】A1・2・4 ウナギのなぞを追って		
	A2 論理的 思考力	【国語】A3 白いぼうし	【国語】A2・4 お礼の気持ち…	【国語】A2・4 ランドセルは海を…	【国語】A2・3・4 ごんぎつね				【国語】A2・3 感動を詩に	【国語】A1・2・4 もしもの時に備えよう	【国語】A1・2・4 初雪のふる日	
	A3 感性・ 情緒力					【算数】A2 わり算の筆算を考…	【算数】A2 およその数の表し…	【道徳】A4 紙芝居を作って…		【算数】A2 広さの表し方を調…	【算数】A2 小数のかけ算とわ…	
	A4 伝え 合う力	【算数】A2 1億より大きい数…	【理科】A2 電流のはたらき		【総合】A2・4 地球の環境のために、自分たちが…	【体育】A2・4 マット運動	【社会】A2・3 届けよう命の水	【理科】A2 物のあたため方	【理科】A2 水のすがたど温度	【社会】A3・4 江戸の文化を伝…	【理科】A2・4 水のすがたど温度	【道徳】A4 世界の小学生
課題解決能力	B1 課題 設定力	【国語】B1 白いぼうし	【理科】B1 電流のはたらき	【算数】B2 そろばん	【国語】B1 ごんぎつね	【国語】B1 ごんぎつね	【総合】B1・2・3・4 みらいをつくる ふじみっこ			【国語】B1・4 もしもの時に備えよう	【国語】B1・3 調べて話そう生活調査隊	
	B2 情報 収集力	【社会】B1 都道府県を調べ…	【社会】B2 水はどこから	【社会】B2 ごみの処理と再利用	【道徳】B3 梅の木村の三兄弟			【社会】B2 郷土の発展に尽くす		【社会】B2 江戸の文化を今に伝える浅草の…	【算数】B3 箱の特徴を調べ…	
	B3 整理 分析力	【体育】B4 かけっこ・リレー	【算数】B3 グラフや表を使っ…	【国語】B3 新聞を作ろう	【国語】B3・4 クラスみんなで決…	【国語】B3 世界に誇る和紙	【算数】B3 どのように変わるか…		【算数】B3 どのように変わるか…	【総合】B1・2・3・4 地球の環境のために、自分…	【外国語】B4 ぼく、わたしの一日	
	B4 振り 返る力	【理科】B2 あたたかくなると	【総合】B4 都道府県親善…	【理科】B2 雨水のゆくと…	【理科】B2 わたしの研究	【理科】B3 とじこめた空気と水	【体育】B1 跳び箱運動			【理科】B2 寒くなると	【体育】B4 育ちゆく体とわたし	【理科】B2 生き物の1年を…
情報活用能力	C1 情報機器 基本操作			【国語】C1・2 新聞を作ろう		【外国語】C1 アルファベットで…				【国語】C1・4 もしもの時に備えよう		
	C2 情報活用 実践力	【理科】C1・2 あたたかくなると	【音楽】C1 まぼろしの花	【理科】C1・2 あつくなると	【体育】C1 表現運動	【音楽】C1 天空の世界		【音楽】C1 天空の世界		【理科】C1・2 寒くなると	【総合】C2 地球の環境のために、自分…	
	C3 プログラミング		【社会】C1・2 水はどこから	【総合】C2 都道府県親善…	【社会】C2 受け継がれる祭り	【社会】C2 届けよう命の水		【国語】C2 染め物の盛んな新宿区		【算数】C1・3 広さの表し方を…	【国語】C1・3・4 調べて話そう、生活調査隊	
	C4 情報 モラル	【学活】C3 そうじの仕方	【理科】C3 電流のはたらき	【音楽】C3 いろいろなリズム…	【算数】C3 わり算の筆算を考…	【学活】C4 ゲームって楽しい…		【算数】C1・3 四角形の特ちょう…	【体育】C3 跳び箱運動	【道徳】C4 大きな絵はかき	【学活】C4 ゲームソフトのか…	【学活】C4 SNSでどう伝え…

言語能力

A1 学校図書館 活用力

A2 論理的思考力

A3 感性・情緒

A4 伝え合う力

課題解決能力

B1 課題設定力

B2 情報収集力

B3 情報分析力

B4(A5) 振り返る力

情報活用能力

C1 情報機器基本 的操作

C2 情報活用実践力

C3 プログラミング

C4 情報モラル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数
国語	A1 図書館を使いこなそ	A3 春の空		A3 古典の世界	A1 目的に応じて引用…	A1 作家で広がるわた…	A1 新聞を読もう	A3 古典芸能の世界	A3 冬の 朝	A3 生活の中で詩を…	A1 この本、おすすめ…	177
	A2 みんなが過ごしやすい	B1 C2	A2 B4 言葉の意味が分かる	A3 夏の 夜	A1 統計資料の読み…	A3 秋の夕暮れ	A2 A3 よりよい学校生活のために	A2 A4 B1 B2 たずねびと	A1 C1 やなせたかしアンパ	A3 A4 C3 大造じいさんとガン		
	A3 なまえをつけてよ		A4 B3 C1 きいてきいてきいてみ	A3 C1 日常を17音で	A4 どちらを選びます…	A1 A2 B3 C2 グラフや表を用いて書こう		A2 A4 B4 C4 想像力のスイッチ…	A2 B4 C4 提案しよう、言葉と	A4 C2 伝わる表現を選ん…		
	B3 国土の気候と地形…	B3 自然条件と人々の…	B3 C1 米づくりのさかんな	A2 B3 水産業のさかんな…	A1 A4 B1 これからの食料生産	B2 自動車の生産にはげ	A1 B3 C3 日本の工業生産の今	A2 B1 C3 情報を伝える人々と	A2 B3 くらしと産業を変え	A4 B3 自然災害とともに生	A1 B1 B4 環境をともに守る	
社会				C2 合同な図形	C2 四角形の角を調べよ	A2 分数のたし算と引き	A2 比べ方を考えよう	B4 四角形と三角形の面	B3 C2 割合をグラフに表そ	C3 多角形と円をくわし	A2 立体をくわしく調べ	177
算数	B1 直方体と立方体の…	A4 変わり方を調べよう	B4 小数のかけ算、わり	C2 魚のたんじょう	B2 花から身へ	C1 台風と天気の変化	B2 C1 流れる水のはたらき	B2 C2 C3 物のとけ方	A1 C2 人のたんじょう	A4 B2 電流が生み出す力	B2 C2 ふりこのきまり	105
理科	C1 天気の変化	B2 植物の発芽と成長		B2 魚のたんじょう	B2 花から身へ	C1 台風と天気の変化	B2 C1 流れる水のはたらき	B2 C2 C3 物のとけ方	A1 C2 人のたんじょう	A4 B2 電流が生み出す力	B2 C2 ふりこのきまり	105
音楽	A3 歌声をひびかせて心	A2 音の重なりを感じ取	A2 C3 いろいろな音色を感じ取ろう		A2 和音の移り変わりを	A3 曲想の変化を感じ…	A3 詩と音楽のかかわりを味わおう		A3 日本の音楽に親しも	A4 思いを表現に生かさう		52
図工		C1 心のもよう				C3 動くネコ					C1 コリントゲーム	50
家庭	B3 わたしの生活 大発		C1 ひと針に心を込めて		B1 持続可能なくらしへ		B4 物を生かして住みや		C1 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活			60
体育		B4 C1 短距離・リレー			A3 表現運動	C1 ハードル走	B4 ソフトボール投げ	C1 跳び箱運動	C1 マット運動	B1 C2 B4 怪我の防止	B4 バスケットボール	92
道徳			A3 ひさの星	C4 その遊び方大丈夫？	B3 これって権利？義				B3 大きな事故を呼ぶ…	A3 一本松は語った		35
外国語				B4 外国の人に自己紹介				B4 地域のおすそめを紹			B4 日本の素敵を紹介し	72
総合			A1 B1 B2 B3 B4 みらいをつくる富士見っ子 八ヶ岳の自然を探索しよう		C1 C2 その遊び方大丈夫？							70
学活	C4 タブレット、パソコ		C4 その遊び方大丈夫？	C4 使い過ぎていないか	C4 メディアの特性を…	C4 マンガをSNSに…					C4 匿名でつぶやいた…	36

資質・能力		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
言語能力	A1 図書館 活用力	【国語】A1 地域の施設を活…		【国語】A1 森へ 私と本		【国語】A1 利用案内を読む		【国語】A1・2 日本文化を発信…		【国語】A1 人をひきつける表現		
	A2 論理的 思考力		【国語】A2 時計の時間と心…		【国語】A2 私たちにできること				【国語】A2 大切にしたい言葉	【国語】A2・4 メディアと人間社会	【国語】A2 今、私は、ぼくは	
	A3 感性・ 情緒力		【国語】A3 春のいびき	【国語】A3 たのしみは	【国語】A3 夏のさかり	【国語】A3 やまなし	【国語】A3 秋 深 し	【国語】A3 狂言 柿山伏		【国語】A3 冬のおとずれ	【国語】A2・4 思い出を言葉に	
	A4 伝え 合う力	【国語】A3 帰 り 道	【国語】A2・4 聞いて考えを深め…	【国語】A4 いちばん大事なのは		【国語】A4 みんなで楽しく過ごすために				【国語】A3・4 海 の 命	【国語】A4 中学校へつなげよう	
課題解決能力	B1 課題 設定力	【総合】B1・2・3・4 日光について調べよう				【社会】A4 全国統一への…	【理科】A1 てこのはたらき		【社会】A2 平和で豊かな暮…		【社会】A1 日本とつながりの…	【社会】A4 地球規模の課題…
	B2 情報 収集力	【体育】C4 短距離・リレー	【国語】B2 聞いて考えを深め…		【理科】B2 生き物の暮らしと…	【理科】B2 大地のつくり		【社会】B3 近代国家を目指…	【社会】A3 平和で豊かな暮…		【社会】B1・2 日本とつながりの…	【社会】B4 地球規模の課題…
	B3 整理 分析力	【家庭】B3 私たちの生活時間	【算数】B3 分数のかけ算、わ…	【国語】B3 私たちにできること	【国語】B3 私たちにできること	【道徳】B3 手 品 師	【体育】B4 シートバスケット	【外国語】B4 Let's think …	【外国語】B4 My Future …	【算数】B1・4 算数の学習を仕…	【理科】B2 電気の利用	【家庭】B4 共に生きる生活
	B4 振り 返る力	【社会】B1 憲法と私たちの暮…	【社会】B1 私たちの暮らしを…	【外国語】B4 How is your …	【算数】B4 比	【算数】B1・2 円の面積	【総合】B1・2・3・4 世界の人々と知り合おう			【総合】B1・2・3・4 マイ・ドリー ム		
情報活用能力	C1 情報機器 基本操作	【理科】C1 物の燃え方と空気	【図工】C1 ベストショット	【国語】C1 森へ 私と本		【理科】C2 大地のつくり	【図工】C1 マイオブジェ	【図工】C1 ふしぎな風景	【国語】C1 大切にしたい言葉		【体育】C1 怪我の防止	【体育】C2 ゾーンサッカー
	C2 情報活用 実践力	【体育】C1 短距離・リレー	【社会】C1 大陸に学んだ国…	【国語】C2 わたしにできること		【国語】C1 利用案内を読む	【理科】C2 てこのはたらき	【国語】C2 日本文化を発信…	【社会】C2 平和で豊かな暮…	【体育】C2 跳び箱・マット	【国語】C2 今、私は、ぼくは	
	C3 プログラ ミング	【国語】C2 地域の施設を利…	【総合】C2 日光について…	【国語】C2 たのしみは		【家庭】C1 楽しくソーイング	【社会】C2 近代国家を目指…	【算数】C2 データの調べ方	【算数】C2 データの調べ方	【体育】A1 跳投 2 種競技	【総合】C2 マイ・ドリーム	【社会】C2 地球規模の課題…
	C4 情報 モラル	【算数】C1・3 対称な図形		【家庭】C3 クリーン大作戦	【図工】C3 あじさい畑	【体育】A1 跳投 2 種競技	【総合】C2 世界の人々と…	【家庭】C3 工夫しておいしい…	【家庭】C3 工夫しておいしい…	【図工】C3 星の模様	【理科】C3 電気の利用	【算数】C3 プログラミング体験
				【学活】C4 写真を公開する…	【道徳】C4 自分と相手との…			【道徳】C4 あなたはどうか考える	【学活】C4 情報を上手に整…		【学活】C4 軽い気持ちで…	【学活】C4 SNSで知り合っ…

言語能力

課題解決能力

情報活用能力

学校図書館
活用能力

論理的思考力

A2

感性・情緒

A3

伝え合う力

A4

B1

課題設定力

B2

情報収集力

B3

整理分析力

B4(A5)

振り返る力

C1

情報機器基本
的操作

C2

情報活用実践力

C3

プログラミング

C4

情報モラル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数
国語	A1 C2 地域の施設を活用…	A2 時計の時間と心…	A3 C1 森へ 私と本	A3 夏やさかり	A1 C1 利用案内を読もう	A3 秋探し	A1 A2 C2 日本文化を発信…	A2 C2 大切にしたい言葉	A1 C2 人をひきつける表現	A1 C2 今、私は、ぼくは		175
	A3 帰り道	A3 春のいぶき	A3 C2 たのしみは	A3 やまなし	A3 みんなですごく過ごすため	A3 狂言 柿山伏	A2 C1 大切にしたい言葉	A2 A4 メディアと人間社会	A2 A4 思い出を言葉に	A2 A4 B1 思い出を言葉に		
		A2 A4 B2 聞いて考えを深め…	A2 B3 C2 私たちにできること					A3 A4 海 の 命	A3 冬のおとずれ	A3 A4 中学校へつなげよう		
社会	A2 B1 憲法と私たちの暮らし	A2 B1 私たちの暮らしを支			A4 全国統一への動き		B3 C2 近代国家を目指して	A2 平和で豊かな暮らし	A1 B3 C2 算数の学習を仕上げ	A1 B1 B2 日本とつながりの深い	A4 B4 C2 地球規模の課題の解決	105
算数	C1 C3 対称な図形	A4 文字と式	B3 分数のかけ算、わり	B4 比	B1 B2 円の面積	A4 およその面積と体積	C3 並べ方と組合せ	C2 データの調べ方	B1 B4 算数の学習を仕上げ	A3 プログラミングを体験	A2 算数卒業旅行	175
理科	C1 物の燃え方と空気	A1 動物の体のはたらき	A1 植物の体のはたらき	B2 生き物の暮らしと…	B2 大地のつくり	A1 C1 てこのはたらき			A4 B2 C3 電気の利用			105
音楽	A3 歌声をひびかせて心	A2 音の重なりを感じ取り	A2 C3 いろいろな音色を感じ	A2 旋律の特徴を生かし	A2 いろいろな和音の移	A3 曲想の変化を感じ…	A3 詩と音楽のかかわりを味わおう		A3 日本の音楽に親しむ	A4 思いを表現に生かそう		51
図工		C1 ベストショット	C3 あじさい畑			C1 マイオブジェ	C1 ふじぎな風景		C3 星の模様			50
家庭	B3 わたしの生活時間		C3 クリーン大作戦		C1 楽しくソーイング					B4 共に生きる生活		55
体育	B4 C1 短距離・リレー				A3 表現運動	C1 跳投2種競技	B4 シートバスケット	C1 跳び箱運動	C1 マット運動	C2 フリーゾーンサッ		90
道徳					B3 手品師		C4 あなたはどうか考える					35
外国語			B4 How is your				B4 Let's think about	B4 My Future My …				70
総合	A4 日光について調べよう	B1 B2 B3 B4 日光について調べよう	C2 How is your		A4 世界の人々と知り合おう	B1 B2 B3 B4 C2 世界の人々と知り合おう			A4 B1 B2 マイ・ドリーム	B3 B4 C2 マイ・ドリーム		36
学活				C4 写真を公開する前に	C4 自分と相手との…		C4 情報を上手に整理…		C4 軽い気持ちで…	C4 SNSで知り合った		

